幸せな家庭

を築く秘訣

幸せな家庭
を築く秘訣

家族は最も古くから知られている人間の制度ですが，今日，問題を抱えています。十代の若者の間で恐ろしいほどに広がる麻薬や不道徳，現代の災厄である離婚や家庭内暴力，片親家庭の爆発的な増加，その他の深刻な問題のため，家族生活は果たして存続できるのだろうかと考える人さえいます。

家庭が，その成員にとって安定した養育の場となることは今でも可能でしょうか。はい，家族の成員が幸せな家庭を築くための本当の秘訣（けつ）を知るなら可能です。その秘訣は秘密にされているわけではありません。幾世紀にもわたり，実際に試され，吟味されてきたのです。その秘訣とは何ですか。「幸せな家庭を築く秘訣」と題する本は答えを与えています。この本は，その“秘訣”が家族の種々の困難な状況を解決するのにどのように役立つかについて実際の例も載せています。今日，そのような情報を必要としない人がいるでしょうか。

幸せな家庭

を築く秘訣

© 1996
WATCH TOWER BIBLE AND TRACT SOCIETY OF PENNSYLVANIA
全権留保

幸せな家庭を築く秘訣

発行者
ものみの塔聖書冊子協会

2012年印刷版

この出版物は販売を目的としたものではありません。世界的な聖書教育活動の一環として提供されており，その活動は自発的な寄付によって支えられています。

聖句は，特に注記がない限り，現代語による
「新世界訳聖書 ― 参照資料付き」からの引用です。

THE SECRET OF FAMILY HAPPINESS JAPANESE (*fy*-J)
MADE IN JAPAN
日本にて印刷・製本

目　　次

章		ページ
1	幸せな家庭を築く秘訣がありますか	5
2	実りある結婚に備える	13
3	結婚生活を長続きさせる二つのかぎ	27
4	どのように家庭を管理できますか	39
5	幼い時から子供をしつける	51
6	伸び伸びと成長するよう十代の子供を援助する	64
7	家の中に反抗者がいますか	76
8	ご家族を破壊的な影響から守ってください	90
9	片親家庭でもうまくゆきます！	103
10	家族の中に病人がいるとき	116
11	家庭内の平和を保つ	128
12	家庭に害を及ぼす問題も克服できます	142
13	結婚が破局の瀬戸際にあるとき	153
14	二人で年を重ねてゆく	163
15	老年の親を敬う	173
16	ご家族の永続する将来を確かなものにしてください	183

幸せな家庭を築く秘訣がありますか

家族は世界で最も古くからある制度であり，人間社会の中でたいへん重要な役割を果たしています。歴史上いつの時代もそうですが，家族がしっかりしていれば社会もしっかりしてきます。子供を円熟した大人に育て上げる上で，家族ほど優れた取り決めはありません。

2 幸せな家庭は，安全で安心感を抱ける安らぎの場です。理想的な家庭の様子をちょっと思い浮かべてみてください。夕飯の時間に子供を気遣う両親が子供と食卓を囲み，その日にあった出来事について話し合っています。子供たちは両親に，学校であったことを興奮気味に話します。こうしてくつろぎ

---

1 人間社会の中で，しっかりした家族が重要なのはなぜですか。
2-5 （イ）幸せな家庭の子供が抱く安心感について説明してください。（ロ）どんな問題を抱える家庭もあるようですか。

のひとときを共に過ごすことで皆の気分は新たにされ，またもう一日，家庭の外で生活できるのです。

3 幸せな家庭の子供は，自分が病気になっても，父親と母親が恐らく夜通し交替で看病し，面倒を見てくれることを知っています。自分の生活で問題が生じたときは，母親か父親のところへ行けば，アドバイスしてくれたり，力づけてくれたりすることも知っています。そうです，家庭の外に厄介な問題がどんなにあふれていても，子供は安心していられるのです。

4 子供たちは成長すると，大抵は結婚して自分の家庭を持つようになります。東洋には，「子を持って知る親の恩」という格言があります。成長した子供は，深い感謝と愛の気持ちから幸せな家庭を築くよう努めると同時に，すでに年老いた両親にも気を配ります。お年寄りは孫の顔を見ると大喜びするものです。

5 この時点で，あなたはこうお考えになっているかもしれません。『自分も家族を愛してはいるが，ここに書いてあるようにはいかない。うちは夫婦それぞれの仕事のスケジュールがあって，ろくに顔を合わせることもないし，話すことと言えば，ほとんどお金のことだ』。あるいは，『子供や孫たちは別の町に住んでいるから，なかなか会う機会もない』と言われますか。確かに，当事者には大抵どうすることもできない事情のため，理想的とは言えない生活を送っている家族はたくさんあります。それでも，幸せな家庭生活を送っている人もいるのです。どのようにですか。幸せな家庭を築く秘訣（ひけつ）があるのでしょうか。確かにあります。しかし，その秘訣が何かを検討する前に，答えておかなければならない一つの重要な質問があります。

家族とは何か

6 西洋諸国を例にとると，ほとんどの家族は父親，母親，そ

---

6 この本ではどんな家族のことを考慮しますか。

れに子供たちで構成されています。祖父母はできるだけ二人で暮らそうとするかもしれません。祖父母より遠い親族とも接触は保ちますが，そのような人たちに対する務めは限られています。この本でこれから考慮するのは，基本的に言って，上に述べたような家族のことです。とはいえ近年，片親家庭，複合家族，何らかの理由で両親が同居していない家庭など，それ以外の家族も次第に一般化してきました。

7 ある文化圏では，拡大家族が普通の形になっています。この取り決めにおいては，祖父母は可能であれば普通その子供たちが世話し，親しい関係や責任は遠縁の親族にまで及びます。例えば，家族の成員は，姪(めい)や甥(おい)，あるいはもっと遠縁の親族を扶養したり，育てたり，さらには教育費を支払ったりすることまでして援助するかもしれません。この出版物の中で検討される原則は，拡大家族にも適用されます。

ストレスを抱える家族

8 今日，家族は変わりつつあります。残念ながら，良いほうへではありません。インドがその一例です。この国の妻は夫の家族と同居し，家の中でしゅうとやしゅうとめの指図どおり働くことがあります。しかし最近では，インド人の妻が家庭外での仕事を求めることも珍しくありません。それでも妻には，伝統的な家庭内の役割を果たすことが期待されているようです。多くの国で問題になっているのは，家族の他の成員と比べて，働く女性が家事をどれほど行なうべきかということです。

9 東洋の社会には，昔から拡大家族としての強いきずながあります。しかし，西洋流の個人主義や経済問題から来るストレスなどの影響で，昔ながらの拡大家族は影が薄くなってきまし

---

7 拡大家族とはどんな家族ですか。

8，9 家族が変わってきたことは，ある国々で生じているどんな問題から分かりますか。

た。そのため多くの人は，年老いた家族の者の面倒を見ることを当然の務めあるいは特権というよりも，負担と考えます。年を取った親の中には虐待されている人もいます。実際，今は多くの国で，お年寄りが虐待され，ないがしろにされています。

10 離婚もだんだんありふれた出来事になってきました。スペインの離婚率は，20世紀最後の10年が始まった時点で，夫婦8組につき1組にまで上昇しました。わずか25年前は100組に1組でしたから，これは著しい増加です。ヨーロッパで最も離婚率が高いと伝えられる英国（10組の夫婦のうち，4組が離婚に終わるものと見られている）では，片親家庭の数が急上昇しています。

11 ドイツでは，昔から続いてきた家族制度に多くの人が見切りをつけているようです。1990年代には，ドイツの全家庭の35%が独り住まい，31%は二人だけの家族構成であることが分かりました。フランスでも結婚する人が少なくなり，結婚する人はする人で，以前よりも離婚することが多くなり，早く離婚するようになっています。結婚に伴う責任のない同棲を選ぶ人は増える一方です。これと似たような傾向は世界中で見られます。

12 子供たちについてはどうですか。米国をはじめ多くの国で，私生児がますます増えています。中には十代の若者から生まれる子供もいます。父親が違う子供を何人も持つ十代の少女も少なくありません。路上をさまよう，おびただしい数のホームレスの子供たちについて，世界中から報告が寄せられています。家庭での虐待から逃れてきた子供，もう扶養できないからと家族に捨てられた子供が大勢いるのです。

10，11　ヨーロッパの国々で家族が変わってきたことは，どんな事実に示されていますか。

12　この時代の家族が変化したため，子供たちはどんな苦しみを経験していますか。

13 確かに，家族は危機にさらされています。すでに述べられたこと以外にも，十代の若者の反抗，児童虐待，配偶者の暴力，アルコール依存症，その他の破壊的な問題が多くの家庭から幸福を奪っています。大勢の子供と大人にとって，家庭は安らぎの場からはほど遠いものです。

14 家族が危機にさらされているのはなぜでしょうか。今日の家族が危機にさらされているのは，女性が職場に進出したせいだと言う人がいます。現代の道徳の崩壊を指摘する人もいます。また，ほかにもさまざまな原因が挙げられています。今からほぼ2,000年前に，ある有名な法律家は，家族が多くの圧力を受けることを予告して次のように記しました。「終わりの日には，対処しにくい危機の時代が来ます。というのは，人々は自分を愛する者，金を愛する者，うぬぼれる者，ごう慢な者，冒とくする者，親に不従順な者，感謝しない者，忠節でない者，自然の情愛を持たない者，容易に合意しない者，中傷する者，自制心のない者，粗暴な者，善良さを愛さない者，裏切る者，片意地な者，誇りのために思い上がる者，神を愛するより快楽を愛する者……となるからです」。（テモテ第二 3:1-5）今日，この言葉が成就していることに疑いを差し挟める人がいるでしょうか。世界がこうした状況にある以上，多くの家族が危機にさらされていて，何の不思議があるでしょうか。

幸せな家庭を築く秘訣

15 いかにして家族の幸福を得るかについては，あらゆる方面から助言が与えられています。欧米では，アドバイスを載せた

---

13 まん延するどんな問題が家庭から幸福を奪っていますか。

14 （イ）ある人たちは，家族の危機の原因としてどんなことを挙げていますか。（ロ）1世紀の一法律家は今日の世界をどのように描写しましたか。その言葉が成就したため，家族生活はどんな影響を受けてきましたか。

15-17 この本では，幸せな家庭を築く秘訣を教えるどんな権威に注意が向けられますか。

ハウツー物の本や雑誌が後から後から出版されます。しかし，問題は，人間のカウンセラーたちの意見は矛盾しており，きょうは最新の助言とされているものが，明日は役に立たないものとみなされる可能性があることです。

16 では，家族のための信頼できる導きをどこに求めることができるのでしょうか。あなたは1,900年ほど前に完成した本に目を向けますか。それとも，そんな本はどうしようもない時代後れの本に違いないとお考えになるでしょうか。実を言えば，幸せな家庭を築く本当の秘訣はまさにその本にあるのです。

17 その本とは聖書です。あらゆる証拠からして，聖書は神ご自身の霊感を受けた本です。聖書には次のような記述があります。「聖書全体は神の霊感を受けたもので，教え，戒め，物事を正し，義にそって訓育するのに有益です」。（テモテ第二 3:16）この出版物を通してわたしたちがお勧めしたいのは，今日家族が直面しているストレスや問題を扱う上で，聖書がどのように『物事を正す』助けになるかを，皆さんが考慮なさることです。

18 もしあなたが，聖書が家族に幸福をもたらすことなどあり得ないと考えるほうなら，次の点を考慮してみてください。それは，霊感を与えて聖書を書かせた方は，結婚制度の創始者である，ということです。（創世記 2:18-25）聖書には，その方のお名前はエホバであると記されています。（詩編 83:18）この方は創造者，また『あらゆる家族がその名を負う父』です。（エフェソス 3:14, 15）エホバは，人類の始まりからずっと家族生活を観察してこられました。神は起こり得る問題を知っておられ，問題を解決するための助言を与えてこられました。聖書の原則を家族生活に誠実に当てはめた人々は，古今を通じ，より大きな幸福を見いだしてきました。

---

18 結婚生活に関する助言を与える点で，聖書を権威として受け入れるのはなぜ道理にかなっていますか。

19 例えば，インドネシアに住むある主婦はギャンブル狂でした。3人の子供をほったらかしにし，夫とのけんかも絶えない状態が何年も続きました。その後，この女性は聖書を研究し始め，聖書の述べていることを次第に信じるようになりました。聖書の助言を当てはめて，以前よりも良い妻になりました。この女性が聖書の原則に基づいて努力したため，家族全体が幸福になりました。

20 スペインのある主婦は，「私たちは結婚してわずか1年で，深刻な問題を抱えるようになりました」と述べています。彼女と夫との間にはあまり共通点がなく，言い争いをするとき以外は，ほとんど口もききませんでした。幼い娘がいましたが，二人は法的に正当な別居をする決心をしました。しかし，実際にそうする前に，聖書を調べるよう勧められ，結婚した男女に対する聖書の助言を学んで，それを当てはめるようになりました。やがて，二人は穏やかに話し合えるようになり，その小さな家族は一つに結ばれた幸せな家族になりました。

21 聖書は年配の人々の助けにもなります。一例として，日本のある夫婦の経験を考慮してみてください。夫は短気で，時には暴力を振るうこともありました。初めに，この夫婦の娘たちが，両親に反対されながらも聖書を学ぶようになりました。その後，夫は娘たちと一緒に学ぶようになりましたが，妻は反対し続けました。それでも，何年かの間に聖書の原則が自分の家族に与えた良い影響には気づいていました。娘たちは自分をとても大事にしてくれます。夫もずっと柔和になりました。そのような変化に心を動かされて，この女性も聖書を調べるようになり，自分も同じく良い影響を受けました。この年配の女性は，「これが本当の夫婦と言えるんだねえ」と何度も話します。

19-21 聖書に結婚生活の問題を解決する力があることは，現代のどんな経験に示されていますか。

22 これらの人々だけでなく，ほかにも大勢の人たちが幸せな家庭を築く秘訣を学んできました。その人たちは聖書の助言を受け入れ，それを当てはめました。確かに，それらの人々も他のすべての人と同様，暴力的で不道徳な，経済的にも苦しい世の中で生活しており，しかも人間としての不完全さを持っていますが，家族制度の創始者のご意志を行なうよう努力することに幸福を見いだしています。聖書が述べるとおり，エホバ神は『あなたに自分を益することを教える方，あなたにその歩むべき道を踏み行かせる方』なのです。—イザヤ 48:17。

23 聖書が完成したのはほとんど2,000年前のことですが，聖書の助言は本当に最新のものです。さらに，聖書はすべての人のために書かれました。聖書はアメリカの，あるいは西洋の本ではありません。エホバは「一人の人からすべての国の人を造（られた）」ので，どこに住む人間であってもその造りをご存じです。（使徒 17:26）聖書の原則はどんな人にとっても有益なものです。それらを当てはめるなら，あなたも幸せな家庭を築く秘訣を理解できるようになるでしょう。

22, 23 聖書は，あらゆる国民的背景を持つ人々が家族生活に幸福を見いだす上で，どのように助けとなりますか。

これらの質問に答えられますか

今日，家族にはどんなことが生じていますか。
—テモテ第二 3:1-5。

家族制度を創始されたのはどなたですか。
—エフェソス 3:14, 15。

幸せな家庭を築く秘訣（けつ）は何ですか。
—イザヤ 48:17。

実りある結婚に備える

建物を建てるためには周到な準備が必要です。基礎を据える前に土地を手に入れ，設計図を引かなければなりません。とはいえ，ほかにも欠かせないことがあります。イエスは次のように言われました。「あなた方のうちのだれが，塔を建てようと思う場合，まず座って費用を計算し，自分がそれを完成するだけのものを持っているかどうかを調べないでしょうか」―ルカ 14:28。

2 建物を建てることに関して言えることは，実りある結婚生活を築くことにも当てはまります。多くの人は「結婚したい」と言いますが，その代償についてじっくり考える人がどれほど

1, 2 （イ）イエスは，プランを練ることの大切さをどのように強調されましたか。（ロ）プランを練ることは，特にどんな分野において欠かせませんか。

いるでしょうか。聖書には，結婚を良いものとして描いている箇所もあれば，結婚に伴う難しい問題に注意を向けている箇所もあります。（箴言 18:22。コリント第一 7:28）ですから，結婚を考えている人は，結婚に伴う祝福と代償の両方について，現実に即した見方をする必要があります。

3 聖書は助けになります。聖書の助言は，結婚の創始者であられるエホバ神の霊感を受けて書かれました。（エフェソス 3:14，15。テモテ第二 3:16）古いと同時に時代の先端を行くこの手引き書に収められている原則を用いて，次の点を確かめてみましょう。（1）自分に結婚する用意ができているかどうか，どうしたら分かるか。（2）配偶者になる人には何を求めるべきか。（3）どのようにまじめな交際ができるか。

あなたは結婚する用意ができていますか

4 建物を建てるには多額の費用がかかるかもしれませんが，建物の手入れをし，長く維持するにもかなりお金がかかります。結婚も同様です。結婚するだけでも大仕事に思えますが，そのほかに，結婚関係を来る年も来る年も維持してゆくことについても考えなければなりません。そういう関係を維持してゆくには何が必要でしょうか。肝要な要素となるのは，真剣な誓約の関係です。聖書は，結婚関係をこのように描写しています。「男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き，ふたりは一体となるのである」。（創世記 2:24）再婚が可能な離婚の唯一の聖書的な根拠としてイエス・キリストが挙げておられるのは，「淫行」，つまり結婚関係外の不倫な性関係です。（マタイ 19:9）結婚を考えているなら，聖書のこうし

3 結婚のプランを立てている人にとって，聖書が貴重な助けとなるのはなぜですか。聖書はどんな三つの質問に答える助けになりますか。

4 実りある結婚生活を維持する上で肝要な要素となるのは何ですか。それはなぜですか。

た規準を思いに留めてください。もし，この厳粛な誓約の関係を受け入れる心構えができていないなら，まだ結婚する用意ができていないことになります。―申命記 23:21。伝道の書 5:4，5。

5 多くの人は，厳粛な誓約の関係という考えに不安を覚えます。ある若い男性は，「二人は一生涯離れてはならないということを知り，制限され，閉じ込められ，完全に拘束されているような気がしました」と心のうちを語りました。しかし，結婚する相手を本当に愛しているなら，その誓約の関係を重荷と感じることはないでしょう。むしろそれを，安心感を与えてくれるものとみなせます。結婚に伴う誓約の関係を意識していると，夫婦は苦楽を共にし，どんなことがあろうともお互いを支えてゆきたいという気持ちになります。クリスチャンの使徒パウロは，真の愛は「すべての事に耐え」，「すべての事を忍耐します」と記しました。（コリント第一 13:4，7）ある女性は次のように語っています。「結婚に伴うこの誓約の関係によって安心感が強くなります。決して離れないつもりであることを，自分たち自身と一般社会に告白して気が楽になりました。この気持ちが好きです」。―伝道の書 4:9-12。

6 そのような誓約の関係にふさわしく生活するには，円熟性が求められます。それでパウロは，「若さの盛り」，つまり，性的な衝動が強くなって物事の判断を誤らせかねない時期を「過ぎ（る）」まで結婚しないほうがよい，とクリスチャンに助言しています。（コリント第一 7:36）若い人の成長には急激な変化が伴います。たいへん若くして結婚した人の多くは，その後何年もしないうちに，配偶者の必要とする事柄や願う事柄

---

5 結婚に伴う厳粛な誓約の関係に不安を覚える人もいますが，結婚を考えている人がむしろそれを高く評価すべきなのはなぜですか。

6 若い時に結婚を急がないことは，なぜ最善だと言えますか。

ばかりか自分の必要とする事柄や願う事柄も以前とは変わってしまうことに気づきます。統計が示すところによれば，十代で結婚する人は，もう少し待つ人に比べて，惨めな思いをし，離婚を考える傾向がずっと強くなります。ですから，結婚を急いではなりません。若い独身の大人として何年間かを過ごせば，貴重な経験ができ，それによって円熟性は増し，ふさわしい配偶者になるためのより十分な資格を身に着けることができます。結婚を先に延ばすなら，自分自身をよりよく知るようにもなります。結婚生活で良い関係を培いたいのであれば，そのように自分を知ることがどうしても必要です。

まず，自分自身を知りなさい

7 配偶者に培ってほしい特質は幾つでもすぐに言える，と思われますか。大抵の人はそう思っています。しかし，あなた自身の特質についてはどうでしょうか。あなたは，実りある結婚に役立つどんな特性をお持ちですか。あなたはどんな夫に，あるいはどんな妻になるでしょうか。例えば，あなたは，自分の間違いを素直に認めてアドバイスを受け入れますか。それとも，誤りを指摘されるといつも弁解ばかりしているでしょうか。大体いつも朗らかで楽観的ですか。それとも，陰気で，よく不平をこぼす傾向があるでしょうか。（箴言 8:33；15:15）結婚で人格が変わるわけではないことを忘れてはなりません。独身時代に誇り高く，過敏で，過度に悲観的だった人は，結婚しても変わりません。自分自身を客観的に見るのは難しいことですから，親や信頼できる友人に率直な意見や提案を求めてみてはどうでしょうか。自分のどこを変えることができるかが分かったなら，結婚の準備段階に入る前に，その点に注目して努力してみましょう。

---

7 結婚を考えている人が，まず自分自身を吟味すべきなのはなぜですか。

さまざまな習慣と聖書

花嫁料と持参金: ある国々では，花婿の家族が花嫁の家族にお金を払うことになっています（花嫁料）。他の国々では，花嫁の家族が花婿の家族にお金を払います（持参金）。これらの習慣が合法的である限り，それは間違ったことではないでしょう。（ローマ 13:1）しかし，どちらの場合でも，受け取る側の家族は貪欲にも妥当な線を越えた金額や品物を要求することがないようにすべきです。（箴言 20:21。コリント第一 6:10）さらに，花嫁料を支払うからといって，これを，妻はお金で買われた所有物にすぎないという意味に取ってはなりませんし，夫は，妻と姻戚に対して自分は経済的な責任しか負っていないと考えてもなりません。

一夫多妻婚: ある文化においては，一人の男性が複数の妻を持つことが認められています。そういう環境にあると男性は，夫となり父親になるというよりも，君主のようになるかもしれません。それだけではなく，一夫多妻婚は多くの場合，妻たちに競争心を抱かせます。聖書がクリスチャンに許しているのは，独身か一夫一婦制だけです。—コリント第一 7:2。

試験結婚: 多くのカップルは，結婚前に同棲することは，二人の相性の善し悪しを試すのに役立つと言います。しかし試験結婚では，結婚の極めて重要な要素の一つは試せません。その要素とは，誓約の関係です。結婚という取り決めほどに，当事者すべて — 二人の結びつきによって生まれるかもしれない子供を含む — に保護や安心感を与えるものはほかにありません。エホバ神の目には，正式に結婚せずに当人の合意だけで男女が一緒に住むことは，淫行に当たります。—コリント第一 6:18。ヘブライ 13:4。

8 聖書は，神の聖霊をわたしたちのうちに働かせ，「愛，喜び，平和，辛抱強さ，親切，善良，信仰，温和，自制」などの特質を生み出すよう勧めています。また，「[わたしたちの]思いを活動させる力において新たにされ」，「神のご意志にそいつつ真の義と忠節のうちに創造された新しい人格を着ける」ようにとも述べています。（ガラテア 5:22，23。エフェソス 4:23，24）独身でいる間にこの助言を当てはめることは，ちょうど銀行にお金を預けるようなものです。将来あなたが実際に結婚するときに，たいへん貴重なものとなるでしょう。

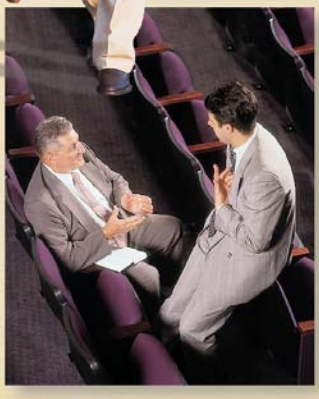
9 例えば，女性の皆さんは，外見よりも「心の中の秘められた人」のほうに注意を向けることを学べます。（ペテロ第一 3:3，4）慎みや健全な思いは，本当の「美の冠」である知恵を身に着けるのに役立ちます。（箴言 4:9；31:10，30。テモテ第一 2:9，10）男性の皆さんは，優しく，敬意をこめて女性に接することを学べます。（テモテ第一 5:1，2）決定を下したり，責任を担ったりすることと同時に，慎み深く謙遜であることも学べます。尊大な態度を取っていると，結婚生活で問題を抱えることになるでしょう。―箴言 29:23。ミカ 6:8。エフェソス 5:28，29。

10 これらの面で考え方を変えるのはたやすいことではありませんが，これは，すべてのクリスチャンが努力すべき事柄であり，結婚生活でより良い伴侶となるよう人々を助けます。

配偶者に何を求めるべきですか

11 あなたの住んでいる所では，自分で配偶者を選ぶ習慣がありますか。もしそうであれば，魅力的な異性を見つけた場合，どのように事を進めるべきでしょうか。まず，『自分は本当

8-10 聖書は，結婚に備えるための助けとなるどんな助言を与えていますか。
11，12 二人の人間が仲よくやってゆけるかどうかは，どうしたら分かりますか。



独身でいる間に，
結婚生活で大いに役立つ
特質や習慣や能力を
培ってください

に結婚する気があるのだろうか』と自問してみます。間違った期待を抱かせて，他人の気持ちをもてあそぶのは残酷なことです。（箴言 13:12）次に，『自分は結婚できる立場にいるだろうか』と自問します。もし，この両方の質問に対して肯定の答えが出るなら，次に進むステップは，土地の習慣によって変わってきます。ある国々では，相手をしばらく観察してからその人に近づき，もっと親しくなりたいという気持ちを伝えることになるでしょう。もし，断わられたなら，礼儀に反するほどしつこくするのはやめましょう。そのことに関しては，相手にも決定する権利があることを忘れないでください。しかし，良い返事がもらえた場合は，何か健全なことを一緒に行なう時間を設けることができます。そうすれば，その人との結婚が賢明かどうかを確かめることができるでしょう。* この段階では，どんな点を見ればよいでしょうか。

12 この質問に答えるに当たって，ピアノとギターのような二つの楽器のことを考えてみてください。正しくチューニングされていれば，どちらの楽器もソロで美しい音楽を奏でることができます。しかし，これらの楽器を一緒に演奏する場合はどうでしょうか。そうなると，今度はお互いの音を合わせなければなりません。あなたと将来の配偶者についても同様です。それぞれ個人としては，努力して自分の個性を“チューニング”してきたかもしれません。しかしここで問題となるのは，お互いが調和しているか，言い換えれば，仲よくやってゆけるか，ということです。

13 二人が共通の信仰を持ち，共通の原則に従っていること

* これは，クリスチャンがデートをしても構わないとみなされる国々に当てはまるでしょう。

13 同じ信仰を持たない人と交際することが，たいへん思慮に欠けているのはなぜですか。

は重要です。使徒パウロは，「不釣り合いにも不信者とくびきを共にしてはなりません」と記しました。（コリント第二 6:14。コリント第一 7:39）同じ信仰を持っていない人と結婚するなら，深刻な不協和音が生じる可能性は高くなります。一方，お互いがエホバ神に献身しているなら，それは何より強い一致の基盤となります。エホバはあなたが幸福になり，結婚相手とできるだけ親密なきずなを楽しむよう望んでおられます。そして，三つよりの愛のきずなでご自分と，また互い同士結びつくことを望んでおられます。—伝道の書 4:12。

14 一致するために最も重要なのは共に神を崇拝することですが，それ以上のことも関係しています。自分を相手に合わせるために，あなたと将来の配偶者が同じような目標を持つのは望ましいことです。あなたはどんな目標を持っていますか。例えば，二人は子供を持つことをどう考えていますか。生活の中で何が第一になっていますか。*（マタイ 6:33）結婚生活が本当にうまくいっている場合，夫婦は良い友達になり，一緒にいることが楽しくなります。（箴言 17:17）そのためには，共通の関心事を持つことが必要です。そうでないと，固い友情を保つのは難しく，ましてや，結婚関係を保つことなどとてもできません。とはいうものの，将来のパートナーはハイキングのような活動が好き，自分は好きではない，というとき，二人は結婚しないほうがいいということになるでしょうか。必ずしもそうではありません。別のもっと大切な共通の関心事があることでしょう。それに，将来のパートナーが好む健全な活動

* クリスチャン会衆内にさえ，言わば，どうにかクリスチャンとして生活している人がいるかもしれません。そういう人たちは，心をこめて神に仕えるのではなく，世の態度や行ないに影響されていることがあります。—ヨハネ 17:16。ヤコブ 4:4。

14，15 結婚生活で一致することには，同じ信仰を持つことだけが関係していますか。説明してください。

にあなたが加われば，相手を喜ばせることができるでしょう。―使徒 20:35。

15 実際，仲よくやってゆけるかどうかは，二人がどれほど似ているかということよりも，二人にどれほど順応性があるかということに大きく左右されます。「どんなことでも意見が合うだろうか」と考えるよりも，「意見が合わなかったときはどうなるだろうか。その問題について冷静に，敬意と品位を保ちながら話し合えるだろうか。それとも，話し合いが激しい言い争いになってしまうことが多いだろうか」と考えてみるほうが良いかもしれません。（エフェソス 4:29，31）結婚したいと考えているなら，誇り高くて我の強い，決して自分からは折れない人，あるいは，いつも要求が多く，自分のやり方を押し通そうとする人には用心しましょう。

前もって知っておく

16 クリスチャン会衆内で責任を委ねられる人は，「ふさわしいかどうかまず試（さ）」れることになっています。（テモテ第一 3:10）あなたもこの原則を取り入れることができます。例えば，女性なら次のように考えることができるでしょう。「この男性の評判はどうかしら。どんな友達がいるのかしら。自制心を示すかしら。お年寄りをどう扱うかしら。どんな家庭で育ったのかしら。家族とはどんな行き来があるかしら。お金に対する態度はどうかしら。お酒を浴びるほど飲むかしら。気難しくて，暴力を振るうこともあるかしら。会衆ではどんな責任があって，それをどう果たしているのかしら。私はこの人を深く尊敬できるかしら」。―レビ記 19:32。箴言 22:29；31:23。エフェソス 5:3-5，33。テモテ第一 5:8；6:10。テトス 2:6，7。

16，17 男性は，また女性は，将来の配偶者について考慮する際，どんな点に注目するとよいでしょうか。

17 男性なら，こう考えることができるでしょう。「この女性は神に対して愛と敬意を表わすだろうか。家事を上手に果たすだろうか。この人の家族は私たちに何を期待するだろうか。この人は賢く，勤勉で，よく節約するだろうか。どんなことを話題にするだろうか。他の人の福祉に純粋な関心を抱いているだろうか。それとも，自分勝手でおせっかいだろうか。信頼できる人だろうか。頭(かしら)の権に快く服するだろうか。それとも，強情で，もしかしたら反抗的だろうか」。—箴言 31:10-31。ルカ 6:45。エフェソス 5:22，23。テモテ第一 5:13。ペテロ第一 4:15。

18 あなたの相手は，恋愛小説から出てきた理想のヒーローやヒロインなどではなく，アダムの子孫である不完全な人間だということを忘れないでください。だれにでも欠点はあり，あなた自身の欠点であれ，将来のパートナーの欠点であれ，その中には目をつぶらなければならないものもあります。（ローマ 3:23。ヤコブ 3:2）さらに，弱点に気づくことは成長する機会にもなります。例えば，交際中に口論になったとします。では，愛し合い，尊敬し合っている人たちの間でさえ，時として意見の衝突はある，と考えてください。（創世記 30:2；使徒 15:39と比較してください。）それは単に，二人ともう少し「自分の霊を抑制し」，もっと穏やかに問題を解決する方法を学ぶ必要があるというだけのことではないでしょうか。（箴言 25:28）将来の配偶者は，進歩したいという気持ちを示しているでしょうか。あなたは示していますか。すぐに傷つき，神経質になるところをもう少し抑えるようにできますか。（伝道の書 7:9）問題を解決する方法を身に着けるなら，包み隠しのない話し合いの型が築かれます。もし二人が本当に結婚

18 交際中に小さな弱点に気づいたなら，どんなことを思いに留めるべきですか。

するのであれば，この話し合いの型は不可欠です。―コロサイ 3:13。

19 しかし，ある事柄にひどく心を乱されることが分かったならどうでしょうか。そういう疑問点は慎重に考慮しなければなりません。どれほど強い恋愛感情を抱いていても，どれほど強く結婚を望んでいても，重大な欠点に目をつぶってはなりません。（箴言 22:3。伝道の書 2:14）重大な問題点があるように思える人と交際をしているなら，交際をやめ，そういう人と一生続く誓約の関係を結ぶことは避けるのが賢明です。

まじめな交際をする

20 どうすればまじめな交際ができますか。まず，品行が決してとがめられることのないようにしてください。あなたの住んでおられる地域では，未婚のカップルが手をつないだり，キスをしたり，抱き合ったりするのも構わないと考えられていますか。そうした愛情表現に眉をひそめる人はいないとしても，そういうことが許されるのは，結婚の計画が明確に決まるところまで二人の関係が進んだ場合だけです。愛情表現がエスカレートし，汚れた行ないや時には淫行にまで発展することのないよう注意してください。（エフェソス 4:18，19。ソロモンの歌 1:2；2:6；8:5，9，10と比較してください。）心は不実ですから，家の中，アパート，止めた車の中，そのほかどこでも，間違った行為を誘う状況が生まれるような場所で二人きりにならないようにするのが賢明でしょう。（エレミヤ 17:9）交際期間を道徳的に清く保つことは，あなたには自制心があり，自分の欲望よりも，私心なく相手の幸福を願う気持ちを優先し

19 交際中に重大な問題が明らかになったときは，どんな行動を取るのが賢明でしょうか。

20 交際中のカップルは，品行がとがめられるものとならないよう，どのように注意できますか。

ている，ということの明白な証拠になります。一番重要なこととして，清い交際はエホバ神を喜ばせます。エホバはご自分の僕(しもべ)たちに汚れや淫行を避けるよう命じておられます。—ガラテア 5:19-21。

21 第二に，まじめな交際には，包み隠しのない話し合いという要素もあります。交際が結婚にまで発展する途中で，ある種の事柄を率直に話し合う必要が生じます。それは，どこに住むか，二人とも世俗の仕事をするか，子供を持ちたいと思っているか，といった事柄です。さらに，結婚に影響を及ぼし得る事柄 — 恐らく過去にあった問題 — を打ち明けるのは，当然のことです。それには，大きな負債や責務，もしくは重い病気や症状のような健康上の問題が含まれるかもしれません。HIV（エイズの原因となるウイルス）には感染していても，すぐに症状が現われない人が多い以上，結婚する当人あるいは当人を気遣う親が，過去に複数の人と性的な関係を持っていた人，あるいは静脈に麻薬を注射していた人に対して，エイズの血液検査を受けるよう要請するのは間違ったことではないはずです。もし検査結果が陽性であれば，感染しているほうの人は，配偶者となるはずだった相手が別れることを望むなら，交際を続けるようその人に圧力をかけてはなりません。実際，以前に危険の多い生き方をしていた人が，交際を始める前に進んでエイズの血液検査を受けるのは賢明なことでしょう。

結婚式の先を見る

22 結婚前の数か月間は，二人とも結婚式の準備で非常に忙しいでしょう。節度を保つことにより，緊張を大いに和らげるこ

---

21 まじめな交際をするため，包み隠しのないどんな話し合いが必要かもしれませんか。

22, 23 （イ）結婚式の準備に際し，どのように平衡を失うことがあり得ますか。（ロ）結婚式と結婚生活について考えるとき，どんな平衡の取れた見方を保つべきですか。

とができます。手のこんだ結婚式は，親族や地域社会には喜ばれるかもしれませんが，新婚の夫婦とその家族はくたくたになり，お金を使い果たすことになるでしょう。ある程度土地の習慣に従うのは道理にかなったことですが，何でも人の真似をして，もしかしたら競争心からその習慣に従うとすれば，結婚式の意味が薄れることになり，味わえるはずの喜びも奪われてしまうかもしれません。他の人の感情は考慮に入れるべきですが，披露宴でどんなことを行なうかを決定するおもな責任は花婿にあります。—ヨハネ 2:9。

23 結婚式は一日で終わっても，結婚生活は一生続くということを忘れないようにしましょう。結婚生活に入ることばかりに注意を向けないようにしてください。むしろ，エホバ神に導きを求め，結婚生活を続けるために前もってプランを立てましょう。そうすれば，実りある結婚のための備えが十分できることになります。

ここに挙げた聖書の原則は……
実りある結婚に備えるのに
どのように役立ちますか

夫と妻は互い同士，誓約の関係を築かなければならない。
—創世記 2:24。

外見よりも内なる人のほうが大切である。
—ペテロ第一 3:3, 4。

「不釣り合いにも不信者とくびきを共にしてはなりません」
—コリント第二 6:14。

道徳的に汚れた人は神から疎外されている。
—エフェソス 4:18, 19。

第 3 章

結婚生活を長続きさせる二つのかぎ

神が最初の男女を結婚によって結び合わせた時，それがはかない結びつきで終わってしまうことを示すものは何もありませんでした。アダムとエバはいつまでも一緒に生活することになっていました。（創世記 2:24）一人の男性と一人の女性を結び合わせること，これが誉れある結婚に関して神がお定めになった規準です。再婚が可能な離婚の聖書的な根拠となるのは，夫婦の片方か両方が甚だしい性の不道徳を犯した場合のみです。―マタイ 5:32。

2 二人の人間が一緒にいつまでも幸福に暮らしてゆくことは可能でしょうか。可能です。そして聖書は，そういう生活を実現するのに役立つ二つの肝要な要素，言わば二つのかぎが何かを明らかにしています。夫と妻の双方がそうしたかぎを使うなら，幸福と多くの祝福に通じる扉を開くことができます。その二つのかぎとは何ですか。

第一のかぎ

3 第一のかぎは愛です。興味深いことに，聖書の中で明らかにされている愛には幾つかの種類があります。一つは，親しい友人との間に存在するような，人に対する温かい個人的な愛情です。（ヨハネ 11:3）もう一つは，家族の者同士が育む愛です。（ローマ 12:10）3番目は，人が異性に対して抱く恋愛感情です。（箴言 5:15-20）もちろん，夫と妻はこれらの

1, 2 （イ）結婚生活はどれほど長く続くよう意図されましたか。（ロ）どうすればそれを実現できますか。

3 夫婦はどんな3種類の愛を培うべきですか。

互いに対する愛と敬意は実りある結婚生活につながる

愛をみな培うべきですが，これらよりも重要な4番目の愛があります。

4 クリスチャン・ギリシャ語聖書の原語では，この4番目の愛を表わす語はアガペーです。この語は，ヨハネ第一 4章8節で用いられており，そこには「神は愛……です」と記されています。実際，「わたしたちは，[神]がまずわたしたちを愛してくださったので愛するのです」。（ヨハネ第一 4:19）クリスチャンは第一にエホバ神への，次いで仲間の人間へのそうした愛を培います。（マルコ 12:29-31）アガペーという語は，エフェソス 5章2節でも用いられており，そこには，「キリストがあなた方を愛し，……ご自身をあなた方のために引き渡さ

4 4番目の愛はどんな愛ですか。

れたように，あなた方も愛のうちに歩んでゆきなさい」とあります。イエスは，ご自分の真の追随者を見分けるしるしとなるのは，この種の愛であると語られました。「あなた方の間に愛[アガペー]があれば，それによってすべての人は，あなた方がわたしの弟子であることを知るのです」。（ヨハネ 13:35）コリント第一 13章13節でアガペーがどのように用いられているかにも注目してください。「信仰，希望，愛，これら三つは残ります。しかし，このうち最大のものは愛[アガペー]です」。

5 どんな点で，このアガペー愛は信仰や希望に勝っているのでしょうか。アガペーは，神の言葉に見いだされる原則 — 正しい原則 — に支配されています。（詩編 119:105）アガペー愛とは，神の目から見て正しく良い事柄を，相手がそれに値するように見えても見えなくても行なうことを願う無私の気持ちです。そういう愛があれば，夫婦は聖書の次の助言に従うことができるようになります。「だれかに対して不満の理由がある場合でも，引き続き互いに忍び，互いに惜しみなく許し合いなさい。エホバが惜しみなく許してくださったように，あなた方もそのようにしなさい」。（コロサイ 3:13）愛情深い夫婦は「互いに対して熱烈な愛[アガペー]」を抱き，培います。「愛は多くの罪を覆うからです」。（ペテロ第一 4:8）愛が間違いを覆うという点に注目してください。愛は間違いを除き去るのではありません。不完全な人間はだれ一人として，とがから逃れられないからです。—詩編 130:3，4。ヤコブ 3:2。

6 夫婦が神に対する，また互いに対するそうした愛を培うとき，二人の結婚生活は長続きし，幸福なものとなります。なぜなら，「愛は決して絶え（ない）」からです。（コリント第一 13:8）愛は「結合の完全なきずな」です。（コロサイ 3:14）あなたが結婚しておられるなら，どうすればご夫婦でこの種

5, 6 （イ）愛が信仰や希望に勝っているのはなぜですか。（ロ）愛が結婚生活を長続きさせる助けとなる理由は，どんなところにありますか。

の愛を培えるでしょうか。神の言葉を一緒に読み，それについて話し合うことです。イエスの愛の模範について研究し，イエスに見倣うことや，イエスのように考え，行動することに努めてください。それに加え，神の言葉が教えられる，クリスチャンの集会に出席しましょう。また，神の聖霊の実であるこの高潔な愛を育てるため，神の助けを祈り求めてください。一箴言 3:5，6。ヨハネ 17:3。ガラテア 5:22。ヘブライ 10:24，25。

第二のかぎ

7 結婚した二人が本当に互いを愛しているなら，互いに対する敬意を抱くようにもなります。この敬意が，幸福な結婚生活の第二のかぎです。敬意は，「他の人に配慮を示すこと，他の人を敬い，誉れを配し，尊ぶこと」と定義されています。神の言葉は，夫や妻を含め，すべてのクリスチャンに，「互いを敬う点で率先しなさい」と助言しています。（ローマ 12:10）使徒ペテロは，「夫たちよ，同じように，知識にしたがって妻と共に住み，弱い器である女性としてこれに誉れを配しなさい」と書きました。（ペテロ第一 3:7）妻には，「夫に対して深い敬意を持つ」ようにとの助言が与えられています。（エフェソス 5:33）だれかを尊びたいと思うなら，その人には親切にし，その人の尊厳を傷つけないようにして敬意を表わし，述べられた意見を尊重し，妥当なものであればどんな求めにもすぐに応じるでしょう。

8 幸福な結婚生活を送りたいと思う人は，「自分の益を図って自分の事だけに目を留めず，人の益を図って[配偶者]の事にも目を留め（る）」ことにより，配偶者への敬意を示します。（フィリピ 2:4）自分にとって良いことだけを考えたりはしません。それは利己的なことでしょう。そうではなく，自分の配

---

7 敬意とは何ですか。結婚生活ではだれが敬意を示すべきですか。
8-10 どのような点で敬意を示せば，結婚のきずなをしっかりとした幸福なものにすることができますか。

偶者にとって最善のことも考えます。というよりも，そちらを優先させるのです。

9 敬意があれば，夫婦は見解の相違を認めやすくなります。二人の人間が何事につけても全く同じ見方をしなければならないというのは，現実離れした考えです。夫にとっては重要なことでも，妻にはそれほど重要ではなく，妻が好きなことでも夫は好まないかもしれません。しかし，相手の見解や選択がエホバの律法や原則の範囲内にある限り，夫婦は互いにそれらを尊重するべきです。（ペテロ第一 2:16。フィレモン 14と比較してください。）さらに，人前でも私生活においても，配偶者の品位を傷つける言葉や冗談を慎むことにより，お互いに相手の尊厳を傷つけないようにして敬意を示すべきです。

10 そうです，神と互いに対する愛，そして互いに対する敬意は，実りある結婚生活に通じる二つの肝要なかぎです。これらのかぎを，結婚生活におけるさらに重要な幾つかの面でどのように用いることができるでしょうか。

キリストのような頭の権

11 聖書によれば，男性は，家族のりっぱな頭となるために必要な属性を備えた者として創造されました。そういう者として男性にはエホバのみ前で妻や子の霊的福祉，物質的福祉を図る責任がありました。男性は，エホバのご意志を反映させた平衡の取れた決定をする必要があり，敬虔な行状の良い模範を示すことになっていました。「妻は主に対するように自分の夫に服しなさい。夫は妻の頭だからです。それは，キリストが会衆の頭で……あられるのと同じです」。（エフェソス 5:22, 23）しかし聖書は，夫にも頭がいると述べています。それは夫に対する権威をお持ちになる方です。使徒パウロは，「あなた方に次のことを知って欲しいと思います。すべての男の頭は

11 聖書によれば，結婚生活における頭はだれですか。

キリストであり，女の頭は男であり，キリストの頭は神です」と書きました。（コリント第一 11:3）賢明な夫は，自分自身の頭であるキリスト・イエスに見倣うことにより，頭の権の行使の仕方を学びます。

12 イエスにもエホバという頭がおられ，イエスはこの方にふさわしく服しておられます。イエスは，「わたしは，自分の意志ではなく，わたしを遣わした方のご意志を求め（ます）」と言われました。（ヨハネ 5:30）何とすばらしい模範なのでしょう。イエスは「全創造物の初子」です。（コロサイ 1:15）イエスは，メシアになられました。また，油そそがれたクリスチャンで成る会衆の頭，すべてのみ使いたちの上に立つ，神の王国の選ばれた王になられるはずの方でした。（フィリピ 2:9-11。ヘブライ 1:4）それほどの卓越した立場にあり，一段と高められる見込みがあったにもかかわらず，人間としてのイエスは厳格でも頑固でもなく，要求が多すぎることもありませんでした。ご自分に従うべきことを弟子たちに絶えず思い起こさせるような暴君ではありませんでした。イエスは愛情と同情心に富んでおられました。虐げられていた人々に対しては特にそうでした。イエスはこう言われました。「すべて，労苦し，荷を負っている人よ，わたしのところに来なさい。そうすれば，わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう。わたしのくびきを負って，わたしから学びなさい。わたしは気質が温和で，心のへりくだった者だからです。あなた方は自分の魂にとってさわやかなものを見いだすでしょう。わたしのくびきは心地よく，わたしの荷は軽いのです」。（マタイ 11:28-30）イエスのそばにいることは大きな喜びでした。

13 幸福な家族生活を願う夫が，イエスのりっぱな特性を考慮するのは良いことです。良い夫は，妻を威嚇するこん棒のよ

---

12 イエスは，服従を示す点でも，頭の権を行使する点でも，どんなりっぱな模範を示されましたか。

13, 14 愛情深い夫は，イエスに見倣ってどのように頭の権を行使しますか。

うに頭の権を誤用する，厳格で横暴な人ではありません。むしろ，妻を愛し，尊びます。イエスが「心のへりくだった」方だったのであれば，夫にはさらにそうなるべき理由があります。イエスとは違って，夫は間違いを犯すからです。夫は間違いを犯すとき，妻に分かってほしいと思うものです。ですから謙遜な夫は，たとえ口に出して，「ごめん。君のほうが正しかったよ」とはなかなか言えなくても，自分の間違いを認めます。妻は，誇り高くて強情な夫より，慎み深く謙遜な夫の頭の権を敬うほうがはるかに楽だと思うでしょう。同様に，敬意を抱く妻も，自分が間違ったときには謝ります。

14 神は，幸福な結婚生活のために役立てることのできる優れた属性を備えた者として女性を創造されました。賢明な夫はこのことを認め，妻を押さえつけたりはしません。女性は一般に男性より同情心に富み，繊細な傾向があります。これらは，家族の世話をしたり，人間関係を滑らかにしたりする上で必要とされる特質です。女性は普通，家を住み心地の良い場所にすることにたけています。箴言 31章に描写されている「有能な妻」は数々のすばらしい特質と優れた能力を持ち，家族はそれらの益に十分あずかりました。なぜでしょうか。夫の心が彼女に「信頼を置いた」からです。―箴言 31:10，11。

15 ある文化圏では，夫の権威が過度に重視され，夫に何かを尋ねることさえ不敬な行為とみなされます。夫は妻を奴隷同然に扱うかもしれません。頭の権をそのように誤った仕方で行使すれば，妻との関係だけではなく，神との関係をも悪化させることになります。（ヨハネ第一 4:20，21と比較してください。）一方，指導を怠り，家のことを妻に取り仕切らせている夫もいます。キリストにふさわしく服する夫は，妻を利用したり，妻の尊厳を傷つけたりはしません。むしろ，イエスの自己犠牲的な愛に倣い，パウロの次の助言のとおりにします。「夫

15 夫はどのように，妻に対してキリストのような愛や敬意を示すことができますか。

たちよ，妻を愛し続けなさい。キリストが会衆を愛し，そのためにご自分を引き渡されたのと同じようにです」。（エフェソス 5:25）キリスト・イエスはご自分の追随者たちを深く愛され，彼らのために死ぬことまでされました。良い夫はその無私の態度に倣うよう努力し，妻に不当な要求をするよりも，妻の益を図ります。夫がキリストに服し，キリストのような愛や敬意を示すなら，妻は夫に服したいという気持ちになります。—エフェソス 5:28，29，33。

妻の服従

16 アダムが創造された後のある時のことです。「エホバ神は言われ（まし）た，『人が独りのままでいるのは良くない。わたしは彼のために，彼を補うものとなる助け手を造ろう』」。（創世記 2:18）神はエバを，競争相手としてではなく，「補うもの」として創造されました。結婚生活は，二人の船長が互いに張り合っている船のようにはなってはなりませんでした。夫は愛情深く頭（かしら）の権を行使し，妻は愛と敬意，それに心からの服従を示すことになっていました。

17 しかし，良い妻はよく従うだけの人ではありません。夫の下す決定を支持して，本当の助け手になるよう努力します。もちろん，夫の決定に同意できるときはそうするのも簡単ですが，同意できないとしても積極的に支持すれば，夫の決定からもたらされる結果は，そうしなかったときよりも良くなります。

18 妻は別の点でも，夫が良い頭になるのを助けることができます。夫を批判したり，妻を満足させることは決してできないと夫に感じさせたりするのではなく，夫が努力して指導してくれることに対する感謝を表わすのです。批判的にならずに夫に接する妻は，「もの静かで温和な霊」が，夫の目にだけではなく，「神の目に大いに価値のあるもの」であることを覚えて

16 妻は夫との関係で，どんな特質を示すべきですか。
17，18 妻はどんな点で，夫の本当の助け手になれますか。

おくとよいでしょう。（ペテロ第一 3:3，4。コロサイ 3:12）夫が信者でない場合はどうですか。聖書は夫が信者であってもなくても，妻が「夫を愛し，子供を愛し，健全な思いを持ち，貞潔であり，家事にいそしみ，善良で，夫に服す」ことを勧めています。「こうして神の言葉があしざまに言われることのないようにするためです」。（テトス 2:4，5）良心の関係する問題が生じる場合，未信者の夫としては，その問題が「温和な気持ちと深い敬意」をもって持ち出されるとき，妻の立場に敬意を払いやすくなるものです。未信者の夫の中には，「言葉によらず，妻の行状によって，つまり，深い敬意のこもった[妻の]貞潔な行状を実際に見て引き寄せられ（た）」人もいます。—ペテロ第一 3:1，2，15。コリント第一 7:13-16。

19 夫が，神に禁じられていることを行なうよう妻に求めるとしたらどうですか。そういうときには，妻は自分にとって第一の支配者が神であることを思い出さなければなりません。神の律法を破るよう権威者たちから求められたときの使徒たちの行動を模範とするのです。使徒 5章29節はこう述べています。「ペテロとほかの使徒たちは言った，『わたしたちは，自分たちの支配者として人間より神に従わねばなりません』」。

滑らかなコミュニケーション

20 結婚生活では，ほかにも愛と敬意の欠かせないときがあります。それはコミュニケーションを図るときです。愛情深い夫は，妻が行なっていることや妻が抱える問題，様々な事柄に対する妻の考え方などについて妻と話し合います。妻にはそれが必要です。時間を取って妻と話し合い，妻の言うことに本当に耳を傾ける夫は，妻に対する愛と敬意を示しているのです。（ヤコブ 1:19）中には，夫が自分と話す時間をほとんど取ってくれないとこぼす妻もいます。それは残念なことです。

---

19 夫が，神の律法を破るよう妻に求めるとしたらどうですか。
20 非常に大切などんなことを行なうとき，愛と敬意は不可欠ですか。

確かに，こういう忙しい時代ですから，夫は家の外で長時間働き，中には経済事情のために仕事を持つ妻もいるかもしれません。しかし，夫婦はお互いのための時間を取っておく必要があります。そうしないと，二人はばらばらになってしまうでしょう。そういう状況で，もし二人が自分に同情してくれる仲間を結婚の枠外に求めるしかないと感じているとすれば，深刻な問題が起こりかねません。

21 夫婦のコミュニケーションの仕方は重要です。「快いことばは……魂に甘く，骨のいやしとなる」と言われています。（箴言 16:24）配偶者が信者であってもなくても，「あなた方の発することばを常に慈しみのあるもの，塩で味つけされたものとし……なさい」，つまり，品の良いものにしなさい，という聖書の助言が当てはまります。（コロサイ 4:6）夫婦の一方が大変な一日を過ごしてきたときは，配偶者の優しくて思いやりのあるちょっとした言葉が大いに役立ちます。「適切な時に話される言葉は，銀の彫り物の中の金のりんごのよう（です）」。（箴言 25:11）声の調子や言葉の選び方はとても大切です。例えば，夫婦の一方がいらいらした命令口調で「ドアを閉めてよ！」と，もう一方に言うかもしれません。しかし，穏やかな思いやりにあふれた声で，「悪いけどドアを閉めてくださる？」と言うほうが，どれほど「塩で味つけされ（て）」いるか分かりません。

22 穏やかな話し方，思いやりのあるまなざしや身ぶり，親切，理解，優しさによって，滑らかなコミュニケーションはいよいよ促進されます。夫も妻も，滑らかなコミュニケーションがいつも図れるよう懸命に努力することにより，自分に必要な事柄を遠慮なく知らせることができるので，がっかりした時やスト

---

21 適切な言葉遣いは，幸福な結婚生活を持続させる上でどのように役立ちますか。

22 滑らかなコミュニケーションをいつも図れるようにするため，夫婦にはどんな態度が必要ですか。

レスを感じる時にも慰め合い，助け合うことができます。神の言葉は，「憂いに沈んだ魂に慰めのことばをかけ……なさい」と強く勧めています。（テサロニケ第一 5:14）夫が気落ちする時もあれば，妻が気落ちする時もあることでしょう。二人は「慰めのことばをかけ」合い，互いを築き上げることができます。—ローマ 15:2。

23 愛と敬意を示し合う夫婦は，意見の食い違いがあってもそれをいちいち大問題にはしません。互いに対して「苦々しく怒(ら)」ないよう懸命に努力します。（コロサイ 3:19）二人とも「温和な答えは激しい怒りを遠ざけ(る)」ということを忘れてはなりません。（箴言 15:1）配偶者が胸の内を打ち明けるときは，軽んじたり，非難したりしないように気をつけましょう。それよりも，そういう言葉を聞いたなら，それを相手の物の見方を見極める機会とみなしましょう。意見の相違を克服し，一致した結論に到達するよう一緒に努力してください。

24 サラがある問題の解決策を夫のアブラハムに示したところ，それがアブラハムの考えにそぐわなかったときのことを思い出してください。それでも，神はアブラハムに，「その声を聴き入れよ」と言われました。（創世記 21:9-12）アブラハムは言われたとおりにして，祝福を受けました。同様に，妻が夫の考えにそぐわないことを提案するとしても，夫は少なくとも耳を傾けなくてはなりません。同時に妻は，会話を独占するのではなく，夫の言うことを聴く必要があります。（箴言 25:24）夫であれ妻であれ，いつも自分のやり方に固執するのは，愛と敬意に欠けたことです。

25 滑らかなコミュニケーションは，夫婦の性関係においても大切なものです。自己本位になったり，自制心を欠いたりする

23, 24　意見の食い違いがあるとき，愛と敬意はどのように助けになりますか。例を挙げてください。

25　滑らかなコミュニケーションは，結婚生活の親密な面での幸福にどのように寄与しますか。

と，結婚生活で最も親密なこの関係がひどく損なわれることになりかねません。腹蔵のない話し合い，そして辛抱強さが不可欠です。それぞれが利己的にならずにお互いのためを思うなら，性のことが深刻な問題になることはまずありません。他の事柄と同様，この問題に関しても，「おのおの自分の益ではなく，他の人の益を求めてゆき」ましょう。―コリント第一 7:3-5；10:24。

26 神の言葉は本当に優れた助言を与えています。確かに，どんな結婚生活にも浮き沈みがあることでしょう。しかし，配偶者双方が聖書の中で明らかにされているエホバのお考えに従い，原則に支配された愛と敬意に基づいて夫婦の関係を築くとき，二人は，結婚生活が長続きのする，幸福なものになることを確信できます。こうして，夫婦は互いを尊ぶだけではなく，結婚の創始者であられるエホバ神に誉れを帰すことになります。

26 どんな結婚生活にも浮き沈みがあるとはいえ，神の言葉に聞き従うことは，夫婦が幸福を見いだす上でどのように助けとなりますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
夫婦が長続きする幸福な結婚生活を楽しむのに
どのように役立ちますか

真のクリスチャンは互いに愛し合う。
―ヨハネ 13:35。

クリスチャンは快く許し合う。
―コロサイ 3:13。

頭の権にはしかるべき順序がある。
―コリント第一 11:3。

正しいことを正しい方法に従って言うことが大切。
―箴言 25:11。

第 4 章

どのように家庭を管理できますか

「この世のありさまは変わりつつある」。（コリント第一 7:31）これは，今から1,900年余り前に書かれた言葉ですが，今日の状況にもそのままぴったり当てはまります。特に家族生活について言えば，その状況は確かに変わりつつあります。四，五十年前には普通のこと，伝統的なことと考えられていたものが，今日では受け入れられないということも珍しくありません。そのため，家庭を上手に管理するのが途方もなく難しい仕事に思える場合があります。とはいえ，聖書の助言に注意を払うなら，その難しい仕事をきちんとこなすことは可能です。

資力の範囲内で生活する

2 今日，多くの人は，単純な家族中心の暮らしではもう飽き足らなくなっています。商業界が次から次へと製品を作り出し，宣伝技術を駆使して大衆の気持ちを引き付けようとするので，何とかそうした製品を買えるようにと，長時間働くようになった父親や母親は大変な数に上ります。一方，ただ食卓に食物を並べるために日々奮闘している人も，数の面ではそれに劣りません。これらの人々は，生活必需品の支払いをするというただそれだけのために，二つの仕事を掛け持ったりして，以前よりもはるかに多くの時間を仕事に費やさなければなりません。他方，失業問題が広がっているため，一つでも仕事が見つかればそれでいいと考える人もいるでしょう。確かに，現代の

1 今日，家庭を管理するのが非常に難しい場合があるのはなぜですか。
2 どんな経済状況が家族のストレスを引き起こしていますか。

家族にとって生活は必ずしも楽ではありません。しかし，聖書の原則は，家族が置かれた状況で最善を尽くすための助けになります。

3 使徒パウロも経済的な重圧を経験しました。パウロはその問題を扱った際に貴重な教訓を学び，友人テモテにあてた手紙の中で次のように説明しています。「わたしたちは世に何かを携えて来たわけではなく，また何かを運び出すこともできません。ですから，命を支える物と身を覆う物とがあれば，わたしたちはそれで満足するのです」。（テモテ第一 6:7，8）確かに，家族が必要としているのは食物と衣服だけではありません。住む場所も必要です。子供には教育が必要です。そのほかにも医療費などの諸経費がかかります。それでも，パウロが語った言葉の原則は当てはまります。自分の欲しいものを際限なく手に入れるのではなく，必要を満たすことで満足するなら，生活はもっと楽になります。

4 助けとなる別の原則は，イエスが話されたある例えの中に示されています。イエスは，「あなた方のうちのだれが，塔を建てようと思う場合，まず座って費用を計算し，自分がそれを完成するだけのものを持っているかどうかを調べないでしょうか」と言われました。（ルカ 14:28）イエスはここで事前の考慮，前もって計画することについて語っておられます。前のほうの章では，結婚を考えている若いカップルにとってこのことがどのように助けになるかを検討しました。そうした事前の考慮は結婚後，家庭を管理する上でも役立つものです。この場合の事前の考慮には，予算を立てること，手元にある資産の最も賢明な用い方を前もって計画することが含まれます。そうすれば，どうしても必要なものに充てるお金を毎日または

---

3 使徒パウロはどんな原則について説明しましたか。それを当てはめることは，家庭を上手に管理する上でどのように役立ちますか。

4,5 家庭を管理する上で，事前の考慮や計画はどのように助けとなりますか。

毎週別にしておき，資力の範囲内で生活することによって，出費を抑えることができます。

5 ある国の場合，そうした予算を立てるということは，要するに，高利の借金をしてまで不必要な買い物をしたくなる衝動を抑えなければならない，ということかもしれません。あるいは，クレジットカードをなるべく使わないようにする，ということかもしれません。（箴言 22:7）また，衝動買い ― 本当に必要かどうかも，結果も考えずにその場の思いつきで何かを購入すること ― を抑える，ということかもしれません。さらに，予算を組めば，ギャンブル，喫煙，過度の飲酒などのために自分勝手にお金を浪費することが，聖書の原則に反するだけでなく，家族の経済状態を悪化させることも明らかになるでしょう。―箴言 23:20，21，29-35。ローマ 6:19。エフェソス 5:3-5。

6 しかし，貧しい生活をせざるを得ない人たちについてはどうですか。一つの点として，そういう人々はこの世界的な問題が一過性のものであることを知って慰められます。急速に近づく新しい世において，エホバは貧困をはじめ，人類の惨状を引き起こしている諸悪すべてを除かれます。（詩編 72:1，12-16）それまでの間，真のクリスチャンは，たとえ非常に貧しいとしても深い絶望に襲われることはありません。「わたしは決してあなたを離れず，決してあなたを見捨てない」というエホバの約束に信仰を抱いているからです。ですから，信仰のある人は確信をもって，「エホバはわたしの助け主，わたしは恐れない」と言えるのです。（ヘブライ 13:5，6）今の困難な時代に，エホバは，ご自分の崇拝者たちが神の原則に従って生活し，神の王国を生活の中で第一にするとき，様々な方法で彼らを支えてこられました。（マタイ 6:33）その点を証明できる

6 貧しい生活を送らなければならない人々にとって，どんな聖書の真理が助けになりますか。

家事は
家族全員の仕事

崇拝者たちは大変な数に上ります。彼らは使徒パウロの言葉にあるように，「わたしは……一切の事において，あらゆる境遇のもとで，飽きるにも飢えるにも，満ちあふれるほど持つにも乏しさを忍ぶにも，その秘訣を学び取りました。自分に力を与えてくださる方のおかげで，わたしは一切の事に対して強くなっているのです」と述べることができます。—フィリピ 4:12，13。

仕事を分担する

7 イエスは地上での宣教の終わりごろ，「あなたは隣人を自

7 イエスのどんな言葉を当てはめるなら，家庭を上手に管理できるようになりますか。

分自身のように愛さねばならない」と言われました。（マタイ 22:39）この原則を家族に当てはめるなら，家庭を管理する点で大いに役立ちます。何と言っても，一番近くて一番親しい隣人とは，一つ屋根の下に住む家族 ― 夫婦や親子ではないでしょうか。では，家族の者同士でどのように愛を示し合えますか。

8 一つの方法は，家族の者がめいめい適度に家事を分担することです。例えば，子供たちには，洋服であれおもちゃであれ，使った後は片づけることを教える必要があります。寝床を毎朝きちんと片づけるには時間と努力が要るかもしれませんが，家庭を管理する上ではこれが大きな助けになります。もちろん，時々ちょっと散らかるのは仕方がありませんが，家の中を適度にきちんとしておくことや，食事の後片づけは家族全員で協力して行なえます。怠惰や勝手気ままな態度，いやいやながらしぶしぶ行なう精神は，皆に悪影響を及ぼします。（箴言 26:14-16）一方，快く喜んで行なう精神は，家族生活の幸福を増進します。「神は快く与える人を愛されるのです」―コリント第二 9:7。

9 思いやりや愛があれば，一部の家庭で深刻な問題となっているような事態を招かずにすむでしょう。伝統的に，家の中では母親が主力になってきました。母親は子供の面倒を見，家の掃除をし，家族の衣類を洗濯し，食料を買い，料理をしてきました。国によっては，さらに女性が畑仕事をしたり，収穫物を市場で売ったり，何か別の方法で家計を助けたりすることが習慣になっている所もあります。以前はそうした習慣のなかった所でも，必要に迫られて，家庭外での仕事を探す既婚女性

---

8 家庭内でどのように愛を表わすことができますか。

9, 10 （イ）家の中の女性はしばしばどんな重荷を負っていますか。どうすればこの重荷を軽くできますか。（ロ）家事に対するどんな平衡の取れた見方が勧められていますか。

は数え切れないほど多くなりました。妻であり母でありながら，これら様々な分野で勤勉に働く女性は称賛に値します。聖書に描かれている「有能な妻」のように，そうした女性には一日中，することがたくさんあります。『彼女は怠惰のパンを食べません』。（箴言 31:10，27）しかし，これは，家の中の仕事ができるのは女性だけだという意味ではありません。夫も妻も外で一日中働いたあと，夫や家族のほかの者はくつろいでいるのに，妻だけが家事の重荷を負うべきでしょうか。決してそうではありません。（コリント第二 8:13，14と比較してください。）ですから，例えば，母親が食事の支度をしようとしているとき，家族のほかの者が食器を並べたり，買い物に行ったり，家の周りのちょっとした掃除をしたりしてその支度を手伝ってくれれば，母親はありがたいと思うことでしょう。そうです，全員で責任を分担できるのです。—ガラテア 6:2と比較してください。

10「私の住んでいる所では，それは男のする仕事ではない」と言う人が中にはいるでしょう。確かにそうかもしれません。しかし，この件を少し考慮してみるのは良いことではないでしょうか。エホバ神が家族を創始されたとき，神は女性だけが行なうよう特定の仕事をお定めになったわけではありません。あるとき，エホバから遣わされた特別な使者が忠実な男子アブラハムのもとを訪れると，アブラハムは自ら，客に出す食事の支度に加わり，給仕をしました。（創世記 18:1-8）聖書は，「夫は自分の体のように妻を愛すべきです」と助言しています。（エフェソス 5:28）もし，夫が一日の終わりに疲れて休みたいと思っているとしたら，妻も同じように，もしかしたら夫以上に，そう思っているのではないでしょうか。（ペテロ第一 3:7）そうであれば，夫が家事を手伝うのはふさわしいこと，愛のあることではありませんか。—フィリピ 2:3，4。

きれいな水，健康な体

世界保健機関は，きれいな水が手に入りにくく衛生状態があまり良くない国々の人々に，幾つかの実際的な提案を与えています。

「飲料水を集め，清潔な容器に蓄える。貯蔵用容器にはふたをしておき，子供や動物はその容器から飲めないようにする。……水を汲むときは，水汲み専用の柄の長いひしゃくを使う。容器は毎日空にし，すすぎ洗いをする。

「料理に使う水や幼い子供たちに飲ませる水は沸騰させること。……沸騰させるのは数秒間でよい」。

11 神を喜ばせ，仲間に幸福をもたらした人として，イエスに勝る模範はありません。イエスは一度も結婚されませんでしたが，夫にとってはもちろん，妻や子供にとっても優れた模範です。イエスはご自分について，「人の子（は），仕えてもらうためではなく，むしろ仕え……るために来た」，つまり，他の人に奉仕するために来た，と言われました。（マタイ 20:28）全員がこういう態度を培っている家族は，何と気持ちがよいのでしょう。

清さ ― なぜそれほど大切なのか

12 家庭を管理する上で役立つ聖書の別の原則は，コリント第二 7章1節にあり，そこには，「肉と霊のあらゆる汚れから自分を清め……ようではありませんか」と書かれています。霊感を受けたこの言葉に従う人々は，「清く，汚れのない崇拝」を

11 イエスはどんな点で，家族の各成員に優れた模範を示されましたか。
12 エホバはご自分に仕える人たちにどんなことを求めておられますか。

求めておられるエホバに受け入れられます。（ヤコブ 1:27）そして，その家族もそれに伴う益を受けます。

13 例えば聖書は，もはや病気のない日が来ることを保証しています。その時，「『わたしは病気だ』と言う居住者はいな（く）」なります。（イザヤ 33:24。啓示 21:4, 5）しかしそれまでは，どんな家族も時々病気の問題を扱わなければなりません。パウロやテモテでさえ病気になりました。（ガラテア 4:13。テモテ第一 5:23）それでも医療の専門家は，予防できる病気はたくさんあると言っています。賢明な家族は，肉体的汚れや霊的汚れを避けることによって，かからなくてもよいある種の病気を回避できます。どのように回避できるかを考えてみましょう。一箴言 22:3と比較してください。

14 霊的な清さには，道徳的な清さが含まれます。よく知られているように，聖書は高い道徳規準を奨励し，結婚関係外のどんな性関係をも非としています。「淫行の者，……姦淫をする者，不自然な目的のために囲われた男，男どうしで寝る者……はいずれも神の王国を受け継がないのです」。（コリント第一 6:9, 10）今日の堕落した世の中で生活するクリスチャンが，この厳格な規準を守るのは非常に大切なことです。そうすることは，神を喜ばせ，またエイズ，梅毒，淋病，クラミジア感染症などの性感染症から家族を守る助けにもなります。一箴言 7:10-23。

15『肉のあらゆる汚れから自分を清める』ことは，家族をそのほかの病気からも守る助けになります。身体的清さが欠けていたためにかかる病気は少なくありません。その顕著な例は，喫煙の習慣です。喫煙は肺や衣服，また空気そのものを

---

13 家庭を管理する上で，清さはなぜ大切ですか。
14 道徳的な清さはどのように家族を病気から守ることができますか。
15 身体的清さが欠けていたために，かからなくてもよい病気になり得ることを示す，一つの例を挙げてください。

清潔に
しておくことは
薬代ほど
高くつかない

汚すだけではなく，人を病気にしてしまいます。毎年，喫煙が原因で何百万もの人が死亡しています。考えてみてください。その『肉の汚れ』を避けていれば，毎年，何百万もの人が病気になったり，早死にしたりすることはなかったのです。

16 もう一つの例を考えてみましょう。今から3,500年ほど前，神はイスラエル国民に，彼らの崇拝と，ある程度彼らの日常生活を組織するための律法をお与えになりました。律法に設けられた衛生に関する基本的な規則のおかげで，イスラエル国民は病気から守られました。そうした律法の一つは，人間の排泄物の処理に関係するものです。人々の生活の場が汚染されないよう，排泄物は陣営から離れた所にきちんと埋めなければなりませんでした。（申命記 23:12，13）この古代の律法は今でも有益な助言です。この助言に従わなかったた

16，17 （イ）エホバから与えられたどんな律法は，イスラエル人をある種の病気から守りましたか。（ロ）申命記 23章12節と13節の背後にある原則を，どのようにすべての家庭に当てはめることができますか。

めに病気になったり，死んだりする人は今も跡を絶ちません。*

17 イスラエルのその律法の背後にあった原則に調和して，家族の浴室やトイレは ― 家の中であれ外であれ ― 清潔にし，消毒しておくべきです。トイレを清潔にして，ふたをしておかないと，ハエがたかり，家のほかの場所にばい菌をまき散らします。わたしたちの口に入れる食べ物の上も例外ではありません。さらに，子供も大人もトイレに行った後にはぜひ手を洗いましょう。そうしないと，皮膚に付いたばい菌を持ち帰ってしまうことになります。フランスのある医師によれば，手を洗うことは，「依然として，ある種の消化器系感染，呼吸器系感染，もしくは皮膚感染を確実に予防できる最善の手段の一つ」に数えられています。

18 確かに，貧しい地域では，清潔にしておくというのは大変なことです。そういう地域の事情に詳しいある人は次のように説明しました。「うだるように暑い気候のため，清潔にすることにはその分だけ難しさが伴います。砂あらしが起きると，家の割れ目や透き間はみな細かい茶色のほこりで埋まります。……さらに，都会でも，一部の田舎の地域でも人口が急増しているため，健康を脅かす要因が作り出されます。覆いのない下水道，収集されていないごみの山，汚い共同トイレ，病気を運ぶネズミ，ゴキブリ，ハエなどは珍しくなくなりました」。

19 こうした状況のもとで清潔さを保つのは容易ではありません。それでも，努力するだけの価値はあります。石けんや水，わずかな余分の仕事などは，薬代や医療費ほど高くつきません。もし，こういう環境の中で生活しておられるなら，でき

* 世界保健機関は，下痢 ― 多数の乳幼児の死を招くありふれた病気 ― を起こさないようにするためのアドバイスを載せた手引き書の中でこう述べています。「トイレがない場合：家や子供たちの遊び場から遠く離れた所，また給水源から少なくとも10㍍離れた所で排便すること。糞便を土で覆うこと」。

18，19 貧しい地域であっても家を清潔にしておくため，どんなことが勧められていますか。

る限り，家や庭を清潔に保ち，動物の糞が落ちていないようにしてください。家までの道が雨期になるとぬかるむようなら，道に砂利を敷いたり石を置いたりして，家の中に泥が入らないようにできるでしょうか。靴やサンダルを履いている人は，家に入る前にそれをぬぐことができますか。さらに，水の供給源が汚染されないようにしておかなければなりません。汚い水や不衛生に関係した病気で，年間少なくとも200万人が死亡するものと見られています。

20 家が清潔になるかどうかは，母親，父親，子供たち，訪問客などの個人個人にかかっています。ケニアに住む8人の子供を持つ母親は，「みんな自分の分を果たすことを学びました」と述べました。清潔できちんとした家は，家族全体について良い印象を与えます。スペインには，「貧しさと清潔さの間に対立はない」ということわざがあります。大邸宅，アパート，質素な家，丸太小屋など，どこに住んでいようと，家族の健康を増進するかぎは，清潔さなのです。

励ましの言葉は人を元気づける

21 箴言の書は有能な妻について論じ，こう述べています。「その子らは立ち上がって彼女を幸いな者と言った。彼女を所有する者も立ち上がり，これを称賛する」。（箴言 31:28）この前，自分の家の者を褒めたのはいつのことですか。わたしたちはまさに，暖かくなって水分が与えられればすぐにでも花を咲かせる春の草木のようです。わたしたち人間の場合には，温かな褒め言葉が必要です。妻は，夫が妻の勤勉な働きや愛情深い世話に感謝していること，妻の存在を当たり前とは考えていないことを知ると，元気づけられます。（箴言 15:23; 25:11）

---

20 家を清潔にしたいのであれば，どんな人たちがその責任を分け合うべきですか。

21 箴言 31章28節に調和して，家族を幸福にするのにどんなことが役立ちますか。

また妻のほうが，家庭の内外で働いてくれる夫を褒めるのは，気持ちのよいものです。子供たちも，家や学校やクリスチャン会衆内で自分たちが払っている努力を親に褒めてもらうと，活気づきます。ちょっとした感謝の言葉が大きな働きをするのです。ひとこと「ありがとう」と言うのにどれほどの手間ひまがかかるでしょうか。ほとんどかかりません。それでも，家族の士気が高まるというすばらしい報いが得られるのです。

22 様々な事情のため，家庭を管理するのはたやすいことではありません。それでも，上手に管理することは可能です。聖書には，「家は知恵によって築き上げられ，識別力によって堅く立てられることになる」と述べる格言があります。（箴言24:3）家族全員が，神のご意志を学んでそれを生活に当てはめるよう懸命に努力するなら，知恵と識別力を得ることができます。確かに，幸せな家庭は，努力をして築くだけの価値があります。

22 家が「堅く立てられる」ためには何が必要ですか。どうすればそれを得ることができますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
家族が家庭を管理するのにどのように役立ちますか

生活に必要なものだけで満足するのは賢明なこと。
—テモテ第一 6:7, 8。

エホバがご自分に仕える者を見捨てられることはない。
—ヘブライ 13:5, 6。

他の人に対する愛はキリスト教の際立った特質。
—マタイ 22:39。

クリスチャンは身体的，霊的清さを保つ。
—コリント第二 7:1。

第 5 章

幼い時から子供をしつける

「子らはエホバからの相続物であ（る）」。今から3,000年ほど前，感謝の念にあふれた一人の親は感嘆の声を上げ，そのように述べました。（詩編 127:3）実際，親であることの喜びは神から与えられるかけがえのない報いであり，結婚していれば大抵の人がこの喜びを経験できます。しかし，子供を持った人はやがて，親であることには喜びと共に責任が伴うことを悟ります。

2 特に，この時代に子供を育てるのは大変な仕事です。それでも，上手に子供を育て上げてきた人は大勢います。霊感を受けた詩編作者はその方法に注意を向け，こう述べています。「エホバご自身が家を建てるのでなければ，建てる者たちがそのために骨折って働いても無駄である」。（詩編 127:1）エホバの教えにしっかりと従えば従うほど，良い親になれるのです。聖書には，「心をつくしてエホバに依り頼め。自分の理解に頼ってはならない」という言葉があります。（箴言 3:5）あなたは，子育てという20年計画に取りかかるに当たって，エホバの助言に進んで耳を傾けますか。

聖書の見方を受け入れる

3 世界中で多くの家庭の男性は，子供のしつけはおもに女性の仕事だと考えています。確かに，神の言葉は父親が一家のおもな稼ぎ手であることを示していますが，父親には家庭内での責任があるとも教えています。聖書はこう述べています。「自分の仕事を戸外で整え，自分のためにそれを畑で用意せよ。その後，あなたはまた，自分の家を築かなければならない」。

1，2　親は子供を育てる上での助けをだれに求めるべきですか。
3　子供を育てる上で，父親にはどんな責任がありますか。

(箴言 24:27) 神の見地からすれば，父親と母親は一緒に子供のしつけに携わるパートナーなのです。—箴言 1:8，9。

4 あなたはお子さんをどう見ておられますか。アジアでは「たいてい女の赤ちゃんはあまり歓迎されない」と伝えられています。中南米では“開けた家族”の間でさえ，いまだに女の子に対する偏見があるということです。しかし，事実を言えば，女の子は子供として劣っているのではありません。古代の有名な父親ヤコブは，自分の子供全体を指して，「神が[私]に恵みとして与えてくださった子供たち」と呼びました。その中には，その時までに生まれていた娘たちもみな含まれていました。(創世記 33:1-5；37:35) 同様にイエスも，ご自分のところに連れて来られた「幼子たち」すべてを（男の子も女の子も）祝福なさいました。(マタイ 19:13-15) イエスがエホバの見方を反映しておられたことは疑う余地がありません。—申命記 16:14。

5 あなたが住んでおられる地域社会では，女性はできるだけたくさん子供を産むものだと考えられていますか。当然のことですが，子供を何人持つかはそれぞれの夫婦が自分たちで決めることです。では，たくさんの子供に食物と衣服を与え，教育を受けさせる資力が親にないときはどうですか。もちろんこれは，夫婦が子供を何人持つかを決めるときに考えるべきことです。中には，子供たち全員を扶養できないため，そのうちの何人かを親族に預け，育てる責任を委ねてしまう夫婦もいます。この習慣は望ましいものでしょうか。あまり望ましいとは言えません。それに，子供を預けたからといって，子供に対する親の務めがなくなるわけでもありません。聖書は，「自分に属する人々，ことに自分の家の者に必要な物を備えない人がいるなら，その人は信仰を否認していることになり（ます)」

4 男の子のほうが女の子よりも優れていると考えるべきでないのはなぜですか。

5 子供を何人持つかを決める際，夫婦はどんな考え方を基準にすべきですか。

と述べています。（テモテ第一 5:8）責任感のある夫婦なら自分の「家」の人数を前もって計画し，『自分に属する人々に必要な物を備える』ことができるようにするでしょう。そうするために産児制限ができますか。これも個人の決定にまかされており，もし夫婦が実際に産児制限をすることにしたなら，どんな方法で避妊をするかということも，やはり個人的な問題になります。「人はおのおの自分の荷を負うのです」。（ガラテア 6:5）しかし，どんな形であれ妊娠中絶が関係する産児制限となると，聖書の原則に反します。エホバ神は「命の源」であられます。（詩編 36:9）ですから，身ごもった命を絶つのは，エホバに対して甚だしく不敬な態度を示すことであり，殺人に相当します。―出エジプト記 21:22, 23。詩編 139:16。エレミヤ 1:5。

お子さんの必要を満たす

6 箴言 22章6節には，「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ[または，しつけよ]」とあります。子供のしつけは，もう一つの大切な親の務めです。しかしそのしつけをいつから始めたらよいでしょうか。ごく早い時期からです。使徒パウロは，テモテが「幼い時から」しつけられていたことに触れました。（テモテ第二 3:15）ここで用いられているギリシャ語は，小さな赤ちゃんだけでなく，胎児をさえ指す場合があります。（ルカ 1:41, 44。使徒 7:18-20）ですから，テモテは非常に幼い時からしつけを施されていたことになります。それは正しいことでした。幼い時は，子供のしつけを始めるのに絶好の時です。小さな赤ちゃんにも知識欲があるのです。

7 ある母親は，「自分の赤ちゃんを初めて見たとき，その子が大好きになりました」と言っています。母親なら大抵はそ

---

6 子供のしつけはいつ始めるべきですか。

7 （イ）両親のどちらも赤ちゃんとの親密な関係を培うのはなぜ大切なことですか。（ロ）エホバとその独り子の間にはどんな関係がありましたか。

う感じます。母と子のこのすばらしい愛情は，出産のあと，二人が一緒に時間を過ごすにつれて強まってゆきます。その親密さは乳を与えることでますます深まります。（テサロニケ第一 2:7と比較してください。）母親が赤ちゃんを愛撫したり，赤ちゃんに話しかけたりすることは，赤ちゃんの感情的な必要を満たすために欠かすことができません。（イザヤ 66:12と比較してください。）しかし，父親についてはどうでしょうか。父親も，生まれてきた子との親密な関係を築くべきです。エホバご自身がその模範となっておられます。箴言の書を見ると，エホバとその独り子の関係が分かりますが，そこで示されている独り子は，「エホバご自身が，その道の初めとして，……わたしを産み出された。……わたしは……神が日々特別の親愛の情を抱く者となった」と語っておられます。（箴言 8:22，30。ヨハネ 1:14）同様に，良い父親は子供が生まれるとすぐに，その子との温かく，愛情にあふれた関係を培います。ある親は，「愛情をたっぷり示すことです。抱きしめてキスしたために死んだ子供は一人もいません」と言っています。

8 しかし，赤ちゃんにはそれ以外にも必要なことがあります。赤ちゃんの脳は誕生の瞬間から情報を受け入れ，蓄える態勢ができており，その情報源となるのはおもに両親です。言語を例に取ってみましょう。研究者たちによれば，子供がどれほど上手に話し方や読み方を学んでゆくかは，「子供が幼い時の，両親との交流の性質と密接な関係があると考えられて」います。赤ちゃんの時からお子さんに話しかけ，何かを読んで聞かせましょう。やがてお子さんはあなたの真似をしたがるようになり，あなたはほどなくしてお子さんに読み方を教えることができるようになります。恐らく，お子さんは学校に上がる前に字が読めるようになるでしょう。とりわけ，教師の数が少

8 親はできるだけ早いうちからどんな知的刺激を赤ちゃんに与えるべきですか。

なく，教室が生徒であふれている国にお住まいの方は，この方法から益を得られるでしょう。

9 親であるクリスチャンにとって最大の関心事は，子供の霊的な必要を満たすことです。（申命記 8:3をご覧ください。）その目標は何ですか。子供がキリストのような人格を培う，つまり，「新しい人格」を着けるよう助けることです。（エフェソス 4:24）そのために親は，ふさわしい建築資材とふさわしい建築方法を考慮に入れる必要があります。

子供に真理を教え込む

10 建物の出来の良し悪しは，その建築物に使われる資材の種類に大きく依存しています。使徒パウロは，クリスチャン人格を築くための最良の建築資材は「金，銀，宝石」である，と述べました。（コリント第一 3:10-12）これらは，信仰，知恵，識別力，忠節，敬意，エホバとその律法に対する愛に基づく感謝の念といった特質を表わしています。（詩編 19:7-11。箴言 2:1-6; 3:13, 14）親はどのように子供たちがごく幼い時からこれらの特質を培えるよう助けることができるでしょうか。遠い昔に略述された手順に従うのです。

11 エホバは，イスラエル国民が約束の地に入る少し前，イスラエル人の親たちに次のように言われました。「わたしが今日命じているこれらの言葉をあなたの心に置かねばならない。あなたはそれを自分の子に教え込み，家で座るときも，道を歩くときも，寝るときも，起きるときもそれについて話さねばならない」。（申命記 6:6, 7）そうです，親は模範，友，話し相手，教え手になる必要があるのです。

12 模範になる。最初にエホバは，「これらの言葉をあなたの

---

9 親が心に留めておくべき一番重要な目標とは何ですか。
10 子供たちはどんな特質を培う必要がありますか。
11 イスラエル人の親たちは，子供が敬虔な人格を培うようどのように助けましたか。
12 親が良い模範になることが非常に重要なのはなぜですか。

心に置かねばならない」と言われ，それから，「あなたはそれを自分の子に教え込（ま）ねばならない」と言葉を加えられました。ですから，まず，親の心の中に敬虔な特質がなければなりません。親は真理を愛し，真理を実践しなければなりません。そうするときに初めて，親は子供の心を動かすことができます。（箴言 20:7）なぜでしょうか。子供に対する影響力は，耳で聞くことよりも，目で見ることのほうが大きいからです。—ルカ 6:40。コリント第一 11:1。

13 友になる。エホバはイスラエルの親たちに，『家で座るときも，道を歩くときも，子供たちと話しなさい』と言われました。このとおりにするには，親はどんなに忙しくても子供と一緒に時間を過ごす必要があります。イエスは明らかに，子供たちのために時間を取るのは当然だと考えておられました。イエスの宣教が終盤を迎えたころ，「彼に触っていただこうとして，人々が幼子たちをそのもとに連れて来（まし）た」。イエスはどうされましたか。「子供たちを自分の両腕に抱き寄せ，……祝福しはじめられ（まし）た」。（マルコ 10:13，16）考えてみてください。イエスの命が絶たれる時は刻々と迫っていました。それでも，イエスはこの子供たちのために時間を割き，子供たちに注意を向けられたのです。何とすばらしい手本でしょう。

14 話し相手になる。お子さんと一緒に時を過ごせば，お子さんと話し合えるようになります。話し合いを重ねれば重ねるほど，どのようにお子さんの人格が形成されているかがはっきり見えてきます。しかし話し合いというのは，単に話すことではありません。その点を忘れないようにしましょう。ブラジルのある母親は，「私は話の聴き方，心で聴く術を身につける必要がありました」と語りました。この母親の辛抱強さは実

---

13 クリスチャンである親は，子供たちに注意を向ける点で，どのようにイエスの模範に倣えますか。

14 親が子供と一緒に時を過ごすのはなぜ有益ですか。

親の皆さん，模範，友，話し相手，教え手になってください

を結び，息子は自分の気持ちを打ち明けるようになりました。

15 子供たちには，『笑う時や跳び回る時』，レクリエーションの時間が必要です。（伝道の書 3:1，4。ゼカリヤ 8:5）親子が一緒に楽しむなら，レクリエーションは大きな報いをもたらします。残念なことに，多くの家庭ではレクリエーションと言えば，テレビを見ることです。中には楽しいテレビ番組もあるかもしれませんが，多くの番組は正しい価値規準を打ち壊す上，テレビを見ることで，家族の話し合いは脇に追いやられてしまいがちです。ですから，子供たちと一緒に何か有意義なことを行なってはいかがですか。歌を歌ったり，

---

15 レクリエーションに関しては，どんなことを思いに留めておく必要がありますか。

ゲームをしたり，友達と交わったり，どこか楽しい場所に行ったりするのです。こうした活動によって話し合いの機会が生まれます。

16 教え手になる。エホバは，「あなたは[これらの言葉を]自分の子に教え込（ま）ねばならない」と言われました。何を，どのように教えるかということは文脈に示されています。まず，「あなたは，心をつくし，魂をつくし，活力をつくしてあなたの神エホバを愛さねばならない」とあります。（申命記 6:5）それから，「これらの言葉を……教え込（ま）ねばならない」と続いています。魂をこめてエホバとその律法を愛するようになることを目指して，教えを授けてください。（ヘブライ 8:10と比較してください。）「教え込む」という語には，繰り返しによって教えるという意味があります。ですからエホバは実際のところ，敬虔な人格を培うようお子さんを助ける主要な方法は，神について絶えず話すことである，と言っておられるのです。これには，子供たちと定期的に聖書を研究することが含まれます。

17 大抵の親は，子供の心に情報を入れるのが容易ではないことを知っています。使徒ペテロは仲間のクリスチャンに，「生まれたばかりの幼児のように，み言葉に属する，何も混ぜ物のない乳を慕う気持ちを培い……なさい」と熱心に勧めました。（ペテロ第一 2:2）『慕う気持ちを培いなさい』という表現から，多くの人は生まれつき霊的な食物を渇望するわけではないことがうかがえます。親は，この慕う気持ちを子供たちの心の中に育（はぐく）む方法を探し出す必要があるでしょう。

18 イエスは，例えを用いることによって心を動かしました。（マルコ 13:34。ルカ 10:29-37）この教え方は子供たちには

16 親はエホバについて子供たちにどんなことを教えるべきですか。また，どのように教えるべきですか。
17 親は子供たちのうちに何を育む必要があるかもしれませんか。それはなぜですか。
18 親はイエスのどんな教え方に見倣うよう勧められていますか。

特に効果的です。「わたしの聖書物語の本」という出版物*にあるような，多彩で興味深い物語を使って，聖書の原則を教えてください。子供たちを話に引き込んでください。子供たちに創造力を発揮させ，聖書中の出来事を絵に描いたり，演じたりできるようにしてあげましょう。イエスは質問も用いられました。（マタイ 17:24-27）家族研究の時，イエスの用いられたその方法に見倣ってください。神の律法をただ述べるのではなく，エホバがこの律法をお与えになったのはなぜだろう，この律法を守るとどうなるだろう，守らないとどうなるだろう，といった質問をしてください。そういう質問は，子供が筋道を立てて考え，神の律法が実際的で有益なものであるということを理解するのに役立ちます。—申命記 10:13。

19 模範，友，話し相手，教え手になることにより，親は子供がごく幼い時からエホバ神との親密で個人的な関係を培うよう助けることができます。この関係は，お子さんがクリスチャンとして幸福になるための力になります。仲間からの圧力や様々な誘惑に直面しても，自分の信仰にふさわしく生き抜こうとするでしょう。この貴重な関係を高く評価するようお子さんを助け続けてください。—箴言 27:11。

懲らしめは不可欠

20 懲らしめとは，思いと心を矯正する訓練のことです。子供たちには絶えず懲らしめが必要です。パウロは父親たちに，「エホバの懲らしめと精神の規整とをもって[あなた方の子供を]育ててゆきなさい」と助言しました。（エフェソス 6:4）親は，エホバが行なわれるように，愛のうちに懲らしめるべきです。（ヘブライ 12:4-11）愛に基づく懲らしめは，言って聞

---

* ものみの塔聖書冊子協会発行。

---

19 親が聖書の原則に従って子供を扱うなら，子供たちはどんな大きな益を得ますか。

20 懲らしめとは何ですか。それをどのように施したらよいでしょうか。

かせるという形で施されることもあります。「懲らしめに聴き従（え）」と言われているのはそのためです。（箴言 8:33）では，懲らしめはどのように与えたらよいのでしょうか。

21 親の中には，脅しつけるように子供に話したり，叱りつけたり，さらには侮辱したりすれば，それだけで子供を懲らしめたことになると考える人もいます。しかし，この同じ問題についてパウロは，『父たちよ，あなた方の子供をいら立たせてはなりません』と警告しています。（エフェソス 6:4）クリスチャンは皆，「すべての人に対して穏やかで，……好意的でない人たちを温和な態度で諭す」よう強く勧められています。（テモテ第二 2:24，25）クリスチャンである親は子供を懲らしめるに際し，毅然とした態度の必要性を認めつつも，これらの言葉を思いに留めるようにします。とはいえ，言って聞かせるだけでは足りず，何らかの罰が必要なときもあるでしょう。―箴言 22:15。

22 どんな懲らしめが必要かは，子供によって異なります。「単なる言葉によって正される」わけではない子供もいます。そういう子供にとって，言うことを聞かなかったために時々与えられる罰は，命を救うものとなるかもしれません。（箴言 17:10；23:13，14；29:19）しかし子供は，自分に罰が与えられている理由を理解している必要があります。「むち棒と戒めは知恵を与える」のです。（箴言 29:15。ヨブ 6:24）さらに，罰には限度があります。エホバはご自分の民に，「わたしはあなたを適度に打ち懲らさなければならない」と言われました。（エレミヤ 46:28後半）聖書は決して，怒りにまかせたむち打ちや，激しい殴打を容認してはいません。そのようにすれば子供の体にあざをつけ，ひどい時には傷を負わせることになります。―箴言 16:32。

---

21 子供を懲らしめるに際し，親はどんな原則を念頭に置くべきですか。

22 子供に罰が必要な場合は，子供がどんなことを理解するよう助けなければなりませんか。

効果的な懲らしめ

有意義な懲らしめの一つに，悪い行ないがどんな不快な結果を招くかを子供に実感させるという方法があります。（ガラテア 6:7。出エジプト記 34:6，7と比較してください。）例えば，子供が散らかしたときに一番強烈な印象を与えるのは，自分で掃除をさせることかもしれません。お子さんはだれかを不公平に扱ったことがありますか。謝ることを命じるなら，その間違った傾向を正せるでしょう。懲らしめの別の方法は，必要な教訓を十分に理解させるため，しばらくの間，特権を取り上げることです。こうすることで，子供は正しい原則にしっかりと付き従うことの知恵を学びます。

23 エホバは，ご自分の民を懲らしめるつもりであることを知らせたとき，まず，こう言われました。「恐れてはならない……わたしはあなたと共にいるからである」。（エレミヤ 46:28前半）同様に，親が与える懲らしめは，どんなふさわしい方法を用いるにしても，子供に対し，自分は突き放されていると感じさせるものであってはなりません。（コロサイ 3:21）むしろ子供心にも，親は『自分と共に』いる自分の味方なので懲らしめを与えてくれるのだ，と感じ取れるようであるべきです。

自分の子供を危害から守る

24 子供のころを振り返ると楽しい思い出がよみがえってくる，という大人は少なくありません。何があっても親が必ず構ってくれる ― そういう心温まる安心感が思い出されるのです。親は自分の子供にもそう感じていてほしいと思いますが，

---

23 親から罰を与えられるとき，子供がどんなことを認識できるようにすべきですか。

24，25 最近では，脅威となっているどんな一つの忌まわしい傾向から子供たちを守る必要がありますか。

堕落した今の世の中で子供の安全を守ることは以前ほど容易ではありません。

25 近年，一つの忌まわしい傾向が大きな脅威となってきました。それは，子供に対する性的いたずらです。マレーシアでは，子供に対する性的いたずらの届け出が10年間で4倍に増えました。ドイツでも毎年約30万人の子供が性的虐待を受けていますが，ある調査によれば，南米のある国の推定被害者数は年間で何と900万人にも上ります。悲惨なことに，これらの子供の大半は，自分の知っている，信頼している人から自宅で性的いたずらを受けています。しかし，親が子供たちの強い味方になってくれるはずです。親はどのように子供を守ることができるでしょうか。

26 経験から分かるように，子供にいたずらをする者たちのえじきに特になりやすいのは，性についてほとんど知らない子供たちですから，おもな予防手段となるのは，まだ幼いころから子供を教育することです。知識があれば，「悪い道から，ゆがんだ事柄を話す者から」身を守ることができます。（箴言 2:10-12）どんな知識のことですか。聖書の原則，道徳上の正邪に関する知識です。その知識の中には，悪事に携わる大人もいること，ふさわしくない行為をさせようとする人に子供が従う必要はないことも含まれます。（ダニエル 1:4, 8; 3:16-18と比較してください。）そのような教育を一回の話で終わらせてはなりません。大抵の幼い子供たちは，よく覚えるまで何度も繰り返して教訓を学ぶ必要があります。子供たちが少し大きくなれば，父親は愛の気持ちからプライバシーに関する娘の権利を尊重し，母親も同様に息子の権利を尊重します。そのようにして，正しい事柄を感じ取る子供の力を強化するのです。もちろん，性的虐待から子供を守る非常に効果的な方法の一つは，親の皆さんの注意深い監督です。

---

26 どんな方法で子供の安全を守ることができますか。知識があれば，子供はどのように守られますか。

神の導きを求める

27 確かに，子供を幼い時からしつけるのは大仕事ですが，信仰を持つ親は独りでこの大仕事に立ち向かう必要はありません。かつて裁き人の時代に，マノアという人は自分が父親になることを知り，子供の育て方に関してエホバの導きを求めました。エホバはその祈りに答えられました。—裁き人 13:8，12，24。

28 今日でも同様に，信仰を持つ親は子供を育てるに当たり，祈りの中でエホバに語りかけることができます。親になることは大変な仕事ですが，大きな報いがあります。ハワイに住むあるクリスチャンの夫婦は次のように語っています。「ティーンエージャーという難しい時期を迎える前に，親には12年でやり遂げねばならないことがあります。しかし，もし親が聖書の原則を当てはめようと一生懸命努力してきたのであれば，子供が心からエホバに仕えたいということを決意する時に，喜びと平安を刈り取る時期を迎えます」。（箴言 23:15，16）お子さんがそのような決定をする時，あなたも思わず感嘆の声を上げ，『息子ら[と娘ら]はエホバからの相続物である』と言いたくなるでしょう。

27，28 親が子育てという大仕事に立ち向かうとき，親の最も強力な助け手となるのはだれですか。

ここに挙げた聖書の原則は……
親が子供をしつけるのにどのように役立ちますか

エホバに依り頼みなさい。—箴言 3:5。

責任を担いなさい。—テモテ第一 5:8。

エホバは愛ある父。—箴言 8:22，30。

親には子供を教える責任がある。—申命記 6:6，7。

懲らしめが必要。—エフェソス 6:4。

第 6 章

伸び伸びと成長するよう十代の子供を援助する

家にティーンエージャー（十代）がいるというのは，5歳の子はもちろん，10歳の子がいる場合とも大いに異なります。十代（13歳から19歳）の時期には十代特有の様々な難しい問題が起きますが，同時に喜びや報いがもたらされることもあります。ヨセフ，ダビデ，ヨシヤ，テモテなどの例は，若者であっても責任をもって行動し，エホバとの良い関係を持てることを示しています。（創世記 37:2-11。サムエル第一 16:11-13。列王第二 22:3-7。使徒 16:1, 2）今日でも，多くの十代の若者がそのことを身をもって証明しています。多分，あなたもそういう若者を幾人かご存じでしょう。

2 それでも，ある若者たちにとって，十代は不安定な時期です。思春期の若者は感情の起伏を経験します。十代の男女は，もっと自立したいと考えるかもしれず，親の設ける制限に腹を立てるかもしれません。とはいえ，そういう若者たちは依然として非常に経験が浅く，親の与える愛のこもった辛抱強い助けを必要としています。そうです，十代の時期は，親と十代の子供双方にとって，興奮に満ちた時期ともなれば，混乱をきたす時ともなるのです。こうした時期の若者をどのように助けることができるでしょうか。

3 聖書の助言に従う親は，思春期の子供がそうした困難な時期を経て責任感のある大人へと順調に成長できるよう，可能な

1, 2　十代の時期には，どんな難しい問題が起き，同時にどんな喜びがもたらされますか。

3　親は思春期の子供にどんな方法で人生における優れた機会を与えることができますか。

範囲で最善の機会を与えます。どこの国に住んでいようと，どんな時代であろうと，聖書の原則を共に当てはめる親と十代の子供は，祝福され，成功を収めてきました。—詩編 119:1。

包み隠しのない率直な対話

4 聖書は，「内密の[または，打ち解けた]話し合いのないところには計画のざ折があ（る）」と述べています。（箴言 15:22）子供が幼かったころ，打ち解けた話し合いが必要だったのであれば，若者にとって恐らく家にいる時間が少なくなり，学校の友達やほかの仲間と一緒にいる時間が増える十代の時期には，なおのことそうした話し合いが不可欠です。打ち解けた話し合い，つまり親子の間の包み隠しのない率直な対話がないなら，十代の子供は家にいながら，他人のようになってしまうおそれがあります。では，どうすれば対話のパイプが詰まらないようにしておけるでしょうか。

5 このことに関しては，十代の子供と親の双方に果たすべき役割があります。確かに思春期になると，それ以前と比べて，親と話し合うのが難しく思えるかもしれません。それでも忘れてならないのは，「巧みな指導がないと民は倒れる。しかし，助言者の多いところには救いがある」ということです。（箴言 11:14）この言葉は，老若の別なく，どんな人にも当てはまります。このことを認める十代の子供たちは，自分たちが以前よりも複雑な問題に直面しているため，今でも巧みな指導を必要としていることを理解するでしょう。また，信者である親が助言者として十分資格にかなっていることも認めるはずです。親は人生経験が長く，長年にわたって，愛ある関心を示してくれたからです。ですから，賢明な十代の子供は，人生のこの時期に親を遠ざけるようなことはしません。

---

4 十代の時期に打ち解けた話し合いがとりわけ重要なのはなぜですか。
5 十代の子供は親との対話をどうみなすよう勧められていますか。

6 率直に対話するということは，十代の子供が話し合いの必要を感じるとき，親が懸命に努力してそれに応じることを意味しています。親である皆さんは，少なくとも決して親の側からは，対話のパイプを詰まらせないようにしてください。これは簡単なことではないでしょう。聖書は，「黙っているのに時」があり，「話すのに時」があると述べています。（伝道の書 3:7）十代のお子さんが，これは自分にとっては話す時だと思っても，皆さんにとっては黙っているべき時かもしれません。恐らく皆さんはその時間を，個人研究をしたり，くつろいだり，家の周りの仕事をしたりするために取っておいたことでしょう。それでも，年若いお子さんがあなたと話したいときは，自分の計画を調整し，話に耳を傾けるようにしましょう。そうしないと，お子さんはもうその話をしようとはしないかもしれません。イエスの模範を忘れないことです。ある時，イエスはくつろぐつもりで時間を取っておかれました。しかし，イエスの話を聞くために大勢の人が押し寄せてきたとき，イエスは休息を後回しにして人々を教え始められました。（マルコ 6:30-34）十代の子供はたいてい親が忙しい生活を送っていることを知っていますが，それでも，必要なときには親がそばにいてくれるので安心だ，と感じている必要があります。ですから，いつでも求めに応じ，理解を示してください。

7 自分が十代の時はどうだったかを思い出すようにし，ユーモアのセンスを失わないことです。親は子供と一緒にいるのが楽しいと感じている必要があります。自由な時間ができたとき，親は何をしてその時間を過ごしますか。自由な時間ができるといつも子供を置いて行動したがる親であれば，十代の子供はすぐにそのことに気づきます。もし思春期の子供が，親よりも学校の友達のほうが自分のことを考えてくれると決め込

---

6 賢明で愛のある親は，十代の子供と対話することに関してどんな態度を取りますか。

7 親はどんなことを避ける必要がありますか。

んでしまうなら，必ずや問題が生じます。

何について対話するか

8 これまで正直さや一生懸命働くことに対する認識を子供たちに教え込んでこなかった親の皆さんは，十代の時期に是が非でもそれを教え込まなければなりません。（テサロニケ第一 4:11。テサロニケ第二 3:10）さらに，子供たちが道徳的で清い生活を送ることの大切さを心から信じているかどうか，親がきちんと確かめるのはたいへん重要です。（箴言 20:11）その際，親の模範は多くのことを物語ります。未信者の夫が「言葉によらず，妻の行状によって……引き寄せられる」ことがあるのと同様，十代の子供たちも親の行状を通して正しい原則を学ぶことができるのです。（ペテロ第一 3:1, 2）しかし，模範だけでは決して十分ではありません。一歩家庭の外へ出れば，子供たちは多くの悪い手本や，挑発的な宣伝の洪水にもさらされるからです。ですから，子供を思う親であれば，十代の子供たちが自分の見聞きしていることをどう考えているかを知る必要があります。そのために求められるのは，意味のある会話です。—箴言 20:5。

十代の子供が話し合いを必要とするとき，すぐに応じてください

---

8 正直さ，一生懸命働くこと，ふさわしい行状に対する認識をどのように子供たちの心に刻み込むことができますか。

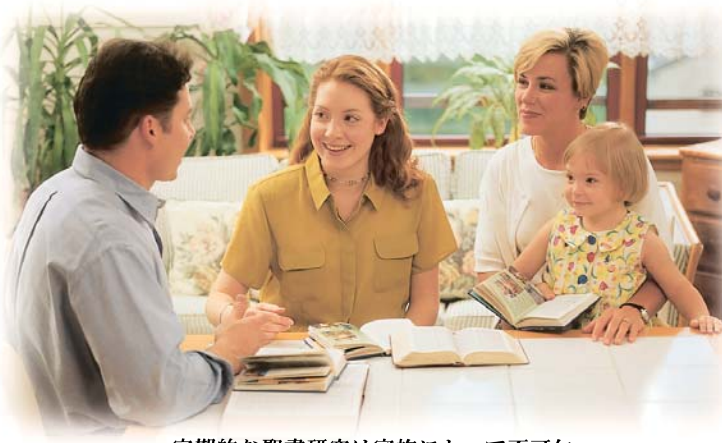
9 こと性の問題に関しては，とりわけそれが当てはまります。親の皆さん，お子さんと性について話し合うのはきまりが悪いと思われますか。たとえそうであっても，話し合うよう努めてください。子供は必ずほかの人から性のことを教えられるからです。親に教えてもらわなければ，誤った情報を取り入れないとも限りません。エホバは聖書の中で，性的な事柄を避けて通るようなことはしておられません。ですから，親も避けて通るべきではないのです。―箴言 4:1-4; 5:1-21。

10 感謝すべきことに，聖書には性行動の分野における明確な導きが収められており，ものみの塔協会は，この導きが今日の世界にも当てはまることを示す，多くの有益な情報を出版物の形で公表してきました。この助けを活用してみてはいかがですか。例えば，息子さんや娘さんと，「若い人が尋ねる質問 ― 実際に役立つ答え」という本の第1巻と第2巻にある，関係する章を考慮してみるのはどうでしょうか。喜ばしい結果になって驚かれるかもしれません。

11 親子で話し合うべき一番重要なこととは何でしょうか。使徒パウロはそのことに触れ，「エホバの懲らしめと精神の規整とをもって[あなた方の子供を]育ててゆきなさい」と書きました。（エフェソス 6:4）子供たちはエホバについて学び続ける必要があります。とりわけ，エホバを愛することを学ぶ必要があり，エホバに仕えたいと思うようになることが期待されています。この点でも，模範を通してたくさんのことを教えることができます。親が「心をこめ，魂をこめ，思いをこめて」神を愛し，そのために親の生活に良い実が生み出されている様子を見るなら，思春期の子供は良い感化を受けて，自分たちも同じようにするでしょう。（マタイ 22:37）

9, 10 親が性の問題について必ず子供に教えるべきなのはなぜですか。どのように教えることができますか。

11 エホバにどのように仕えるかを親が子供に教える際，最も効果的なのはどんな方法ですか。



定期的な聖書研究は家族にとって不可欠

同様に，神の王国を第一にし，物質的なものについて道理にかなった見方をしている親の姿を目にすれば，若い人たちも同じ精神態度を培うよう助けられるでしょう。—伝道の書 7:12。マタイ 6:31-33。

12 週ごとの家族の聖書研究は，霊的な価値規準を若い人に伝えるための際立った助けとなります。（詩編 119:33，34。箴言 4:20-23）そういう研究を定期的に行なうことは非常に大切です。（詩編 1:1-3）そのほかの事柄を予定するときは必ず家族研究を優先させ，その逆にはしないという了解が親子の間にあるべきでしょう。さらに，家族研究を効果的なものにするために，正しい態度も欠かせません。ある父親はこう語りました。「かぎとなるのは，司会者が，家族研究の時にくつろいではいても敬意のこもった雰囲気を作り出すことです。形式張ることは避けながらも，いい加減なものにはしないということです。正しく平衡の取れた考え方をするのは必ずしも容易ではないかもしれませんし，若い人たちの態度は何度も正す必要があります。一，二度うまくゆかなくても，あきらめないで

12，13 家族研究を成功させるためには，どんな点を銘記すべきですか。

子供に対する愛や感謝を表わしてください

次回に望みをつなぐことです」。この父親は，毎回の研究の前に祈るとき，研究に加わる全員が正しい見方を持てるよう具体的にエホバからの助けを求める，と述べました。—詩編 119:66。

13 家族研究を司会するのは信者である親の責任です。確かに，親の皆さんの中には，教えることがあまり得意でない方がおられるかもしれず，そういう方にとっては家族研究を興味深くする方法もつかみにくいかもしれません。それでも，十代のお子さんを「行ないと真実とをもって」愛しておられるなら，謙遜さと誠実さを示しながら，お子さんの霊的進歩を助けたいと願うことでしょう。（ヨハネ第一 3:18）子供たちは時に不平をこぼすかもしれませんが，親が子供たちの福祉に深い関心を抱いていることをきっと感じ取るでしょう。

14 霊的に重要な事柄を伝える機会は，家族研究のときだけに限られているわけではありません。親に対するエホバのご命令を覚えておられますか。エホバは，こう言われました。「あなた方は，これらわたしの言葉を自分の心と魂に置き，それをしるしとして手に結び，それをあなた方の目の間の額帯としなければならない。あなた方はまたそれを自分の子に教えて，家

14 霊的な事柄を十代の子供に伝える際，申命記 11章18，19節をどのように適用できますか。

で座るときも，道を歩くときも，寝るときも，起きるときもそれについて話さなければならない」。（申命記 11:18，19。申命記 6:6，7もご覧ください。）これは，親が絶えず子供に説教をしなくてはならないという意味ではありません。しかし，愛のある家族の頭（かしら）は，家族の霊的な物の見方を形造る機会にいつも目ざとくあるべきです。

懲らしめと敬意

15 懲らしめとは矯正を与える訓練であり，それには話し合いが含まれます。懲らしめには，罰を与えることよりもむしろ，矯正という意味合いがあります。もっとも，罰を与えることも関係するかもしれません。お子さんは小さいとき，懲らしめを必要としていました。しかし，十代になった今でもある種の懲らしめを必要としています。もしかしたら，今のほうがもっと必要かもしれません。賢明な十代の子供は，これが真実であることを知っています。

16 聖書には，「愚かな者はその父の懲らしめを軽べつする。しかし戒めに留意する者は明敏である」と述べられています。（箴言 15:5）この聖句からは多くのことが学べます。この聖句は懲らしめは与えられるものであることを示唆しています。戒めが与えられなければ，十代の子供は「戒めに留意する」ことはできません。エホバは，懲らしめを与える責任を親に，とりわけ父親に与えておられます。しかし，その懲らしめに聞き従う責任は十代の子供にあります。父親や母親の賢明な懲らしめに注意を払うなら，学べることは増え，間違いは少なくなります。（箴言 1:8）聖書は，「懲らしめをおろそかにする者は貧しさと不名誉に陥る。しかし，戒めを守る者は栄光を受ける者となる」と述べています。―箴言 13:18。

15, 16 （イ）懲らしめとは何ですか。（ロ）懲らしめを与える責任はだれにありますか。一方，懲らしめにきちんと注意を払う責任を持っているのはだれですか。

17 十代の子供を懲らしめる際，親は平衡を取る必要があります。厳格になりすぎて子供をいら立たせ，もしかすると子供の自信まで失わせることのないようにすべきでしょう。（コロサイ 3:21）とはいえ，親が自由放任に走りすぎ，年若い子供が大切な訓練を得損なってしまうというのも間違っています。そういう自由放任は悲惨な結果になりかねません。箴言 29章17節は，「あなたの子を打ち懲らせ。そうすれば，彼はあなたに休みをもたらし，あなたの魂に多くの喜びを与えるであろう」と述べています。しかし21節には，「自分の僕(しもべ)を若い時から甘やかしていると，後になって感謝の念のない者となる」と記されています。この節は僕のことを言っていますが，家庭内の若者にも同様に当てはまります。

18 実際のところ，適切な懲らしめが与えられるということは，親が子供を愛している証拠です。（ヘブライ 12:6, 11）親の立場にある皆さんは，首尾一貫した，道理にかなった懲らしめを与え続けることの難しさをご存じです。家庭の平和のためには，なかなか言うことを聞かない十代の子供のやりたいようにやらせたほうが簡単に思えるかもしれません。しかし長い目で見ると，この後者の道を選ぶ親は，家族が手に負えなくなってしまうという代償を払うことになります。—箴言 29:15。ガラテア 6:9。

仕事と遊び

19 昔の子供たちは大抵，家や畑の仕事を手伝うものとされていました。今の多くの十代の若者には，羽を伸ばせる余暇がふんだんにあります。商業界は，その余暇を埋めるための品を大

---

17 親はどのように平衡を取ることを目標にして懲らしめを与える必要がありますか。

18 懲らしめは何の証拠ですか。親は首尾一貫した懲らしめを与えるに際して，どんなことを避けますか。

19, 20 親は十代の子供のレクリエーションの問題をどんな賢明な方法で扱うことができますか。

量に提供しています。その点に，世は聖書の道徳規準をほとんど評価していないという事実を加味すれば，災いを招く公式が出来上がります。

20 ですから，思慮分別のある親は，レクリエーションに関して自分が最終決定を下す権利を放棄しません。しかし，十代の子供は成長していることを忘れないでください。十代の子供は年ごとに，もっと大人のように扱ってほしいと思うことでしょう。それで，十代の子供が成長するにつれ，親がレクリエーションの選択に関して ― そうした選択が霊的な円熟への進歩を反映する限り ― 許容範囲を広げるのは賢明なことです。時々，十代の子供は，音楽や友人などに関して賢明でない選択をするかもしれません。そういう時は，次からはもっと良い選択ができるよう，十代の子供と一緒に話し合うのが望ましいでしょう。

21 レクリエーションにはどれほどの時間を充てればよいでしょうか。幾つかの国の場合，十代の若者は絶えず娯楽を楽しむ権利があると信じ込まされています。ですから思春期の若者は，一つの“楽しみ”が終わるとまた次へ移行できるような予定を立てるかもしれません。家族，個人研究，霊的に円熟した人たちとの交わり，クリスチャンの集会，家事など，他の事柄のためにも時間を充てなければならない，という教訓を与えるのは，親の責任です。こうすることで，「生活上の……快楽」が神の言葉をふさいでしまわないようにしておくことができます。―ルカ 8:11-15。

22 ソロモン王はこう述べました。「わたしは，人の生きている間に歓(よろこ)び，良いことをする以上に彼らにとって良いものは何もないことを，また，人はみな，食べ，まさしく飲み，そのすべての骨折りによって良いことを見るべきであるのを知るよ

---

21 レクリエーションに費やす時間に関して分別を働かせることは，どのように十代の若者の身の守りとなりますか。

22 十代の若者の生活において，レクリエーションとどんな事柄とのバランスが取れていなければなりませんか。

うになった。それは神の賜物（たまもの）なのである」。（伝道の書 3:12, 13）歓ぶことが平衡の取れた生活の一部であるのは確かです。しかし，骨折りもその一部です。今日，多くの十代の若者は，一生懸命骨折って働くことから来る満足感や，問題に取り組んで，それを解決したときにもたらされる自尊心を学び取っていません。将来自活してゆくのに必要な技術や職を身に着ける機会を与えられない若者もいます。親にとってこれは大きな課題です。お子さんがそういう機会を確実に得られるようになさいますか。十代のお子さんに，一生懸命働くことを高く評価したり，さらには楽しんだりすることを上手に教えることができるなら，お子さんは健全な見方を培い，一生涯にわたってその恩恵に浴することになるでしょう。

十代の若者から大人へ

23 十代のお子さんとの間で問題が起きたとしても，『愛は決して絶えない』という聖句の真実さは変わりません。（コリント第一 13:8）あなたはお子さんを愛しておられるに違いありません。その愛を表わすことを決してやめてはなりません。次のように自問してみてください。『子供たちが問題をうまく処理したり，障害を克服したりしたとき，自分は子供を一人一人褒めるだろうか。子供に愛や感謝を表わす機会を逃さずにとらえているだろうか』。誤解が生じることもあるかもしれませんが，親の愛を確信するなら，十代の子供がその愛にこたえる可能性は高まります。

24 もちろん，子供は成長して大人になるにつれ，最終的には自分自身で非常に重大な決定をするようになります。親がその決定をよく思わない場合もあるでしょう。子供がエホバ神に仕えるのをやめるという決定をした場合はどうでしょうか。

---

23 親は十代の子供をどのように励ますことができますか。
24 子供を育てる上で，聖書のどんな原則は一般に真実ですか。しかし，どんなことを銘記しておくべきですか。

これは起こり得ることです。エホバの霊の子たちの中にさえ，エホバの助言をはねつけ，反逆した者がいました。（創世記6:2。ユダ 6）子供はコンピューターではありません。わたしたちの望みどおりに行動するようプログラムできるわけではないのです。子供たちは自由意志を持った被造物であり，自分たちの下す決定に関してエホバのみ前で責任を負っています。それでも一般に，箴言 22章6節は真実です。「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ。彼は年老いても，それから離れないであろう」。

25 ですから，お子さんに愛情をたっぷり注いでください。子供を育てる際には最善を尽くして聖書の原則に従いましょう。敬虔な振る舞いのりっぱな模範を示してください。こうしてあなたは，子供が責任感のある，神を恐れる大人に成長するための最善の機会を与えることになります。親であることの特権に対してエホバに感謝を示すのに，これほど優れた方法はありません。

25 親であることの特権に対してエホバに感謝を示すのに，最も優れた方法とは何ですか。

ここに挙げた聖書の原則は……
親が十代の子供を育てるのにどのように役立ちますか

対話が必要。—箴言 15:22。

神の言葉を定期的に考慮しなければならない。
—詩編 1:1, 2。

明敏な人は懲らしめに聞き従う。
—箴言 15:5。

仕事にも遊びにもそれぞれ占めるべき場所がある。
—伝道の書 3:12, 13。

第 7 章

家の中に反抗者がいますか

イエスは亡くなる数日前，ユダヤ人の宗教指導者のグループに次のような考えさせる質問をなさいました。「あなた方はどう考えますか。ある人に二人の子供がいました。彼は一番目の者のところに行って，『子供よ，今日，ぶどう園に行って働きなさい』と言いました。この者は答えて，『行きます，父上』と言いましたが，出かけて行きませんでした。二番目の者に近づいて，彼は同じことを言いました。この者は答え

1, 2 （イ）ユダヤ人の宗教指導者たちの不忠実さを際立たせるため，イエスはどんな例えを話されましたか。（ロ）イエスの例えから，思春期の子供についてどんなことを学べますか。

て，『行きません』と言いました。後ほど彼は後悔して出かけて行きました。この二人のうち，どちらが父の意志を行ないましたか」。ユダヤ人の指導者たちは，「後の者です」と答えました。―マタイ 21:28-31。

2 イエスはここで，ユダヤ人の指導者たちの不忠実さを際立たせておられました。彼らは一番目の息子のようです。神のご意志を行なうと約束しておきながら，その約束を守らなかったのです。しかし，親の立場にある多くの人は，イエスが家庭生活をよく理解した上でこの例えを話されたことに気づきます。イエスがたいへん的確に示しておられるように，若い人の考えていることはなかなか分からなかったり，行動の予測もつきにくかったりする場合が多いものです。若い人は思春期には数々の問題を起こすとしても，そうした時を経て，責任感のある，立派な大人に成長してゆきます。十代の反抗という問題を検討するに当たり，このことを念頭に置いておきましょう。

反抗者とはどんな人か

3 時々，あからさまに親に反抗する十代の子供について耳にすることがおありでしょう。もしかしたら，手に負えそうもない十代の子供を抱えている家庭を個人的にご存じかもしれません。しかし，子供が本当に反抗者かどうかを見極めるのは必ずしも容易ではありません。さらに，ある子供は反抗するのに，別の子は，同じ家庭で育ったとしても反抗しないのはなぜかを理解するのが難しい場合もあります。自分の子の一人があからさまな反抗者になりそうな気がするとき，親はどうすべきでしょうか。この質問に答えるためには，まず反抗者とはどういう人かについて取り上げなければなりません。

4 簡単に言うと，反抗者とは，故意に，また一貫して自分よ

---

3 自分の子は反抗者だと親が性急に決めつけるべきでないのはなぜですか。4-6 （イ）反抗者とはどんな人のことですか。（ロ）十代の子供が時々不従順を示すとき，親はどんなことを思いに留めておくべきですか。

り上位の権威に逆らったり，抵抗して権威を侮ったりする人のことです。もちろん，『愚かさが子供の心の中にあります』。(箴言 22:15) ですから子供はだれでも，ある時期，親の権威や他の権威に抵抗するものです。身体的にも感情的にも成長を遂げる，いわゆる思春期には，特にそういう傾向が見られます。どんな人でも生活に変化が生じればストレスを感じますが，思春期は変化の連続です。十代の息子さんや娘さんは，子供の段階を卒業して大人への道に足を踏み入れようとしているところです。そのため，思春期に折り合いの悪くなる親子もいます。多くの場合，親は本能的にその思春期の変化にブレーキをかけようとし，十代の子供たちはそのスピードを上げたいと考えます。

5 十代の反抗者は，親の定める価値規準に背を向けます。しかし，何回か不従順な行ないをしたからといって，反抗者になるわけではないことを忘れないでください。さらに，霊的な事柄に関して言えば，最初はほとんど，あるいは全く聖書の真理に関心を示さない子供もいるかもしれません。しかし，その子たちが反抗者というわけではないでしょう。親として，性急にお子さんに反抗者のレッテルを貼ってはなりません。

6 親の権威に反抗するのは，思春期を迎えた若者たちに共通した特色なのでしょうか。決してそうではありません。それどころか，証拠の示すところによれば，思春期にかたくなに反抗するのは，十代の若者のうちのごく少数にすぎないようです。それでも，強情に終始反抗する子供についてはどうですか。何がそうした反抗をかき立てるのでしょうか。

反抗の原因

7 反抗のおもな原因はサタンの影響を受けた世の環境です。

---

7 サタンの作り出している環境は，どのように子供の反抗を促すことがありますか。

『全世界は邪悪な者の配下にあります』。（ヨハネ第一 5:19）クリスチャンは，サタンの支配する世が作り上げてきた，有害な文化と闘わなければなりません。（ヨハネ 17:15）今日，その文化の大部分は，以前よりも下品で危険になり，以前よりも悪影響に満ちています。（テモテ第二 3:1-5，13）親が教育し，警告を与え，守ってあげないなら，年若い子供は容易に「不従順の子らのうちにいま働いている霊」に打ち負かされてしまうおそれがあります。（エフェソス 2:2）このことに関係しているのは仲間の圧力です。聖書は，「愚鈍な者たちと交渉を持つ者は苦しい目に遭う」と述べています。（箴言 13:20）同様に，この世の霊に染まっている人たちと付き合っている人は，恐らくその霊の影響を受けることでしょう。若い人たちに，神が定められた原則に対する従順が最善の生き方の土台であることを認識させるためには，絶えず助けが必要です。—イザヤ 48:17，18。

8 反抗の別の原因は，家庭環境かもしれません。例えば，親がアルコール依存症だったり，麻薬常用者だったり，配偶者に暴力を振るったりしているなら，十代の子供の人生観はゆがんでしまうことがあります。比較的平穏な家庭でも，子供が，親は自分に全く関心を示してくれないと感じると，いきなり反抗の始まることがあります。とはいえ，十代の反抗を引き起こすのは，必ずしも外部からの影響だけではありません。中には，神が定められた原則を当てはめ，周囲の世から十分に保護してくれる親がいながら，親の定める価値規準に背を向ける子供もいます。なぜでしょうか。恐らく，わたしたちの問題を作り出している別の原因のためでしょう。それは，人間の不完全さです。パウロは，「一人の人[アダム]を通して罪が世に入り，罪を通して死が入り，こうして死が，すべての人が罪をおかしたがゆえにすべての人に広がった」と述べました。（ローマ 5:

8 子供の反抗を引き起こす要因としては，どんなことが考えられますか。

12）アダムは利己的な反逆者で，自分の子孫すべてに劣悪な遺産を残しました。一部の若者は自分たちの先祖がしたように反抗の道を選んでいるにすぎないのです。

自由放任のエリと制限を加えすぎたレハベアム

9 子育てに関する親の側の平衡の欠けた見方も，十代の反抗を引き起こしてきた要素です。（コロサイ 3:21）子供に厳しい制限を加えたり懲らしめたりする真面目な親もいれば，自由放任主義で，経験の浅い思春期の子供を保護するはずの指針を与えない親もいます。この両極端の間で平衡を取るのは必ずしも容易ではありません。また，子供の必要とする事柄はそれぞれ異なります。ある子供にはほかの子供より余計に気を配る必要があるかもしれません。それでも，制限を加えること，自由放任いずれの場合にも，極端に走ることがいかに危険かということは，聖書中の二つの例を見るとよく分かります。

10 古代イスラエルの大祭司エリは，父親の立場にありました。40年にわたって仕えたエリは，神の律法に精通していたに違いありません。恐らくエリは，祭司としての通常の務めをたいへん忠実に果たしていたことでしょう。息子のホフニとピネハスに神の律法を教える面でも完璧だったかもしれません。しかし，エリは息子たちに甘すぎました。ホフニとピネハスは，現役の祭司でしたが，自分の食欲と不道徳な欲情を満たすことにしか関心のない「どうしようもない者たち」でした。それにもかかわらずエリは，息子たちが聖なる場所で恥さらしな行ないをしたときも，息子たちにその務めを辞めさせる勇気はなく，ただ弱々しく叱責しただけでした。エリはその自由放任主義により，神よりも息子たちを尊びました。その結果，息

9 子育てにおけるどんな両極端が，子供の反抗を引き起こすかもしれませんか。

10 恐らく忠実な大祭司だったと思われるエリが，親としては失格だったのはなぜですか。

子たちはエホバの清い崇拝に反逆し，エリの家全体が災いを被りました。—サムエル第一 2:12-17, 22-25, 29; 3:13, 14; 4:11-22。

11 こうしたことが起きたとき，エリの子供たちはすでに大人になっていました。しかしこの歴史上の出来事は，懲らしめを差し控えることの危険性を強力に示しています。（箴言 29:21と比較してください。）ある親たちは，愛情と自由放任を取り違え，明確で首尾一貫した，道理にかなった規則を設けてそれを実際に当てはめることをしません。神の定められた原則が犯されても，愛ある懲らしめを与えることを怠るのです。そういう自由放任が原因で，子供たちは親の権威にも，あるいは他のどんな権威にも注意を払わなくなってしまうかもしれません。—伝道の書 8:11と比較してください。

12 権威を行使する際のもう一方の極端な例は，レハベアムです。この人はイスラエル統一王国の最後の王でしたが，良い王ではありませんでした。レハベアムが相続した土地に住む人々は，彼の父ソロモンから課された重荷のために不満を抱いていました。レハベアムは理解を示しましたか。いいえ，示しませんでした。代表者が圧制的な施策を幾らか取り除いてくれるよう願い出たとき，レハベアムは年長の助言者たちの賢明な進言に注意を払わず，民のくびきをさらに重くするよう命じました。その尊大な態度は北の十部族の反逆を引き起こし，王国は二つに分裂しました。—列王第一 12:1-21。歴代第二 10:19。

13 親の立場にある人々は，レハベアムに関する聖書の記述から幾つかの大切な教訓を学べます。親は，祈りのうちに『エホバを尋ね求め』，子育ての方法を聖書の原則に照らして吟味す

---

11 親はエリの間違った例からどんなことを学べますか。
12 権威を行使する上で，レハベアムはどんな間違いを犯しましたか。
13 どうすれば親はレハベアムと同じ間違いを犯さずにすみますか。

打ち明けてください

思春期の子供たちは，独り立ちが進むにしたがって，疑念や不安を抱くようになります。自分で世間を渡っていけるかどうか少々おぼつかなく思うかもしれません。まるで，つるつるすべる道の上を歩こうとしているかのようです。若い皆さん，自分の感じている心配や不安をご両親に打ち明けてください。（箴言 23:22）あるいは，親は自分を束縛しすぎると感じているなら，もっと自由を与えてもらう必要があることについてご両親と話し合ってください。あなたがくつろいだ気分でいて，ご両親も忙しくないときに話し合う計画を立てましょう。（箴言 15:23）時間を割いて，お互いの話によく耳を傾けてください。

る必要があります。（詩編 105:4）伝道の書 7章7節は，「単なる虐げが賢い者に気違いじみた行動を取らせることがあ（る）」と述べています。考え抜かれた上での制限は，思春期の子供たちを危害から守る一方，成長の余地も与えます。しかし，子供が適度の自立心や自信を育(はぐく)むのを阻まれるほど，厳格で規則ずくめの環境の中で暮らすのは望ましくありません。親が，適度な自由と，はっきりと分かるしっかりした制限との間の平衡を取るよう懸命に努力するなら，十代の子供のほとんどは，それほど反抗したいとは思わなくなるでしょう。

反抗は，基本的な必要を満たせば未然に防げる

14 親は，年若い子供が幼児期から大人へと身体的に成長するのを見て喜びを感じる反面，自分に頼っていた子供が思春期にしかるべき自立心を示し始めると，戸惑いを覚えるかもしれません。この過渡期に，十代のお子さんが多少強情になり，協力的でなくなることがあっても驚くには及びません。親の立場

14，15 親は子供の成長をどう見るべきですか。

十代の問題を克服するよう親が子供を助けるなら，恐らく子供はさらにしっかりとした大人に成長する

にあるクリスチャンの目標は，円熟してしっかりとした，責任感のあるクリスチャンを育てることであるということを忘れないでください。一コリント第一 13:11；エフェソス 4:13，14と比較してください。

15 難しいことかもしれませんが，思春期の子供がもっと自分のしたいようにさせてほしいと言うとき，それをいつもはねつけてしまうような習慣は断ち切らなければなりません。子供は一人の人間として健全な成長を遂げる必要があります。実際，ある十代の若者たちは比較的若くして，非常に大人びた見方をするようになります。例えば，聖書は年若いヨシヤ王について，「彼はまだ[15歳ぐらいの]少年であったが……ダビデの神を求め始めた」と述べています。この傑出した十代の若者が責任感のある人であったことは明らかです。一歴代第二 34:1-3。

16 しかし，自由には責任が伴います。ですから，大人になりかけているお子さんには，自分が下した決定や自分の行動の結果を幾らか体験させましょう。「何であれ，人は自分のまいているもの，それをまた刈り取ることになるのです」という原則は，大人だけでなく十代の若者にも当てはまるのです。（ガラテア 6:7）子供たちは永遠に親の保護のもとにいられるわけではありません。しかし，絶対に容認できないことをお子さんがしたがる場合はどうですか。責任感のある親なら，当然「ノー」と言うべきです。また，その理由を説明するにしても，決してそのノーを，イエス，と言い換えてはなりません。（マタイ 5:37と比較してください。）とはいえ，穏やかに，分別を働かせて「ノー」と言うように心がけてください。「温和な答えは激しい怒りを遠ざけ（る）」からです。―箴言 15:1。

17 若い人は必ずしもすぐに制限や規則に同意するわけではありません。それでも，一貫した懲らしめが与えられるという安心感を抱いていることが必要です。その時々の親の気分でしょっちゅう規則が変わるとすれば，子供はいらいらします。それに加えて，臆病，内気，自信のなさに対処するための励ましや助けが必要に応じて与えられれば，十代の子供はさらにしっかりとした大人に成長することでしょう。十代の子供はまた，親に信頼されるようになると，それをうれしく思うものです。―イザヤ 35:3，4；ルカ 16:10；19:17と比較してください。

18 家庭内が平和で，安定しており，愛に満ちていると，子供たちは一般にはつらつとしてきます。そのことを知っていれば，親は気持ちが楽になります。（エフェソス 4:31，32。ヤコブ 3:17，18）もちろん，アルコール依存症や暴力など，有害な影響力の強い家庭にいても，そういうひどい家庭環境をものと

---

16 子供たちは，より大きな責任を与えられるとき，どんなことを認めるべきですか。
17 親は十代の子供のどんな必要を満たすべきですか。
18 十代の若者に関してどんな励みとなる事実がありますか。

もせず，立派な大人に成長した若者も少なくありません。ですから，十代のお子さんが安心感を抱き，自分は必ず愛され，注意を払ってもらえると思えるような家庭を作るなら，そうした援助が聖書の原則に調和した，道理にかなった制限や懲らしめを伴う場合でさえ，お子さんはあなたが誇りに思えるような大人に成長するに違いありません。一箴言 27:11と比較してください。

子供が難しい事態に陥ったとき

19 きちんと親の役目を果たすかどうかで，確かに結果は大きく異なってきます。箴言 22章6節は，「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ。彼は年老いても，それから離れないであろう」と述べています。それでも，良い親がいながら重大な問題に陥ってしまう子供についてはどうですか。そんなことが実際にあるのでしょうか。確かにあります。上記の格言は，子供には親に「聴き従（い）」，親に従う責任があることを強調した他の聖句に照らして理解する必要があります。（箴言 1:8）和やかな家庭を築くには，親子双方が協力して聖書の原則を当てはめなければなりません。親と子が一緒に努力しないなら，難しい問題が生じることになります。

20 十代の子供が過ちを犯し，面倒な問題を起こした場合，親はどうすべきでしょうか。そういう時こそ，若い人には助けが必要です。親が，経験の浅い若者を相手にしていることを忘れないようにすれば，感情をむき出しにしたくなる気持ちを抑えやすくなります。パウロは会衆内の円熟した人たちに，「たとえ人がそれと知らずに何か誤った歩みをする場合でも，霊的に資格のあるあなた方は，温和な霊をもってそのような人に再調

---

19 親は少年をその行くべき道にしたがって育て上げるべきですが，子供にもどんな責任がありますか。

20 思慮を欠いて子供が過ちを犯すとき，親はどんな賢明な取り組み方ができますか。

整を施すことに努め……なさい」と助言しました。（ガラテア 6:1）親も，思慮を欠いて間違いを犯す若い人を扱うとき，これと同じ方法に従うことができます。親は，その子の行ないがなぜ間違っていたのか，間違いを繰り返さないためにはどうしたらよいかをはっきりと説明しながらも，悪いのはその子本人ではなく，間違った行為であることを明らかにするべきです。—ユダ 22，23と比較してください。

21 若い人が非常に重大な非行に走った場合はどうですか。そういう場合，子供には特別の援助や巧みな指導が必要です。会衆の成員が重大な罪を犯したとき，その人は悔い改め，援助を求めて長老たちに近づくよう勧められています。（ヤコブ 5:14-16）その人がひとたび悔い改めたなら，長老たちはその人の霊的な回復を目指して当人と一緒に努力します。家庭内では，過ちを犯した十代の子供を助ける責任は親にあります。もっとも，親はそのことを長老たちと話し合う必要があるかもしれません。どんなものであれ，親は自分の子供のうちのだれかが犯したゆゆしい罪を，決して長老団に隠そうとするべきではありません。

22 自分の子供が重大な問題にかかわっているというのは，大変つらいものです。親は取り乱して，怒りの気持ちから，片意地な子供を脅したくなるかもしれませんが，それは子供を憤慨させるだけでしょう。その子の将来は，その重大な時期にどんな扱いを受けるかで決まってしまうかもしれません。そのことを心に留めてください。また，エホバは，正道からそれたご自分の民が悔い改めさえするなら，いつでも許そうとしておられたことも忘れないようにしましょう。エホバの愛ある言葉を聴いてください。「『さあ，来るがよい。わたした

---

21 子供が重大な罪を犯したなら，親はクリスチャン会衆の例に倣って，どう対応すべきですか。

22 自分の子供が重大な間違いを犯したなら，親はエホバに倣ってどんな態度を保つよう心がけますか。

ちの間で事を正そう』と，エホバは言われる。『たとえあなた方の罪が緋のようであっても，それはまさに雪のように白くされ，たとえ紅の布のように赤くても，まさに羊毛のようになる』」。（イザヤ 1:18）親にとって本当にすばらしい模範です。

23 ですから，その片意地な子供が歩みを変えるよう励ますことに努めてください。経験を積んだ親や会衆の長老たちに健全なアドバイスを求めることです。（箴言 11:14）衝動的に行動したり，子供があなたのもとへ戻って来にくくなるようなことを言ったりしたりしないよう努力してください。憤りやつらい気持ちをぶつけるのはやめましょう。（コロサイ 3:8）すぐにあきらめないでください。（コリント第一 13:4, 7）悪を憎むとはいえ，子供につらく当たったり，敵意を抱いたりはしないでください。一番重要なこととして，親は立派な模範を示し，神に対する子供たちの信仰が弱らないよう懸命に努力すべきです。

決意の固い反抗者を扱う

24 時には，若者が固く決意した上で反抗し，キリスト教の価値規準を完全にはねつけたことが明らかになる場合もあります。その場合は，注意を向ける方向を変え，ほかの子供たちの家庭生活を守り，立て直すことに集中すべきです。全精力を反抗者に注ぎ込み，ほかの子供たちをないがしろにすることのないよう注意してください。問題を家族のほかの者たちに内緒にしようとするのではなく，妥当な線まで，また元気づけるような方法でその問題について一緒に話し合ってください。—箴言 20:18と比較してください。

---

23 親は子供たちの一人が重大な罪を犯したとき，どのように行動すべきですか。どんなことは避けるべきですか。

24 クリスチャンの家庭にも時々どんな痛ましい状況が生じますか。親はそれにどう対応すべきですか。

25 使徒ヨハネは，会衆内で矯正不能な反抗者となる人について，「[その人を]決して家に迎え入れてはなりませんし，あいさつのことばをかけてもなりません」と言いました。（ヨハネ第二 10）親は，成年に達した自分の子供が徹底して反抗的になる場合，これと同様の立場を取る必要があると考えるかもしれません。そうするのはつらくて胸の痛むことかもしれませんが，家族のほかの者たちを守るためには時としてどうしても必要です。親は家族を守り，家族に絶えず気を配る必要があります。ですから，行動に関する明確で道理にかなった制限はなくさないでください。ほかの子供たちと話し合ってください。その子たちが学校や会衆内でどうしているかに関心を払いましょう。また，ほかの子供たちには，自分はその反抗的な子供の行動を是認していないものの，その子を憎んではいないことを知らせてください。子供をとがめるというよりも，悪行をとがめるのです。ヤコブは，二人の息子がその残虐な行ないのために家族をのけ者にならせたとき，息子たち自身ではなく，二人の激しい怒りをのろいました。—創世記 34:1-31；49:5-7。

26 親の皆さんは自分の家族に生じた事柄に対して責任を感じるかもしれません。しかし，エホバの助言に従い，できるだけのことをして祈りのうちに手を尽くしたなら，過度に自分を責める必要はありません。だれも完全な親にはなれないこと，それでも自分は良い親になろうと誠実に努力したことを考えれば慰められます。（使徒 20:26と比較してください。）家庭内にあからさまな反抗者がいれば胸は痛みますが，万一そうした状況になったとしても，神は理解してくださり，ご自分の献

---

25 （イ）子供が決意の固い反抗者になる場合，親はクリスチャン会衆の例に倣って，どのように事を進めなければなりませんか。（ロ）子供の一人が反抗したなら，親はどんなことを心に留めておくべきですか。

26 子供の一人が反抗するとしても，誠実な親はどんなことから慰めを得られますか。

身的な僕を決して見捨てたりはなさらないことを確信してください。（詩編 27:10）ですから，ほかの子供たちのために，家庭を安全で霊的な安らぎの場にしておくよう決意してください。

27 さらに，希望を捨てるべきではありません。正しいしつけをするために払った以前の努力が，やがては脇道にそれた子供の心を動かし，健全な考え方を取り戻させるかもしれません。（伝道の書 11:6）たくさんのクリスチャン家族があなたと同じ経験をしてきました。中には，あたかも放とう息子に関するイエスのたとえ話に出てくる父親のように，片意地な子供が戻って来るのを見ることができた家族もいます。（ルカ 15:11-32）あなたにも同じことが起きるかもしれません。

27 反抗的な子供を持つ親は，放とう息子のたとえ話を思いに留め，どんな希望を持つことができますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
親が家庭内でのかたくなな反抗を未然に防ぐのに
どのように役立ちますか

助けが与えられないなら，子供は
世の霊の影響を受けて堕落してしまうおそれがある。
―箴言 13:20。エフェソス 2:2。

親は，制限を加えすぎることと
自由放任との間の平衡を取る必要がある。
―伝道の書 7:7; 8:11。

間違った行ないにはしかるべき処置を取るべきだが，
温和な霊が必要である。―ガラテア 6:1。

重大な罪を犯した人も，悔い改め，援助を受け入れるなら
「いやされる」。―ヤコブ 5:14-16。

第 8 章

ご家族を破壊的な影響から守ってください

幼い息子を学校へ送り出そうとすると，外は土砂降りの雨です。そんな時，どうしますか。雨具なしでそのまま飛び出して行かせますか。それとも，身動きできないほど何枚もレインコートを着せますか。もちろん，どちらでもないでしょう。子供が濡れないようにするのに必要なものだけを与えるはずです。

2 同様に親は，さまざまなところから，例えば，娯楽産業，マスメディア，仲間，時には学校からも雨のように降り懸かってくる破壊的な影響から子供たちを守るために平衡の取れた方法を見いださなければなりません。子供をほとんど，あるいは全く保護していない親もいれば，外部からの影響はほぼすべてが有害と考えて，子供に息の詰まりそうな思いをさせるほど制限を加える親もいます。平衡を取ることはできるのでしょうか。

3 確かにできます。極端に走るなら効果を減じ，災いを招くこともあります。（伝道の書 7:16, 17）では，クリスチャンの親はどうすれば，正しい平衡を保ちながら子供を守れるでしょうか。三つの分野について考えてみましょう。それは，教育，交わり，レクリエーションです。

お子さんを教えるのはだれか

4 親の立場にあるクリスチャンは教育を高く評価しています。

1-3 （イ）子供を脅かす破壊的な影響はどんなところからもたらされますか。（ロ）親はどのように平衡を保ちながら子供を守る必要がありますか。
4 親の立場にあるクリスチャンは教育をどう見るべきですか。

子供は学校教育のおかげで読み書きを学んだり，人と意思を通わせたりするだけでなく，問題を解決することができるようになります。親はそのことを認めています。学校では物事を学ぶ方法も教わるはずです。子供が学校で技能を身につけておけば，今の世の荒波にのみこまれることなく，うまくやってゆけるようになるでしょう。さらに，良い教育のおかげで，より高度な仕事が行なえるようになる場合もあります。一箴言 22:29。

5 しかしまた，学校に行けば否(いや)が応でもほかの子供たちと一緒にならなければなりません。しかも，そうした子供たちの多くはゆがんだ考え方に染まっています。例えば，性や道徳に関する彼らの考え方について考慮してみてください。ナイジェリアの中学校でのこと，相手かまわず性関係を持つある女生徒が，仲間の生徒たちに性のことでよくアドバイスしていました。彼女の考えはポルノ文書からかき集めたくだらないものばかりでしたが，仲間たちは夢中で耳を傾けました。中には，そのアドバイスを試

5, 6　子供たちはどのように学校で性に関するゆがんだ情報にさらされるかもしれませんか。

してみた女生徒もいました。その結果，一人の少女が未婚のまま妊娠し，自分で中絶を試み，死んでしまいました。

6 残念なことですが，学校で取り入れる性に関する誤った情報の出所が，子供たちではなく，教師である場合もあります。学校が道徳上の規準や責任に関しては何も触れずに性のことを子供たちに教えるため，そのことで心を悩ませる親は少なくありません。12歳の娘を持つある母親は，「私たちの住んでいる所は，とても宗教的で保守的な地域です。それでも，まさにその地元の中学で，生徒たちにコンドームが配られているのです」と語りました。この母親とその夫は，娘が同じ年の男子たちから性交渉の誘いを受けていることを知って心配になりました。親はそうした悪影響からどのように子供を守れるでしょうか。

7 性に関することは子供に一切見聞きさせないのが最善でしょうか。いいえ，そうではありません。性のことはご自分で子供たちに教えるほうがよいのです。（箴言 5:1）確かに，ヨーロッパや北アメリカのある地方では，この話題を避けて通る親が少なくありません。同様にアフリカのある国々でも，親が子供と性について話し合うことはめったにありません。「アフリカの文化の中では，そうする習慣がないのです」と，シエラレオネのある父親は述べています。中には，子供に性について教えると，子供に不道徳を犯すヒントを与えることになると考える親もいるほどです。しかし，神はどんな見方をしておられるでしょうか。

性に対する神の見方

8 聖書は，話の流れや状況がふさわしければ，性について話し合うのは何も恥ずかしいことではないことを明らかにして

---

7 性に関する誤った情報に対抗するのに最善と思われるのはどんな方法ですか。

8，9 聖書には性に関するどんな優れた情報が収められていますか。

います。イスラエルでは，「幼い者」をも含む神の民が，モーセの律法の朗読を聴くために集まり合うよう命じられました。（申命記 31:10-12。ヨシュア 8:35）律法には，月経，射精，淫行，姦淫，同性愛，近親相姦，獣姦など，性に関する数々の事柄が率直に述べられています。（レビ記 15:16, 19; 18:6, 22, 23。申命記 22:22）親はそういうことが朗読された後，ものを知りたがる子供たちにいろいろ説明したに違いありません。

9 箴言の書の5章，6章，7章にある幾つかの聖句は，性の不道徳がいかに危険かを示す親の愛ある助言です。これらの節は，不道徳が時として魅力的に思えることを示しています。（箴言 5:3; 6:24, 25; 7:14-21）しかし同時に，そのような行為が間違っていて，悲惨な結果をもたらすことを教え，若い人が不道徳な歩みを避けるのに役立つ導きを与えています。（箴言 5:1-14, 21-23; 6:27-35; 7:22-27）さらには，不道徳な行為と，結婚の枠内というしかるべき場で性的な喜びがもたらす満足感との違いも浮き彫りにされています。（箴言 5:15-20）親が従うべき，本当にすばらしい教え方の手本です。

10 そういう教えは子供たちが不道徳を犯す原因になるのでしょうか。そのようなことはありません。それどころか，「義なる者たちは知識によって助け出される」というのが聖書の教えです。（箴言 11:9）お子さんをこの世の影響から助け出したいと思われませんか。ある父親はこう語りました。「私たちは，子供たちがごく幼いときから，性に関しては徹底して率直であるよう心がけてきました。そうすると，子供はほかの子が性について話しているのを聞いても，好奇心を持ちません。大きな謎はないのです」。

11 これまでの章の中で指摘されていたように，性教育は早く

---

10 性に関する神からの知識を授けても，それが原因で子供たちが不道徳を犯すことはありません。なぜそう言えますか。

11 生活上の私的な事柄は，どのようにだんだんと子供に教えてゆくことができますか。

から始めるべきです。幼い子供に体の各部の名前を教えるとき，何となく恥ずべきものでもあるかのように，陰部を飛ばしたりしないでください。子供たちにそれらの器官の正しい名称を教えましょう。時がたつにつれて，プライバシーや境界線に関して教えることがどうしても必要になってきます。なるべく両方の親が，これらの器官は特別な部分で，普通はほかの人が触れたり，ほかの人に見せたりするべきものではないこと，さらに，卑猥な感じでこの器官を話題にすることがあってはならないことを子供たちに教えるとよいでしょう。子供の成長に伴い，男性と女性が一緒になるとどうして子供ができるのかを知らせてあげるようにします。子供たちの体が思春期に入るころには，子供はこれから予想される変化についてよく通じていなければなりません。この本の5章で検討したように，そうした教育は性的な虐待に遭わないよう子供を守る助けにもなります。一箴言 2:10-14。

親の宿題

12 親はそのほかにも，学校で教えられる可能性のある間違った考え，つまり進化論，国家主義，絶対的な真理は存在しないという思想など，世の哲学に対抗する心構えができていなければなりません。（コリント第一 3:19。創世記 1:27；レビ記 26:1；ヨハネ 4:24；17:17と比較してください。）誠実な学校関係者の中には，高い教育を過度に重視する人も少なくありません。補足的な教育を受けるかどうかは個人の決定にまかされているとはいえ，一部の教師たちは，補足的な教育は人間として成功するための唯一の手段だと考えています。*一詩編 146:3-6。

* 補足的な教育に関する論考については，ものみの塔聖書冊子協会発行の「エホバの証人と教育」と題するブロシュアーの，4-7ページをご覧ください。

12 学校ではしばしばどんなゆがんだ考えが教えられていますか。

13 親が間違った教えやゆがんだ教えに対抗するためには，子供がどんなことを教えられているのか知っておかなくてはなりません。ですから，親の皆さんにも宿題があることを忘れないようにしましょう。お子さんの学校の勉強に誠実な関心を示してください。子供が学校から帰って来たら，一緒に話し合いましょう。どんな勉強をしているのか，一番好きな科目は何か，どんなことが一番大変だと思うか，といったことを尋ねます。宿題，ノート，テストの答案に目を通してください。先生と知り合うように努めましょう。先生の仕事に感謝していることや，できることは何でもして役に立ちたいと思っていることを先生方に知らせてください。

お子さんの友達

14「いったいどこでそんなことを教わってきたの？」 全く自分の子供とは思えないようなことを言ったりしたりする子にショックを受けて，どれほど多くの親がこの言葉を口にしたことでしょう。そして，その答えには大抵，学校や近所の新しい友達の名前が出てくるのです。そうです，年齢にかかわりなく，わたしたちは友人から大きな影響を受けます。使徒パウロは，「惑わされてはなりません。悪い交わりは有益な習慣を損なうのです」と警告しました。（コリント第一 15:33。箴言 13:20）特に若者は，仲間の圧力に左右されやすいものです。とかく自信が持てず，仲間に喜ばれたい，良い印象を与えたいという気持ちを抑えきれなくなることもあるかもしれません。ですから，若者が良い友達を選ぶことは非常に大切なのです。

15 親ならだれでも知っているとおり，子供はいつも良い選択をするとは限りませんから，何らかの導きが必要です。子供に

---

13 学校に通う子供をどのように間違った考えから守ることができますか。
14 神を敬う子供にとって良い友達を選ぶことが非常に大切なのはなぜですか。
15 友達を選ぶことに関して，親は子供にどんな導きを与えることができますか。

代わって友達を選ぶというのではありません。むしろ，子供が成長するにつれ，子供に識別力を身につけさせ，友達のどんな特質を高く評価すべきかが分かるよう助けてください。一番重要な特質は，エホバと，エホバの目に正しい事柄を行なうことに対する愛です。（マルコ 12:28-30）正直さ，親切，寛大さ，勤勉さなどを備えた人を愛し，敬うよう子供たちを教えてください。家族研究の際，聖書中の人物が持つそういう特質に気づかせ，その同じ特性を会衆内の他の人の内に見いだすよう助けてください。ご自分が友人を選ぶときもそれと同じ規準にしたがうことで，手本を示しましょう。

16 お子さんにはどんな友達がいるかご存じですか。友達を家に連れて来てもらうのはどうですか。そうすれば，子供の友達と知り合いになれます。ほかの子供たちはその友達についてどう思っているのか，お子さんに尋ねてみてもよいでしょう。その友達は誠実な人柄で知られていますか。それとも，裏表のある生活をしていることで知られていますか。もし後者なら，そういう交友がなぜ害になるかを筋道を立てて考えるようお子さんを助けてください。（詩編 26:4，5，9-12）お子さんの振る舞い，服装，態度，話し方が望ましくないほうへ変わったと思ったら，友達のことで話をする必要があるでしょう。一緒にいる友達から悪影響を受けているのかもしれません。—創世記 34:1，2と比較してください。

17 とはいえ，悪い仲間を避けるよう子供に教えるだけでは不十分です。良い仲間が見つかるように手助けしましょう。ある父親はこう語っています。「必ず，代わりになるものを探しました。学校が息子をアメリカンフットボールのチームに欲しいと言ったとき，妻と私は息子と一緒に腰を下ろし，これから付き合うことになる仲間たちのことを考えて，それがなぜ

---

16 親は子供の友達の選択をどのように見守ることができますか。

17，18 悪い仲間に用心するよう警告することに加え，親はどんな実際的な助けを与えることができますか。

その子は何かを得損なっているとは思わなかった

子供を持つクリスチャンのポールと妻のルアンは，時々自宅での交わりを計画します。交わりは必ず監督の行き届いたものにし，制御できる規模にとどめておきます。二人には，それが子供たちのプラスになっていると考えるもっともな理由があります。

ルアンはこう語っています。「6歳になる息子エリックの級友のお母さんが私に近づいてきて，エリックがかわいそうだと言いました。クラスの誕生パーティーに参加せず，独りでぽつんと座っていると言うのです。私はこう言いました。『そんなふうに息子のことを気遣ってくださって本当にありがとうございます。あなたのお人柄がよく分かります。エリックとしては損をしたとは思っていないのですが，それは恐らく私が何を申し上げても分かっていただけないと思います』。その母親は，そのとおりだと言いました。それで私は，『それでは納得のゆくように，エリックの気持ちを直接本人にお尋ねください』と言いました。その母親は，私がそばにいないとき，息子に，『こんなすてきな誕生パーティーに出られなくてつまらないと思わないの？』と尋ねました。息子は驚いた顔でその方を見上げ，『たった10分で，カップケーキがちょっとと歌1曲だけで，パーティーって言えると思いますか。うちに来れば，本当のパーティーっていうのはどういうものか分かりますよ』と言いました」。この純真な熱意によって明らかになったことがあります。この子は自分が何かを得損なっている，あるいは損をしたとは思わなかったのです。

良くないかを話し合いました。でも，そのあと，会衆内のほかの子供たちを何人か集め，みんなを公園に連れて行ってフットボールをしたらどうかと勧めてみました。その方法は効を奏しました」。

18 賢明な親なら，子供が良い友達を見つけて，その友達と健全なレクリエーションを楽しむよう助けます。しかし，多くの親にとっては，このレクリエーションの問題自体が大きな課題になります。

どんなレクリエーションか

19 聖書は楽しく過ごすことをとがめているのでしょうか。そのようなことは全くありません。聖書は「笑うのに時」があり「跳び回るのに時」があると述べています。*（伝道の書 3:4）古代イスラエルの神の民は，音楽や踊り，ゲームやなぞ掛けを楽しみました。イエス・キリストは大きな婚宴や，マタイ・レビがイエスのために設けた「盛大な歓迎の宴」に出席されました。（ルカ 5:29。ヨハネ 2:1, 2）イエスが人の興をそぐ人でなかったことは明らかです。あなたの家庭でも，笑って楽しく過ごすことが決して罪とみなされませんように。

20 エホバは「幸福な神」であられます。（テモテ第一 1:11）ですから，エホバを崇拝することは生活から喜びを奪う影響力ではなく，喜びの源になるはずです。（申命記 16:15と比較してください。）子供たちは生まれつき元気いっぱいで，活力にあふれていますが，遊びやレクリエーションでそれを発散できます。選び抜かれたレクリエーションは単なる楽しみ以上のものです。それを通して，子供は物事を学び，成長するのです。家族の頭（かしら）には，レクリエーションを含め，あらゆる面で家族に必要なものを備える責任があります。とはいえ，平衡を取ることが求められます。

21 聖書に預言されていたとおり，問題の多い「終わりの日」の今日，人間社会は「神を愛するより快楽を愛する者」であふれています。（テモテ第二 3:1-5）多くの人にとって，レクリエーションは生活の中心になっています。いつでも楽しめる

---

* ここで「笑う」と訳されているヘブライ語は，他の語形では，「遊ぶ」，「何らかの娯楽を提供する」，「祝う」，場合によっては「楽しい時を過ごす」とさえ訳されることがあります。

---

19 家族で楽しい時を過ごすのが罪ではないことを，聖書のどんな例が示していますか。

20 親は家族にレクリエーションを備える上で，どんなことを思いに留めておくべきですか。

21 現代のレクリエーションにはどんな落とし穴がありますか。

この家族のキャンプ旅行のように，
選び抜かれたレクリエーションは，
子供が物事を学び，霊的に成長するのに役立つ

娯楽があまりに多いため，より大切なことが容易に締め出されてしまいます。その上，現代の娯楽は，性の不道徳，暴力，麻薬の乱用をはじめ，ひどく有害な習慣を題材にしたものがほとんどです。（箴言 3:31）有害な娯楽から若者を守るためにどんなことができるでしょうか。

22 親は境界線や制限を設ける必要があります。しかし，単にそれだけでなく，親は子供に，どんなレクリエーションが有害なのかを判断したり，どの程度が行き過ぎなのかを見極めたりするのを教えることも必要です。そういう訓練には時間と努力が求められます。一つの例を考えてみましょう。二人の息

---

22 親は子供たちがレクリエーションに関して賢明な決定を下せるよう，どのように訓練できますか。

子を持つある父親は，上の子が新しいラジオ局の放送をしょっちゅう聴いていることに気づきました。それで，この父親はある日，仕事へ向かうトラックの中でそのラジオ局にダイヤルを合わせ，時々車を止めては幾つかの歌の歌詞を手早く書き留めました。その後，息子たちと腰を下ろし，自分が聞いた歌のことで話し合いました。二人の考えを知るため，まず，「君たちはどう思う？」と尋ねてからいろいろな質問をし，二人の答えに辛抱強く耳を傾けました。聖書を基にしてこの問題を筋道を立てて考えた末，息子たちはそのラジオ局の放送を聴かないということで同意しました。

23 賢明なクリスチャンの親なら，子供が関心を持っている音楽，テレビ番組，ビデオ，漫画の本，テレビゲーム，映画などを調べます。表紙の絵や歌詞やパッケージのデザインを見，新聞の批評欄を読んだり，抜粋を見たりするのです。いまどきの子供向けのある種の“娯楽”にショックを受ける親は少なくありません。汚れた影響から子供を守りたいと願う親は，子供と一緒に腰を下ろし，聖書，および「若い人が尋ねる質問 ― 実際に役立つ答え」の本や，「ものみの塔」誌や「目ざめよ！」誌の記事など，聖書に基づいた出版物を用いながら，危険について話し合います。* 親が一貫していて道理にかない，はっきりとした制限を設けるなら，多くの場合，良い結果が生まれます。―マタイ 5:37。フィリピ 4:5。

24 もちろん，有害なレクリエーションを制限することは，闘いの一面にすぎません。悪いレクリエーションがなくなる分，どうしても良いものが必要になります。そうしないと，子供はずるずると悪の道へはまり込んでしまうかもしれません。ピクニック，ハイキング，キャンプ，ゲームやスポーツ，親族や

* ものみの塔聖書冊子協会発行。

23 親はどのように子供を不健全な娯楽から守れるでしょうか。
24，25 家族で楽しめる健全なレクリエーションにはどんなものがありますか。

友人に会いに行く旅行など，一緒にレクリエーションを楽しんだ心温まる懐かしい思い出は数え切れないほどあるというクリスチャンの家族は少なくありません。気晴らしに声を出して一緒に本を読むだけでも大いに楽しめ，くつろげることに気づいた家族もいれば，愉快な話や興味深い話をして楽しむ家族もいます。さらには，木工その他の工芸をはじめ，楽器の演奏，絵を描くこと，神の創造物の研究などを家族で趣味にしてきた人たちもいます。そういった楽しみ方を覚える子供たちは，多くの汚れた娯楽から守られると同時に，レクリエーションというのは，じっと座って人のすることを楽しむだけのものではないことを知るようになります。見ているより参加するほうが大抵は楽しいものです。

25 社交的な交わりも，満足感を味わえるレクリエーションになり得ます。監督が行き届き，異例な規模にならず，時間も取り過ぎない交わりは，子供たちに単なる楽しみ以上のものを与えます。会衆内の愛のきずなを深めるのに役立つのです。—ルカ 14:13，14；ユダ 12と比較してください。

あなたの家族も世を征服できる

26 確かに，ご家族を世の破壊的な影響から守るには並々ならぬ努力が必要です。しかし一つ，ほかの何にも勝って成功を可能にするものがあります。それは愛です。愛にあふれた固い家族のきずながあれば，あなたの家庭は安全な安らぎの場となり，話し合いも活発になるでしょう。これが悪影響から家族を守る大きな力になるのです。さらに，もう一つの愛を培うことはもっと重要です。それはエホバへの愛です。この愛が家族に行き渡っていればいるほど，子供は成長の過程で，世の影響に屈して神の不興を買うという考えそのものを憎むようになります。そして，心からエホバを愛する親は，愛情深く，道理にかない，平衡の取れたエホバのご性格に見倣おうと努めます。

---

26 家族を不健全な影響から守ることに関して，一番大切な特質は何ですか。

(エフェソス 5:1。ヤコブ 3:17) 親がそうするなら，子供がエホバの崇拝を，してはいけないことを単に並べ立てたもの，あるいは楽しみや笑いを奪ってしまう生き方で，すぐにでもそこから逃げ出したい，と考える理由はなくなります。むしろ，神を崇拝することは，考え得る最も幸福で，最も充実した生き方であることを認めるようになります。

27 神への幸福で平衡の取れた奉仕に一致してあずかり，この世の腐敗した影響から「汚点もきずもない」状態を保つよう誠実に努力する家族は，エホバにとって喜びの源です。(ペテロ第二 3:14。箴言 27:11) そういう家族は，イエス・キリストの足跡に従っています。イエスはご自分を汚そうとしたサタンの世のあらゆる試みを退けました。イエスは，人間としての生涯の終わりごろ，「わたしは世を征服したのです」と言うことができました。(ヨハネ 16:33) あなたのご家族も世を征服し，人生を永遠に楽しまれますように。

27 家族はどのように世を征服できますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
ご家族を守るのにどのように役立ちますか

知識は，人を生きつづけさせることのできる知恵に導く。
—伝道の書 7:12。

「この世の知恵は神にとっては愚かなもの」
—コリント第一 3:19。

悪い交わりを避けなければならない。
—コリント第一 15:33。

レクリエーションには占めるべきふさわしい場があるにしても，制御されなくてはならない。
—伝道の書 3:4。

第 9 章

片親家庭でもうまくゆきます！

片親家庭は，米国で「最も急増している家族形態」と呼ばれてきました。他の多くの国でも似たような状況が見られます。記録的な数に上る離婚，遺棄，別居，私生児の誕生などがもたらした結果は広範に及び，数え切れないほどの親子がその影響を受けてきました。

2 ある独り身の母親はこう書いています。「私は夫を亡くした28歳の主婦で，二人の子供がいます。父親なしで子供を育てるのがつらくて気がめいってしまいます。私のことなどだれも気にかけてさえくれないように思えます。子供たちは私が泣いているところをよく目にします。それも子供に影響します」。ひとり親の大半は，怒りの気持ち，罪悪感，孤独感などと闘うことに加え，外に出て働きながら家の中の仕事もするという難しい問題に直面します。ある人はこう言いました。「独りで子供を育てるのは，玉取りの曲芸をするようなものです。6か月練習して，ようやく四つの玉でできるようになります。でも，それができるようになるとすぐに，だれかが新しい玉を投げてくるのです」。

3 片親家庭の子供はそれなりの苦闘を頻繁に経験します。片方の親が突然出て行ってしまった，あるいは死んでしまった後の，激しい感情と闘わなければならないかもしれません。片方の親がいないことで，多くの若者は深刻な痛手を被っているようです。

4 聖書時代にも片親だけの家庭は存在していました。聖書は再三，「父なし子」や「やもめ」について述べています。（出

1-3　片親家庭が増加している原因はどこにありますか。当事者たちはどんな影響を被っていますか。
4　エホバが片親家庭を気遣っておられることはどうして分かりますか。

エジプト記 22:22。申命記 24:19-21。ヨブ 31:16-22）エホバ神はそうした人々の苦しい境遇に無関心であられたわけではありません。詩編作者は神を，「父なし子の父，やもめの裁き主」と呼びました。（詩編 68:5）エホバが今日の片親家庭を同じように気遣っておられることは確かです。実際，神の言葉には，そうした家庭の人々がうまくやってゆくのに役立つ原則が示されているのです。

毎日の家事をこなす

5 家庭管理という仕事のことを考えてみましょう。離婚したある女性は，「車から変な音がし始めても，その音の出どころが分からない場合など，男手があったら，と思うときが何度もあります」と本音を語っています。同様に，離婚したり妻を亡くしたりして間もない男性も，今では自分がしなくてはならない山のような家事に手を焼いているかもしれません。子供のほうは，家の中が散らかっているとますます不安で落ち着かない気持ちになります。

6 何が助けになるでしょうか。箴言 31章10節から31節に描かれている「有能な妻」の模範に注目できます。この女性が行なうことは，購入，販売，裁縫，料理，不動産への投資，農業，事業を営むことなど，驚くほど広範に及びます。その秘訣は何でしょうか。彼女は勤勉です。夜遅くまで働き，朝早く起きて一日の活動を始めます。また，物事をよく組織しています。ある仕事は人に委ねる一方，自ら働いて扱う仕事もあります。彼女が称賛を得るのも当然です。

7 もし，あなたがひとり親であるなら，家の中での責任を誠実に果たしましょう。そういう仕事に満足感を見いだしてください。家事を誠実に果たすことは，子供の幸福を増し加える

---

5 ひとり親は初めのうち，どんな問題に取り組まなければなりませんか。
6，7 （イ）箴言の「有能な妻」はどんな優れた模範を示していますか。（ロ）片親家庭において，家の中での責任を勤勉に果たすことはどのように助けとなりますか。

ことに大きく貢献するからです。しかし，ふさわしい計画や組織がどうしても必要です。聖書は，「勤勉な者の計画は必ず益をもたら（す）」と述べています。（箴言 21:5）ある独り身の父親は，「自分はおなかがすくまで食事のことは考えないほうです」と告白しています。しかし，よく考えて作った食事は普通，間に合わせに急いで作った食事よりも，栄養があって見た目にもきれいなものです。さらに，新しい仕事も覚えなければならないでしょう。中には，物知りの友達に相談したり，ハウツー物の本を読んだり，手を貸してくれる専門家に聞いたりして，塗装，配管，簡単な車の修理などができるようになった独り身の母親もいます。

8 子供たちに手伝いを頼むのは正しいことでしょうか。ある独り身の母親は，「子供には気楽にさせておいて，片親のいない分を埋め合わせてやりたい」と考えました。そう考えるのも無理のないことかもしれませんが，子供の最善の益になるとは限らないでしょう。神を恐れる聖書時代の若者たちには適当な雑用が割り当てられました。（創世記 37:2。ソロモンの歌 1:6）ですから，負担をかけすぎないように注意しながらも，食器の出し入れや皿洗い，自分の部屋の掃除などの仕事を子供に割り当てるのは賢明なことです。ある種の雑用を子供と一緒にしてみてはいかがですか。とても楽しいひとときを過ごせるでしょう。

生計を立てるという難しい問題

9 ひとり親の大半は自分たちの金銭的な必要を賄うのが難しいと感じており，若い未婚の母親にとっては事態がとりわけ深刻になることも少なくありません。* 国の援助を受けられるな

* 不道徳行為が原因で年若いクリスチャンが妊娠した場合，クリスチャン会衆がその人の行為を大目に見ることは決してありません。しかし，当人が悔い改めているなら，会衆の長老や他の人たちは助けを差し伸べたいと思うかもしれません。

8 ひとり親を持つ子供たちはどのように家の手伝いができますか。
9 独り身の母親がしばしば金銭面で苦しい状況に直面するのはなぜですか。

ら，少なくとも仕事が見つかるまでそれを活用するのは賢明でしょう。聖書では，必要な場合クリスチャンがそういう備えを活用することは許されています。（ローマ 13:1，6）夫を亡くした人も離婚した女性も同様の難しい問題に直面します。何年も家事に携わってきたあとに職場に戻らざるを得なくなった多くの女性が探し出せる仕事は，大抵は低賃金の仕事ばかりです。職業訓練の計画や学校の短期コースに参加して，何とか状況を改善する人も見受けられます。

10 仕事を探す親を見て，子供たちがいい顔をしないとしても動揺してはなりませんし，やましく思う必要もありません。それよりも，自分が働かなくてはならない理由を子供に説明し，親が子供に必要物を備えるのはエホバのご要求であるということを子供が理解するよう助けましょう。（テモテ第一 5:8）大抵の子供たちはそのうちに慣れてきます。とはいえ，忙しいスケジュールではあっても，時間の許す限り，できるだけ子供たちと一緒に過ごしてください。そういう愛情のこもった配慮があれば，切り詰めた生活のために家族が経験するかもしれない影響を最小限にとどめることもできるでしょう。一箴言 15:16，17。

だれがだれの面倒を見ているのか

11 ひとり親の場合，子供たちとのきずなが特に強くなるのも無理はありませんが，神の定められた親子の境界線が侵されないよう注意することはどうしても必要です。例えば，独り身の母親が，一家の大黒柱としての責任を担うことを息子に期待したり，娘を親友扱いし，私的な問題で娘に重荷を負わせたりするなら，深刻な問題が生じかねません。それは正し

10 独り身の母親は，自分が世俗の仕事を探さなければならない理由をどのように子供に説明できますか。

11，12 ひとり親はどんな境界線を守らなければなりませんか。どのようにそうすることができますか。

できるだけお子さんと一緒に時を過ごしてください

いことではなく，緊張を生じさせます。子供は恐らく面食らうでしょう。

12 親であるあなたが子供たちの面倒を見るのであって，その逆ではないことをお子さんに知らせ，安心させてください。（コリント第二 12:14と比較してください。）親の皆さんにも助言や支えの必要なときがあるでしょう。そのときは未成年の子供ではなく，クリスチャンの長老に，場合によっては円熟したクリスチャンの婦人に助言を求めるようになさってください。—テトス 2:3。

懲らしめを与え続ける

13 男性は，懲らしめ役として一目置いてもらうのに苦労することなどほとんどないかもしれませんが，女性はこの点で問題

13 独り身の母親は，懲らしめに関するどんな問題に直面するかもしれませんか。

に直面することがあります。ある独り身の母親は，「息子たちは体つきも声も一人前の男性ですから，それに比べて，私の言うことが優柔不断な弱々しい感じにならないようにするのが難しいこともあります」と語っています。また，ご自分としては愛していた配偶者の死の悲しみがさめやらなかったり，もしかしたら，結婚生活が破局を迎えたことで罪悪感や怒りの気持ちを抱いたりしておられるかもしれません。以前の配偶者と親権を共有しているなら，子供が以前の配偶者と一緒にいるほうを好むのではないかと，不安になるかもしれません。そのような状況にあると，平衡の取れた懲らしめを与えるのが難しくなることもあります。

14 聖書は，「したい放題にさせて置かれる少年はその母に恥をかかせる」と述べています。（箴言 29:15）家庭内の規則を定めたり実際に当てはめたりすることにはエホバ神の後ろ盾があるのですから，罪悪感や後悔の念や恐れに屈してはなりません。（箴言 1:8）聖書の原則を曲げてはなりません。（箴言 13:24）道理にかない，首尾一貫した方法に従い，毅然とした態度を取るよう努めてください。ほとんどの子供たちは，やがてこたえ応じるようになります。それでも，お子さんの気持ちを考慮に入れる必要があるでしょう。ある独り身の父親はこう言っています。「子供たちは母親を失ってショックを受けていたので，懲らしめにも同情心を加味しなければなりませんでした。私は機会あるごとに子供に話しかけます。夕食の支度をするときは親子が“打ち解けるとき”です。子供たちが何でも打ち明けてくれるのはこのときです」。

15 離婚しておられる方の場合，以前の配偶者に対する敬意を薄れさせたところで何の益にもなりません。親のいさか

---

14 懲らしめに関して，ひとり親はどのように平衡の取れた見方を保てますか。

15 離婚した親は，以前の配偶者について話すとき，どんなことを避けるべきですか。

子供の皆さん，ひとり親に協力してください

いに子供は胸を痛め，結局はどちらの親にも以前ほどの敬意を抱かなくなります。ですから，「あなたはお父さんにそっくりだわ！」などと言って，子供を傷つけないようにしましょう。以前の配偶者にどんなつらい目に遭わされたにしても，その人がお子さんの親であることに変わりはありません。子供は両方の親からの愛情，配慮，懲らしめを必要としているのです。*

16 これまでの幾つかの章で考慮したとおり，懲らしめには単に罰を与えることだけではなく，訓練，それに教えることが含まれています。霊的な訓練の良いプログラムがあれば多くの問題は回避できます。（フィリピ 3:16）クリスチャンの集会に定期的に出席することはどうしても必要です。（ヘブライ 10:24, 25）毎週，家族で聖書研究をすることも同様に欠かせません。確かに，そういう研究をきちんと続けるのは容易なことではありません。ある誠実な母親は，「実際，一日の仕事が終

---

* ここで論じているのは，虐待する親から子供を守る必要のあるような状況のことではありません。また，もう一方の親が，恐らく子供たちを説得してあなたのもとを去らせる意図で，あなたの権威を弱めようとするなら，クリスチャン会衆の長老たちのような，経験を積んだ友人に話し，対応の仕方についての助言を求めるとよいでしょう。

---

16 片親家庭では，訓練の一環としてどんな霊的な取り決めが定期的に組み込まれるべきですか。

会衆は「やもめ」や「父なし子」をないがしろにしない

わるとゆっくりしたいと思うものですが，私は娘との研究に向けて気持ちを整えます。どうしてもしなくてはならないことだと分かっているからです。娘は家族研究が大好きなんです」と述べています。

17 使徒パウロの友テモテが，母親と祖母から聖書の原則に基づく訓練を受けていたことは明らかですが，父親からは受けていなかったようです。それでも，テモテは本当に秀でたクリスチャンになりました。（使徒 16:1, 2。テモテ第二 1:5; 3:14, 15）同じようにあなたも「エホバの懲らしめと精神の規整とをもって」お子さんを育てようと懸命に努力するとき，良い結果を期待することができます。—エフェソス 6:4。

孤独感との闘いに打ち勝つ

18 あるひとり親はため息まじりに，「家に帰って四方の壁を見る時，とりわけ子供たちが寝ていると，深い孤独感におそわれます」と言いました。確かに孤独感は多くの場合，ひとり親が直面する一番大きな問題です。温かい交わりや結婚生活での親密な関係を恋しく思うのは当然のことです。しかし，どん

---

17 パウロの友テモテが受けたりっぱなしつけから何が学べますか。

18, 19 （イ）ひとり親の場合，どのように孤独感が頭をもたげることがありますか。（ロ）肉欲を抑える助けとなるどんな助言が与えられていますか。

な犠牲を払ってでも，この問題を解決しようとすべきでしょうか。使徒パウロの時代の若いやもめたちの中には，「その性的な衝動が自分とキリストとの間を隔てる」ままにしてしまった人がいました。（テモテ第一 5:11，12）肉欲のために霊的な関心事の影が薄くなるのを許しておくなら，有害な結果を招くことでしょう。—テモテ第一 5:6。

19 あるクリスチャンの男性は，「性的な衝動は非常に強いものですが，抑えることはできます。そういう考えが頭に浮かんだら，そのことをいつまでも考えていてはなりません。すぐに払いのけねばならないのです。子供のことを考えるのも助けになります」と語りました。神の言葉は，『あなた方の肢体を性的欲情に関して死んだものとしなさい』と助言しています。（コロサイ 3:5）食欲を抑えようとしている人が，おいしそうな食べ物の写真を大々的に扱った雑誌を読んだり，食べ物の話ばかりしている人たちと交わったりするでしょうか。そういうことはまずしません。肉欲についても同じことが言えます。

20 中には，未信者と交際するようになったクリスチャンもいます。（コリント第一 7:39）それは問題の解決になったでしょうか。いいえ，なりませんでした。ある離婚したクリスチャンの婦人は，「独りでいるよりもずっと悪いことが一つあります。それは結婚相手の選択を誤ることです」と言いました。1世紀のクリスチャンのやもめたちも孤独感におそわれることが度々あったと思われますが，賢明なやもめたちはいつも，「見知らぬ人をもてなし，聖なる者の足を洗い，患難にある人を助け（る）」ことに忙しくしていました。（テモテ第一 5:10）神を恐れる配偶者が見つかるまで長年待った今日の忠実なクリスチャンたちも，同様に忙しくしてきました。68歳になる一人のクリスチャンのやもめは，寂しくなるといつで

---

20 （イ）未信者と交際する人には，どんな危険がありますか。（ロ）1世紀でも今日でも，独り身の人々はどのように孤独感と闘ってきましたか。

若い人たちにできること

あなたのお母さんかお父さんはひとり親ですか。もしそうなら，どのように助けになれるでしょうか。一つできることは，従順であることです。体が大きいからとか男だからという理由で，子供が『自分の母の律法を捨て去って』もよいということにはなりません。（箴言 1:8）従順であるよう命じておられるのはエホバです。それに長い目で見れば，従順であることはあなたのためにもなるのです。―箴言 23:22。エフェソス 6:1-3。

何でも進んで行ない，感謝の気持ちを表わしましょう。トニーはこう言います。「母は病院で働いています。母の制服にはアイロンをかける必要があります。だから僕は母のためにアイロンをかけています。母の役に立つのですから，僕はアイロンがけをします」。ある独り身の母親は，「仕事が特に大変で，落ち込んだりいらいらしたりして家に帰って来ると，娘が自分から夕食の支度をしてくれていたという日がよくあります」と語っています。

あなたの協力が大切であることを忘れないでください。親にとって，骨の折れる一日の仕事が終わり，それから家族の聖書研究を司会するのは大変なことかもしれません。あなたが協力しないと，状況はもっと悪くなります。予定の時間が来たらすぐに研究が始められるようにしましょう。前もって予習してください。従順になり，感謝の気持ちを表わし，協力すれば，親を喜ばせることができます。また，さらに大切なこととして，神を喜ばせることができるのです。

も，別のやもめたちのところへ出かけることにしました。「そのようにして訪問したり，自分の家の仕事をきちんと片づけたり，霊性に注意を払ったりしていると，寂しくなる時間はありません」とその人は言いました。他の人に神の王国について教えることは，特に有益な良い業です。―マタイ 28:19，20。

21 言うまでもなく，孤独感は奇跡的にいやせるものではありません。しかし，エホバの与えてくださる力で孤独感に耐え

21 祈りと良い交わりはどのように孤独感を克服する助けとなりますか。

ることはできます。その力は，クリスチャンが「夜昼ひたすら祈願と祈りを続け（る）」ときに得られます。（テモテ第一 5:5）祈願とは心から出る嘆願です。助けを請い求めることです。これには強い叫びと涙が伴うこともあるでしょう。（ヘブライ 5:7と比較してください。）「夜昼」エホバに心を打ち明けることは本当に助けになります。さらに健全な交わりも，空（むな）しい孤独感を埋め合わせるのに大きく貢献します。良い交わりを通して，箴言 12章25節に述べられている，励みを与える「良い言葉」が得られるのです。

22 時には孤独感におそわれることがあるでしょう。そういうときには，万事順調な生活を送っている人など一人もいないことを思い出しましょう。実際，「仲間の兄弟全体」が何らかの苦しみを経験しています。（ペテロ第一 5:9）過去のことをくよくよ考えるのはやめましょう。（伝道の書 7:10）それよりも，いま自分が経験している良いことに目を向けてください。何よりも，忠誠を保ち，エホバの心を喜ばせる決意を抱いてください。―箴言 27:11。

他の人はどのように助けになれるか

23 仲間のクリスチャンからの支えや助けはたいへん貴重です。ヤコブ 1章27節は，「わたしたちの神また父から見て清く，汚れのない崇拝の方式はこうです。すなわち，孤児ややもめをその患難のときに世話すること……です」と述べています。そうです，クリスチャンには片親家庭を援助する責務があるのです。そのようにするためのどんな実際的な方法があるでしょうか。

24 物質的な援助をすることができます。聖書はこう述べて

---

22 時々孤独感におそわれるとき，どんなことを考えるのは助けになりますか。

23 会衆内のひとり親に対して，仲間のクリスチャンにはどんな責任がありますか。

24 困窮している片親家庭をどんな方法で援助できますか。

います。「だれであろうと，生活を支えるこの世の資力があるのに，自分の兄弟が窮乏しているのを見ながら，その兄弟に向かって優しい同情の扉を閉じるなら，その人にはどのようにして神の愛がとどまっているでしょうか」。（ヨハネ第一 3:17）『見る』という語の原語のギリシャ語は，単なる無関心な一瞥ではなく，まじまじと見つめることを意味しています。このことは，親切なクリスチャンであれば，まず，家族の状況や必要をよく知るようになることを示しています。お金が必要かもしれませんし，家の修理に手助けが必要な家族もいるでしょう。あるいは，食事や交わりに招待されるだけでありがたく思うかもしれません。

25 さらにペテロ第一 3章8節は，「あなた方はみな同じ思いを持ち，思いやりを示し合い，兄弟の愛情を抱き，優しい同情心に富み……なさい」と述べています。6人の子供を持つあるひとり親は次のように語りました。「とても大変で疲れてしまうときもあります。でも時々，兄弟姉妹たちが『ジョーン，よくなさっていますね。その働きは必ず報われますよ』と言ってくれます。他の人たちが自分のことを考えてくれており，気遣ってくださることを知るだけでも大変助けになります」。特に，年長のクリスチャンの婦人は，年若い独り身の母親が男性には話しにくいような問題に直面するとき，その話に耳を傾け，上手に援助することができるでしょう。

26 クリスチャンの男子は別の方法で助けることができます。義人ヨブは，『わたしは父なし子や助け手のない者を救出した』と述べました。（ヨブ 29:12）今日でも同様に，父親のいない子供に健全な関心を抱き，下心などなく，「清い心……から出る[純粋の]愛」を示しているクリスチャンの男子がいます。（テモテ第一 1:5）彼らは自分の家族をないがしろに

---

25 ひとり親に対して仲間のクリスチャンはどのように同情心を示せますか。
26 円熟したクリスチャンの男子は，どのように父親のいない子供たちを助けることができますか。

することなく，時々そういう年若い人たちとクリスチャン宣教を行なったり，年若い人を招いて一緒に家族との研究やレクリエーションをしたりするかもしれません。そうした親切を示せば，父なし子が非行の道に走らないよう救出できるに違いありません。

27 もちろん最終的にはひとり親が，「自分の[責任の]荷を負（わ）」なければなりません。（ガラテア 6:5）とはいえ，クリスチャンの兄弟姉妹から，そしてエホバ神ご自身から，愛を受けることができます。聖書はエホバが，「父なし子ややもめを助けてくださる」と述べています。（詩編 146:9）エホバの愛ある支えにより，片親家庭でもうまくやってゆけるのです。

27 ひとり親はどんな支えを確信できますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
片親家庭の親子が問題を扱うのに
どのように役立ちますか

エホバ神は「父なし子の父，やもめの裁き主」。
—詩編 68:5。

ふさわしい計画は成功に不可欠。—箴言 21:5。

適切な懲らしめを与える親の権利には
エホバの後ろ盾がある。—箴言 1:8。

賢明なクリスチャンのやもめは敬虔な業に忙しく携わり，
ひたすら祈りを続ける。—テモテ第一 5:5, 10。

「孤児ややもめ」にふさわしい関心を示すことは
真の崇拝の一部。—ヤコブ 1:27。

第 10 章

家族の中に病人がいるとき

幸福な家族生活を体験した人と言えば，どうしてもヨブという人の名を挙げなければなりません。聖書はヨブを「東洋人のうちで最も大いなる者」と呼んでいます。ヨブには息子7人と娘3人，合わせて10人の子供があり，家族を十分に養うだけの資産も持ち合わせていました。最も重要なこととして，ヨブは率先して霊的な活動に携わり，エホバのみ前における子供たちの立場に心を配っていました。これらすべてが相まって，幸福で固い家族のきずなが形造られました。—ヨブ 1:1-5。

2 エホバ神の大敵対者サタンが，ヨブの状況を見逃すことはありませんでした。絶えず何とかして神の僕（しもべ）の忠誠を破らせようとしているサタンは，ヨブの幸せな家庭を破壊することにより，ヨブを攻撃しました。その後，サタンは「ヨブの足の裏から頭のてっぺんまで悪性のはれ物で彼を打（ちました）」。このようにサタンは，悲惨な出来事と病気を利用してヨブの忠誠を破らせようと考えました。—ヨブ 2:6，7。

3 聖書には，ヨブを苦しめた病気の名前は挙げられていませんが，その症状については確かに記されています。ヨブの肉はうじ虫に覆われ，皮膚にはかさぶたができては腐ってゆきました。その息は忌み嫌われ，体は悪臭を放っていました。痛みにもさいなまれていました。（ヨブ 7:5；19:17；30:17，30）ヨブは苦悶（もん）しながら灰の中に座り，壊れた土器のかけらで身をかきました。（ヨブ 2:8）何と哀れな光景でしょう！

1，2 サタンはヨブの忠誠を破らせようとして，どのように悲惨な出来事と病気を利用しましたか。

3 ヨブの病気にはどんな症状が見られましたか。

4 ご自分がこのような重病を患ったならどうされますか。サタンは現在では，ヨブに対して行なったように神の僕を病気で悩ませることはありません。それでも，人間の不完全さ，日々の生活から来るストレス，生活環境の悪化などを考えると，家族のだれかが時々病気になったとしても少しも不思議ではありません。ヨブほどの苦しみを味わう人は少ないとはいえ，予防策を講じてもわたしたちはみな病気にかかります。病気が家庭に入り込んでくると，大きな試みとなる場合があります。ですから，この絶えず存在する人類の敵に立ち向かう上で，聖書がどのように助けになるかを調べてみましょう。—伝道の書 9:11。テモテ第二 3:16。

あなたはどのように感じますか

5 原因は何であれ，どんな場合でも通常の生活のリズムが崩れるのは大変なことです。長期にわたる病気が原因のときは特にそう言えます。それが短期間の病気でも，いろいろなことを調整し，譲歩し，犠牲にすることが必要です。病人がゆっくり休めるように，病気でない家族の者たちは静かにしていなければならない，ということもあります。また，ある種の活動を控える必要があるかもしれません。それでも大抵の家庭では，幼い子供でさえ病気になった親兄弟をかわいそうに思います。もっとも，幼い子供たちには，思いやり深くあることを時々思い起こさせる必要があるかもしれません。（コロサイ 3:12）一過性の病気については，大抵の家庭に，必要な手を打つ備えができています。さらに言えば，自分が病気になったら同じような思いやりを示してほしい，とだれもが思うでしょう。—マタイ 7:12。

---

4 どんな家族もみな，時々どのような経験をしますか。
5 一過性の病気の場合，家族の者は普通どんな受け止め方をしますか。

配偶者が病気になったとき，クリスチャンはその愛情のほどを示す

6 しかし，病気が非常に重く，生活のリズムが根底から長期にわたって崩されてしまう場合はどうですか。例えば，家族のだれかが脳卒中で体が麻痺（ひ）しているとか，アルツハイマー病で体が不自由であるとか，そのほかの病気で衰弱している，という状況になったならどうでしょうか。また，家族のだれかが精神分裂病のような精神障害で苦しんでいたらどうですか。最初の受け止め方としては，かわいそうだと思うのが普通です。愛する者がそれほどまでに苦しんでいることを悲しむ気持ちです。しかし，かわいそうだと思う気持ちに続いて，別の感じ方をするようになることもあります。家族の者たちは，一人の人の病気のため自分たちに多大の影響が及び，自由も制限されていることに気づいて，憤りを覚えるようになるかもしれません。「どうして私がこんな目に遭わなくてはならないのか」と考えるかもしれません。

7 同じような考えがヨブの妻の頭をよぎったようです。思い出してください。ヨブの妻はすでに，子供たちを実際に亡くしていました。こうした悲惨な出来事の一部始終が明らかにな

---

6 家族の一人がなかなか治らない重い病気に悩まされているとき，どんな受け止め方が時々観察されますか。

7 ヨブの妻は夫の病気に対してどんな反応を示しましたか。この女性はどんなことを忘れてしまったようですか。

るにつれて，恐らく心の動揺はいよいよ抑え難いものになったことでしょう。挙げ句の果てに，かつては元気ではつらつとしていた夫が痛みを伴う忌まわしい病気で苦しむ姿を見て，自分も夫も持っていた神との関係，すなわち，悲惨なすべての出来事も物の数ではなくなる重要な要素を見失ってしまったようです。聖書はこう述べています。「ついに，[ヨブの]妻は彼に言った，『あなたはなおも自分の忠誠を堅く保っているのですか。神をのろって死になさい！』」—ヨブ 2:9。

8 ほかの人の病気のせいで生活がすっかり変わってしまうと，多くの人はいらいらし，腹を立てることさえあります。それでも，自分の置かれている状況についてよく考えるクリスチャンは，結局はその状況が自分の愛の純粋さを実証する機会になることを悟るようになるはずです。真の愛は「辛抱強く，また親切です。……自分の利を求め……ません。……すべての事に耐え，すべての事を信じ，すべての事を希望し，すべての事を忍耐します」。（コリント第一 13:4-7）ですから，悪感情に左右されるのではなく，最善を尽くしてそうした感情を制御することが絶対に必要です。—箴言 3:21。

9 家族の一人が重い病気にかかっているとき，家族の霊的福祉や感情面での福祉を守るためにどんなことができるでしょうか。もちろん，どんな病気にもそれぞれ特定の看護や治療の方法がありますし，この出版物で何らかの療法や在宅看護の方法を勧めるのはふさわしいことではないでしょう。しかしエホバは，霊的な意味で，「かがんでいるすべての者を立ち上がらせておられます」。（詩編 145:14）ダビデ王はこのように書きました。「立場の低い者に対して思いやりをもって行動

---

8 家族のだれかが重病のとき，家族のほかの者たちが正しい見方を保つのに，どんな聖句が助けとなりますか。

9 家族のだれかが重い病気のとき，霊的にも感情的にも家族の助けとなるどんな事柄が保証されていますか。

する人は幸いです。災いの日にエホバはその人を逃れさせてくださいます。エホバご自身が彼を守り，彼を生き長らえさせてくださるのです。……エホバご自身が病の床にある彼を支えてくださいます」。（詩編 41:1-3）エホバは，ご自分の僕（しもべ）たちが限界を超えるほど感情的につらい思いをしているときでさえ，僕たちを霊的に生き長らえさせてくださるのです。（コリント第二 4:7）家庭の中で重い病気という問題に直面している多くの人は，詩編作者の次の言葉に共鳴してきました。「わたしは大いに苦しめられました。エホバよ，あなたのみ言葉にしたがってわたしを生き長らえさせてください」—詩編 119:107。

人をいやす霊

10 聖書には，「人の霊は病苦に耐えることができるが，打ちひしがれた霊については，だれがこれを忍ぶことができようか」という格言があります。（箴言 18:14）精神的ショックは「人の霊」はもちろん，家族の霊を苦しめることがあります。それでも，「穏やかな心は身体の命で（す）」。（箴言 14:30）重い病気の問題に家族が上手に対処できるかどうかは，家族の者の態度，すなわち霊に大きく依存しています。—箴言 17:22と比較してください。

11 あるクリスチャンの女性は，結婚してわずか6年後に，夫が脳卒中による障害に苦しむのを見て，耐え忍ばなければなりませんでした。この人は当時を思い出して，「主人は言語機能にひどい障害をきたしたので，会話を交わすことが事実上できなくなりました。主人が懸命になって話そうとすることを理解しようと，神経のすり減る思いをしたものです」と述べてい

10, 11 （イ）病気の問題に家族が上手に対処するためには，どんなことが肝要ですか。（ロ）一人の女性は夫の病気にどのように対処しましたか。

ます。ご主人のことも考えてみてください。苦悩と失望を味わったに違いありません。この夫婦はどうしましたか。二人はクリスチャンの会衆から遠く離れた所に住んでいましたが，この姉妹は，組織から出される最新の情報すべて，また，「ものみの塔」誌と「目ざめよ！」誌を通して絶え間なく与えられる霊的な食物についてゆくことにより，霊的な強さを保つよう最善を尽くしました。そのおかげで，姉妹は愛する夫が4年後に亡くなるまで看病するための霊的な力を得ることができました。

12 ヨブの家族の場合，強さを保ったのは苦しんでいたヨブ本人でした。ヨブは妻に，「わたしたちはまことの神から良いことだけを受けて，悪いことは受けないのだろうか」と問いかけました。（ヨブ 2:10）後に弟子ヤコブが，辛抱強さと堪忍の際立った模範としてヨブを引き合いに出したとしても，何の不思議があるでしょう。ヤコブ 5章11節にはこう書かれています。「あなた方はヨブの忍耐について聞き，エホバがお与えになった結末を見ました。エホバは優しい愛情に富まれ，憐れみ深い方なのです」。今日でも同様に，病人の勇気ある態度によって家族のほかの者たちが積極的な見方を保つよう助けられたというケースは少なくありません。

13 家庭内で病気の問題に取り組まなければならなかった人たちの大半は，家族の者が最初はその事実を受け入れ難く思うのは当然だという点で意見が一致しています。また，その状況をどうみなすかということが特に重要である，とも指摘しています。家での日常生活に変化が生じ，調整が加えられるのは最初のうちは大変かもしれませんが，本気で努力するなら，新たな状況に慣れてきます。その際，病人のいないほかの家族の

12 ヨブの場合がそうですが，病人はどんな貢献をすることがありますか。
13 重病人を抱えている家族は，どんな比較をするべきではありませんか。

状況を自分の状況と比べ，向こうは楽でいいとか，『これでは全く不公平だ』などと考えないことが大切です。実際，ほかの人がどんな重荷を抱えているかは全くだれにも分かりません。クリスチャンはみな，イエスの次の言葉に慰めを見いだします。「すべて，労苦し，荷を負っている人よ，わたしのところに来なさい。そうすれば，わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう」―マタイ 11:28。

優先順位を定める

14 重病の問題に直面する家族は，「助言者の多いところには達成がある」という霊感を受けた言葉を覚えておくとよいでしょう。（箴言 15:22）家族が集まり，病気によって生じた状況について話し合うことができますか。話し合うときによく祈り，神の言葉に導きを求めるのは確かに適切なことです。（詩編 25:4）そういう話し合いではどんなことを考慮すればよいでしょうか。例えば，医療のこと，経済的なこと，家族に関することなどを決めなければなりません。おもにだれが看病しますか。家族はそれを支えるためにどのように協力できるでしょうか。話し合いで決めたことは家族の一人一人にどう影響しますか。おもに看病する人の霊的な必要やそのほかの必要はどのように顧みられるのでしょうか。

15 エホバの導きを真剣に祈り求め，神の言葉を黙想し，勇気をもって聖書に示されている方法に従うなら，しばしば想像以上の祝福がもたらされます。家族の中にいる病人の症状は必ずしも快方に向かうというわけではないかもしれません。しかしエホバに頼るなら，どんな状況にあっても必ず最善の結果になります。（詩編 55:22）詩編作者はこう記しました。

---

14 どのようにして優先順位を正しく定めることができますか。

15 エホバは重病人を抱えている家族をどのように支えてくださいますか。

「エホバよ，あなたの愛ある親切がわたしを支えつづけました。不安の念を起こさせるわたしの考えがわたしの内で多くなったとき，あなたの慰めがわたしの魂をいとおしむようになりました」―詩編 94:18，19。詩編 63:6-8もご覧ください。

子供たちを助ける

16 家族の中に重病人がいると，子供たちに問題の生じることがあります。親が子供たちを助けることが大切です。どんなことをする必要が生じているのか，子供としてどんな手助けができるのかを理解させるのです。病人が子供であれば，その子に特別な注意と配慮が払われていても，ほかの子供たちがその子ほど愛されていないわけではないことを分からせてあげる必要があります。親は，憤りや対抗心が培われるのを許すのではなく，ほかの子供たちが，病気によって生じた状況に協力して取り組みながら，互い同士のきずなを強め，純粋な愛情を持つよう助けることができます。

17 幼い子供たちは，親が病状に関して長々と複雑な説明をするよりも，感情に訴えかけてくるとき，一層快くこたえ応じるものです。ですから，家族の中の病人がどんな苦しい経験をしているか，幾らか教えてあげてもよいでしょう。元気な子供たちは，自分たちが当たり前だと思っていることの多くが病気の子にはできなくなってしまうのが分かると，恐らく「兄弟の愛情」を強め，「優しい同情心に富（む）」ようになるでしょう。―ペテロ第一 3:8。

18 もう少し大きな子供たちには，家族が難しい状況下にある

16，17　病気の子供についてほかの幼い子供たちと話し合うとき，どんな点を含めることができますか。

18　少し大きな子供たちが病気によって生じた問題を理解できるよう，どのように助けることができますか。そうした状況はどのように子供たちのためになることがありますか。

ので一人一人に犠牲が求められるということを悟らせるとよいでしょう。医療費の支払いがあるため，親は自分たちが望むほどにはほかの子供たちに必要な物を備えられないかもしれません。子供たちはそのことに腹を立て，何かを得損なっていると感じるでしょうか。それとも状況を理解し，喜んで必要な犠牲を払うでしょうか。それは，その問題についてどのように話し合うか，また，家庭にどんな気風があるかということに大いに依存しています。実際，多くの家庭では，家族の一人が病気になったために，パウロの次の助言に従うよう子供をしつけることができました。「何事も闘争心や自己本位の気持ちからするのではなく，むしろ，他の人が自分より上であると考えてへりくだった思いを持ち，自分の益を図って自分の事だけに目を留めず，人の益を図って他の人の事にも目を留めなさい」―フィリピ 2:3，4。

医療に対する見方

19 平衡の取れたクリスチャンは，神の律法に反しない限り，医療には反対しません。家族のだれかが病気になったときは，何とかしてその苦しみを和らげてあげたいと思います。とはいえ，専門家の間には様々な意見の食い違いがあるかもしれず，それらを慎重に考慮しなければなりません。その上，近年は新しい病気や障害が忽然と現われ，多くの場合，一般に受け入れられている治療法がありません。正確な診断さえ難しい場合もあるのです。では，クリスチャンはどうすべきでしょうか。

20 聖書筆者の一人は医師でしたし，使徒パウロも友人テモテに医学上の有益なアドバイスをしていますが，聖書は道徳と

19，20 （イ）家族のだれかが病気のとき，家族の頭はどんな責任を担いますか。（ロ）聖書は医学の教本ではありませんが，病気の扱いに関してどのように導きを与えていますか。

家族で協力するなら問題に対処できる

霊的な事柄に関する手引き書であって，医学の教本ではありません。（コロサイ 4:14。テモテ第一 5:23）ですから医療の問題に関しては，クリスチャンの家族の頭（かしら）が自分で平衡の取れた決定をしなければなりません。もしかしたら，複数の専門家の意見を聞く必要があると思える場合もあるでしょう。（箴言 18:17と比較してください。）病気になった家族の者のために，利用できる最善の助けを得たいと思うはずです。ほとんどの家族の頭は正規の医師にそうした助けを求めますが，既存のものに代わる療法のほうが良いと考える人もいます。これも個人の決定にまかされています。それでも，クリスチャンは健康上の問題を扱うに当たり，『神のみ言葉を足のともしび，通り道の光』にするのをやめません。（詩編 119:105）クリスチャンは聖書に述べられている指針に従い続けます。（イザ

ヤ 55:8, 9）ですから，心霊術じみた診断法を避け，聖書の原則に反する治療法を退けます。—詩編 36:9。使徒 15:28, 29。啓示 21:8。

21 アジアのある若い女性の例を考えてみましょう。この女性はあるエホバの証人との研究を通して聖書を学び始めましたが，始めて間もなく，女の赤ちゃんを早産しました。その子は1,470㌘しかありませんでした。医師から，赤ちゃんは重度の知恵遅れになり絶対に歩けない，と聞かされ，この女性は悲嘆に暮れました。医師は，赤ちゃんを施設に入れてしまいなさい，と忠告しました。夫もこの問題については態度があやふやでした。だれに導きを求めればいいのでしょうか。

22 この女性はこう述べています。「聖書で『子らはエホバからの相続物であり，腹の実は報いである』と学んだのを思い出しました」。（詩編 127:3）彼女はこの「相続物」を自宅に連れて帰って世話することにしました。初めはうまくゆきませんでしたが，エホバの証人の地元の会衆に交わるクリスチャンの友人たちの援助もあって，この女性は何とか困難を切り抜け，子供が必要としていた特別な援助も与えることができました。12年後，その子は王国会館での集会へ出かけ，そこで若い人たちとの交わりを楽しんでいました。この母親はこう言っています。「聖書の原則のおかげで正しいことができるようになり，とても感謝しています。聖書があったので，エホバ神のみ前で汚れない良心を保つことができ，後悔せずにすみました。そうでなかったら，この後悔の念は私の残りの人生にずっと付きまとっていたことでしょう」。

23 病気は永久にわたしたちに付きまとうのではありません。

21, 22 アジアの一人の女性は聖書の原則について，どのように推論しましたか。この状況におけるこの女性の決定が正しかったことは，どのように明らかになりましたか。

23 聖書は，病人やその世話をする人たちにどんな慰めを与えていますか。

預言者イザヤは将来，『「わたしは病気だ」と言う居住者がいなくなる』ときのことを指し示しました。（イザヤ 33:24）この約束は，急速に近づきつつある新しい世で実現します。しかしそれまでは，病気や死の問題を抱えて生きていかなければなりません。幸いにも，神の言葉は導きや助けを与えています。聖書に示されている，行動に関する基本的な規範はいつまでも続くものであり，絶えず移り変わる不完全な人間の見解をはるかにしのいでいます。ですから賢明な人は，詩編作者の記した次の言葉に同意します。「エホバの律法は完全で，魂を連れ戻す。エホバの諭(さと)しは信頼でき，経験のない者を賢くする。……エホバの司法上の定めは真実であり，全く義にかなっていることが実証された。……それを守ることには大きな報いがあります」―詩編 19:7，9，11。

ここに挙げた聖書の原則は……
家族が重い病気やそれが引き起こす生活の変化に対処するのにどのように役立ちますか

愛は辛抱強く，すべての事に耐える。
―コリント第一 13:4-7。

良い霊を培うことが大切。―箴言 18:14。

重要な決定を下す前に助言を求めるのは良いこと。
―箴言 15:22。

生活が大変な状況にあるときもエホバが支えてくださる。
―詩編 55:22。

どんな状況にあってもエホバの言葉は導きとなる。
―詩編 119:105。

第 11 章

家庭内の平和を保つ

愛や思いやりや平和の見られる家庭で暮らしている人は幸せです。あなたの家庭もそうあってほしいと思います。残念ながら，実に多くの家庭はそうした描写には当てはまらず，何らかの理由で分裂しています。どんなことが原因で家庭は分裂するのでしょうか。この章では三つの事柄を検討します。ある家庭では，皆が同じ信仰を持ってはいません。また，子供たちの生みの親が違う場合もあるでしょう。さらには，暮らしを立ててゆくのに必死だったり，もっと多くの物を手に入れたいと思うあまり，家族がやむなくばらばらになるような場合もあります。しかし，状況は同じでも，分裂する家庭とそうでない家庭があるようです。なぜ違いが生じるのでしょうか。

2 一つの要素は物の見方です。相手の考え方を理解しようと誠実に努力するなら，どうすれば家庭の一致を守れるかがもっと分かるようになるはずです。二つ目の要素は，何を導きにするかという点です。多くの人は，仕事仲間，近所の人，新聞のコラムニストなど，人間のアドバイスに従っています。しかし，中には，神の言葉が自分たちの状況について述べている事柄を知り，その後，学んだことを当てはめてきた人たちもいます。そうすることは，家庭内の平和を保つ上でどのように役立つのでしょうか。―テモテ第二 3:16，17。

1　家庭を分裂させる原因としてはどんなことが考えられますか。

2　ある人たちは家庭生活の導きをどこに求めますか。しかし，そうした導きを与えるものとして，最も優れているのは何ですか。

夫の信仰が異なる場合

3 聖書には，信仰が違う人との結婚を非とする強い助言があります。（申命記 7:3，4。コリント第一 7:39）しかし，あなたの場合は，結婚後に聖書から真理を学び，ご主人はそうされなかったかもしれません。では，どうすればよいのでしょうか。もちろん，結婚の誓いは依然として有効です。（コリント第一 7:10）聖書は，結婚のきずながいつまでも続くものであることを強調しており，夫婦間の見解の相違を避けて通るよりも，その問題を克服するよう勧めています。（エフェソス 5:28-31。テトス 2:4，5）それでも，聖書の宗教を実践することにご主人が強く反対する場合はどうでしょうか。会衆の集会に行かせまいとしたり，自分の妻には家から家に行って宗教のことを話してもらいたくない，と言ったりするかもしれません。あなたはどうしますか。

4『主人はどうしてそんなふうに感じるのかしら』と考えてみてください。（箴言 16:20，23）ご主人としては，あなたのしていることがよく分からなければ，心配になるでしょう。あるいは，あなたが親族にとっては大切なある種のしきたりに従わなくなったため，親族から圧力をかけられているのかもしれません。ある夫は，「家に独りでいると，見捨てられたように感じました」と述べています。この人は妻を宗教に奪われると思ったのです。しかし，プライドが邪魔をして，寂しいとはなかなか言えませんでした。ご主人には，あなたがエホバを愛しているからといってご主人を以前ほど愛さなくなったわけではないということを知らせ，安心してもらう必要があるでしょう。是非とも，ご主人と一緒に時を過ごしてください。

---

3 （イ）信仰の違う人と結婚することについて聖書はどんな助言を与えていますか。（ロ）夫婦の片方が信者で，もう一方は信者でない場合，どんな基本的な原則が当てはまりますか。

4 夫が同じ信仰を持っていないとき，妻は自分が夫の身になって考えているということをどのように示せますか。

相手の考え方を理解するよう努力してください

5 しかし，思慮深く状況に対処するには，さらに重要なことを考慮しなければなりません。神の言葉は妻に，「夫に服しなさい。それは主にあってふさわしいことだからです」と強く勧めています。（コロサイ 3:18）このように，この聖句は独立の精神を戒め，それに加えて，「それは主にあってふさわしいことだからです」と述べて，夫に服するときには，主に服することも考えに入れるべきことを示しています。平衡を取ることが必要なのです。

6 クリスチャンにとって，会衆の集会に出席することや聖書に基づく信仰について他の人に証言することは，真の崇拝の重要な面であり，それらをおろそかにすべきではありません。（ローマ 10:9，10，14。ヘブライ 10:24，25）では，神の明確なご要求を守ってはならないとある人から直接命じられたな

---

5 夫が違う信仰を持っているなら，妻はどのように平衡を取らなければなりませんか。

6 クリスチャンである妻は，どんな原則を思いに留めておくべきですか。

らどうしますか。イエス・キリストの使徒たちはきっぱりと，「わたしたちは，自分たちの支配者として人間より神に従わねばなりません」と言いました。（使徒 5:29）使徒たちの模範は，生活上のさまざまな状況に当てはめることのできる先例になっています。あなたはエホバへの愛に動かされて，神が受けるべき専心を神に示しますか。同時に，そうする際には，ご主人に対する愛と敬意に動かされて，ご主人に不快な思いをさせないように努めるでしょうか。—マタイ 4:10。ヨハネ第一 5:3。

7 イエスは，いつでもそうできるわけではないということを指摘されました。真の崇拝に対する反対が理由で，ある家庭の信者は，あたかも剣で家族の者から切り離されたように感じるであろうと言われました。（マタイ 10:34-36）日本の一女性はこのことを経験しました。この人は，11年間夫から反対されました。夫に虐待され，しばしば家から締め出されましたが，頑張り通しました。クリスチャン会衆の友人たちの助けもありました。絶えず祈り，ペテロ第一 2章20節の聖句から大いに励みを得ていました。このクリスチャンの女性は，自分が確固とした立場を取り続ければ，夫もいつの日かエホバに共に仕えるようになる，と確信していました。そして，実際その通りになったのです。

8 配偶者の態度を変化させるために行なえる実際的な事柄はたくさんあります。例えば，ご主人があなたの宗教に反対しているなら，そのほかのことでは，正当な根拠のある不満をご主人に抱かせてはなりません。家をいつもきれいにしておき，身だしなみにも心を配りましょう。愛や感謝を惜しみなく表わしてください。批判的ではなく，協力的であってください。ご

---

7 クリスチャンである妻は，どんな決意を抱いていなければなりませんか。
8, 9 妻は，夫の前に不必要な障害物を置かないよう，どのように行動すべきですか。

主人の頭の権に頼っていることを表わしましょう。不当な扱いを受けたように思えても，仕返しをしてはなりません。（ペテロ第一 2:21，23）人間は不完全であることを考慮に入れてください。言い争いになったなら，謙虚になって自分のほうから謝りましょう。—エフェソス 4:26。

9 集会に出席するからといって，ご主人の食事の時間を遅らせてはなりません。また，クリスチャン宣教には，ご主人が家にいないときに参加できるかもしれません。夫が妻から伝道されるのを快く思っていないなら，クリスチャンである妻がそうするのを控えるのは賢明なことです。それより，使徒ペテロの次の助言に従います。「妻たちよ，自分の夫に服しなさい。それは，み言葉に従順でない者がいるとしても，言葉によらず，妻の行状によって，つまり，深い敬意のこもったあなた方の貞潔な行状を実際に見て引き寄せられるためです」。（ペテロ第一 3:1，2）妻の立場にあるクリスチャンは，神の霊の実をもっと十分に表わすことに努めます。—ガラテア 5:22，23。

妻がキリスト教を実践していない場合

10 夫はキリスト教を実践していても，妻がそうでない場合はどうですか。聖書はそういう状況のための導きを与え，こう述べています。「ある兄弟に信者でない妻がいて，彼女が夫と共に住むことを快く思っているなら，その人は妻を去ってはなりません」。（コリント第一 7:12）聖書はまた，「妻を愛しつづけなさい」と夫を諭しています。—コロサイ 3:19。

11 信仰の異なる妻を持つ夫の皆さんは，妻に対する敬意と，その感情に対する思いやりを示すことにとりわけ気を配ってください。夫が同意できない宗教上の信念であっても，妻に

10 妻が違う信仰を持っているなら，信者である夫は妻に対してどんな行動を取るべきですか。
11 妻がキリスト教を実践していないなら，夫はどのように識別力を示し，どのように巧みに妻に対する頭の権を行使できますか。

は一人の大人として当然，自分のそうした信条を実践するある程度の自由があるのです。ご自分の信仰について奥さんに話すとき，最初から奥さんが長年信じてきたことを捨て去って新しいことを始めるなどと期待しないでください。妻やその家族が長い間大切にしてきた習慣は間違っている，と無遠慮に言うのではなく，根気強く聖書から筋道を立てて説明するよう努めるのです。あなたが会衆の活動にばかり多くの時間を注ぎ込むなら，奥さんはほったらかしにされていると感じるでしょう。エホバに仕えようとするあなたの努力を阻むとしても，その真意は単に，「あなたの時間がもっとほしいの！」というだけのことかもしれません。あせらないでください。あなたの愛情深い思いやりがあれば，奥さんもやがて真の崇拝を受け入れるようになるかもしれません。—コロサイ 3:12-14。ペテロ第一 3:8，9。

子供をしつける

12 崇拝の面で一致していない家庭では，時として子供たちの宗教教育のことが問題になります。どのように聖書の原則を当てはめたらよいでしょうか。聖書によれば，子供を教えるおもな責任は父親にありますが，母親にも果たすべき大切な役割があります。（箴言 1:8。創世記 18:19；申命記 11:18，19と比較してください。）キリストの頭の権を認めない父親だとしても，家族の頭であることに変わりはありません。

13 未信者の父親の中には，母親が子供に宗教的な事柄を教えても，そのことに反対しない人もいます。一方，反対する人もいます。ご主人が会衆の集会に子供を連れて行くことを許してくれなかったり，家で子供と聖書を研究することさえ禁じた

---

12 夫と妻の信仰が違っているとしても，子供をしつける際，どのように聖書の原則を当てはめるべきですか。

13，14 子供をクリスチャンの集会に連れて行くことや子供と研究することを夫に禁じられるなら，妻にはどんなことができますか。

りするならどうですか。そうなると，幾つかの責任を平衡を取りながら果たさなければなりません。エホバ神に対する責任，頭である夫に対する責任，そして愛する子供たちに対する責任です。どのようにこれらの責任のバランスを取ることができるでしょうか。

14 あなたはその問題について祈るに違いありません。（フィリピ 4:6，7。ヨハネ第一 5:14）しかし，最終的に取るべき道を決めなければならないのは，あなた自身です。巧みに事を進め，ご主人の頭の権に挑戦しているのではないことをはっきりさせるなら，やがてはご主人の反対も弱まってゆくでしょう。たとえご主人が，子供を集会に連れて行くことや子供ときちんとした聖書研究をするのを禁じるとしても，子供を教えることはできます。あなたの日ごろの会話や良い模範を通して，エホバへの愛，み言葉に対する信仰，親 ― 父親も含めて ― に対する敬意，他の人に対する愛ある関心，誠実に働く習慣を高く評価することなどを幾らかでも教え込むことに努めましょう。父親もやがてその良い結果に目を留め，あなたの努力の価値を認めるようになるかもしれません。―箴言 23:24。

15 夫の立場にあるあなたが信者で，奥さんは信者でないなら，あなたが「エホバの懲らしめと精神の規整とをもって」子供を育てる責任を担わなければなりません。（エフェソス 6:4）もちろん，その責任を果たしながら，奥さんにも優しく，愛情深く，道理にかなった仕方で接するべきです。

あなたの宗教が親の宗教とは異なる場合

16 今では，未成年の子供でさえ親とは違う宗教上の見解を受け入れるということが珍しくなくなっています。あなたの場

15 子供の教育という面で，信者である父親にはどんな責任がありますか。
16，17 子供たちは親とは違う信仰を受け入れるとき，どんな聖書の原則を心に留めておかなければなりませんか。

合もそうですか。もしそうなら，聖書にはあなたの役に立つ助言があります。

17 神の言葉は，「主と結ばれたあなた方の親に従順でありなさい。これは義にかなったことなのです。『あなたの父と母を敬いなさい』とあり（ます）」と述べています。（エフェソス 6:1，2）これには，両親に対する健全な敬意が含まれます。しかし，親への従順が大切であるとはいえ，それは，まことの神を度外視して示すべきものではありません。子供は自分で決定を下せる年齢に達すると，自分の行動に対して以前よりも大きな責任を担うことになります。このことは，一般の法律に当てはまるだけでなく，神の律法に関して特に当てはまります。聖書は，「わたしたちは各々，神に対して自分の言い開きをすることになるのです」と述べています。—ローマ 14:12。

18 信仰に基づいて生活を変化させるときは，ご両親の考えを理解するよう努力してください。聖書の教えを学んで当てはめた結果，あなたがご両親の求めに以前より丁寧に，従順に，勤勉に応じるようになれば，ご両親はきっと喜ばれるでしょう。とはいえ，あなたが新しい信仰のために，ご両親にとっては大切な信条や習慣を受け入れないことにもなると，お二人は子供に受け継がせようとしていたものが拒絶されていると感じるかもしれません。またご両親はあなたのためを思い，うちの子のしていることは地域社会の不評を買うのではないか，裕福な暮らしを約束するように思える活動にも目を向けなくなるのではないか，と心配するかもしれません。プライドが障害になることもあります。ご両親には，あなたが実質的に，自分は正しくて親は間違っている，と言っているように思えるかもしれません。

19 ですから，なるべく早いうちに，ご両親が地元の会衆の長

18，19 子供が親とは違う宗教を持っている場合，どうすれば親にもっと自分の信仰を理解してもらえますか。

老たちやそのほかの円熟した証人たちと会えるように計画なさってください。ご両親に，王国会館を訪ねて，どんなことが話されているかを自分の耳で聞き，エホバの証人とはどんな人たちなのかを自分の目で見てみるよう勧めてください。そのうちにご両親の態度は和らぐかもしれません。親が断固として反対し，聖書文書を処分したり，子供がクリスチャンの集会に出席するのを禁じたりするとしても，大抵は，どこか別の所で文書を読んだり，仲間のクリスチャンと話したり，他の人に非公式に証言して援助したりする機会があるはずです。エホバに祈ることもできます。若い人の中には，実家を離れて暮らせる年齢になるまで待たなければ，活動を増し加えることのできない人もいます。しかし，家庭内の状況がどうであれ，「あなたの父と母を敬（う）」ことを忘れてはなりません。家庭内の平和に貢献するために，自分の分を果たしましょう。（ローマ 12:17，18）何にもまして，神との平和を求めてください。

複合家族に伴う難しい問題

20 多くの家庭で最大の難問となるのは，宗教ではなく，血のつながりに関係した状況です。今日，片方もしくは両方の親の連れ子が家族の一員となっているところは少なくありません。そういう家庭では，子供たちがねたみや憤りの気持ちを抱くかもしれず，もしかしたら，以前の親と新しい親のどちらに付こうか迷うこともあるでしょう。そのため，良い父親また母親になろうとする継父母の誠実な努力を拒絶するかもしれません。複合家族がうまくやってゆくには，どんなことが助けになるでしょうか。

21 状況が特殊だとしても，ほかの家庭で成功をもたらす聖書

---

20 父親または母親と血がつながっていないとき，子供はどんな感情を抱くかもしれませんか。

21 特殊な状況にあるとはいえ，継父母の立場にある人たちが，聖書の原則に助けを仰ぐべきなのはなぜですか。

の原則は，この場合にも当てはまるということを確信してください。その原則を無視するなら，一時的には問題が軽減したかに思えても，恐らく後に心痛を経験するでしょう。（詩編 127:1。箴言 29:15）知恵と識別力 ― 長期的な益を考慮に入れて，神の定められた原則を当てはめる知恵，そして，家族の者が示す特定の言動の背後にある理由を見定める識別力 ― を培ってください。さらに，感情移入をする必要もあります。―箴言 16:21；24:3。ペテロ第一 3:8。

22 継父母の立場にある方は，かつては家族の友人として，恐らく子供たちが自分になついていた時のことを思い出すでしょう。ところが，その子供たちの親になったとき，子供の態度は変わったかもしれません。子供は，もう一緒に暮らしていない実の親を思い出し，ことによると，すでに去った実の親への愛情を新しい親が拭い去ろうとしているように感じて，どちらの親に付こうか迷う気持ちと闘っているのかもしれません。時にはぶしつけな態度で，あなたは本当の父親じゃない，本当の母親じゃない，と言うかもしれません。そういう言葉には心が痛みます。それでも，『自分の霊にせき立てられて腹を立ててはなりません』。（伝道の書 7:9）子供の感情の問題を扱うためには，識別力や感情移入が必要なのです。

23 これらの特質は懲らしめを与える際にたいへん重要です。首尾一貫した懲らしめは欠かせません。（箴言 6:20；13:1）それに，子供はみな同じではありませんから，懲らしめ方もそれぞれ異なるでしょう。ある継父母たちは，子育てのこの面を扱うのは，少なくとも最初のうちは実の親のほうがいいかもしれない，と考えています。とはいえ，両親が懲らしめに関して同じ考え方を持ち，それを支持し，血のつながっていない子よ

---

22 子供たちが，血のつながっていない親を受け入れにくく思う場合があるのはなぜですか。

23 血のつながっていない子供がいる家庭では，懲らしめをどのように扱えますか。

実の親であっても継父母であっても，聖書に頼り，聖書に導きを求めてください

りも実の子をえこひいきしたりしないことが肝要です。（箴言 24:23）従順は大切ですが，不完全さを考慮に入れることも必要です。過度に感情的になってはなりません。愛の気持ちから懲らしめを与えてください。—コロサイ 3:21。

24 家族の話し合いは，厄介な問題を未然に防ぐのに大いに役立ちます。話し合うことで，家族は生活の中の一番重要なことにいつも目を向けていられます。（フィリピ 1:9-11と比較してください。）その上，家族の目標を達成することに一人一人がどう貢献できるかも分かるようになります。さらに，家族の率直な話し合いによって道徳上の問題を避けることもできます。女の子なら，血のつながっていない父親や兄弟のいるところでどんな服装をし，どのように振る舞ったらよいのかを理解

24 複合家族の中で異性間の道徳上の問題を避けるのに何が役立ちますか。

正式な結婚は尊厳と平和をもたらす

今日，法的な責務を考慮せずに夫婦として一緒に暮らしている男女は少なくありません。新しく信者になった人は，この状況に対処しなければならないかもしれません。そうした結びつきが地域社会や部族の習慣で認められる場合もあるかもしれませんが，それは合法的なことではありません。一方，聖書の規準によれば，結婚は正式に登録することが求められています。（テトス 3:1。ヘブライ 13:4）さらにクリスチャン会衆内の人々に関して，聖書は一夫一婦制の婚姻形態を規定しています。（コリント第一 7:2。テモテ第一 3:2, 12）この規準を守ることが，家庭に平和をもたらすための第一歩です。（詩編 119:165）エホバのご要求は現実離れしているわけでも，過酷なものでもありません。エホバの教えには，わたしたちを益する目的があるのです。—イザヤ 48:17，18。

する必要があります。男の子には，血のつながっていない母親や姉妹に対するふさわしい振る舞いについての助言が必要です。—テサロニケ第一 4:3-8。

25 継父母になるという特別な難問に対処するには，あせってはなりません。新しい関係を育むには時間がかかります。血のつながりのない子供たちからの愛や敬意を得ることは，大変な仕事になる場合があります。しかし，不可能ではありません。複合家族の平和に通じるかぎは，エホバを喜ばせたいという強い願いの伴った，賢明で識別力のある心です。（箴言 16:20）そういう特質は，ほかの状況に対処する上でも役立ちます。

25 複合家族の平和を保つには，どんな特質が役立ちますか。

物質の追求が家庭を分裂させていますか

26 物質的な事柄に関係する問題や態度は，さまざまな方法で家庭を分裂させることがあります。悲惨なことに，お金をめぐる言い争いや金持ちになりたい ― あるいは，少なくともう少し裕福になりたい ― という欲望のために，ばらばらになってしまう家族もあります。夫婦双方が世俗の仕事を持ち，“私のお金，あなたのお金”という態度を取るようになると，分裂が生じるでしょう。言い争いは避けられるとしても，共働きをする夫婦は，自分たちのスケジュールの中にお互いのための時間がほとんど残っていないことに気づくかもしれません。父親が，地元ではとても稼げないお金を稼ぐため，長期間 ― 数か月あるいは数年も ― 家族と離れて暮らすという傾向は世界中で増大しています。このことは非常に深刻な問題に発展しかねません。

27 こうした状況を扱う上で一律に当てはまる規則があるわけではありません。それぞれの家庭によって対処しなければならない圧力や必要は異なるからです。それでも，聖書の助言は助けになります。例えば箴言 13章10節は，「一緒に協議する」ことにより，不必要な闘いをしないですむ場合もあることを示しています。この協議には，単に自分の見方を述べるだけではなく，助言を求めることや，相手がどんな見方をしているのかを知ることも含まれます。さらに，現実に即した予算を立てることも家族の努力を一つに結び合わせるのに役立ちます。子供その他の扶養家族がいる場合は特に，夫婦の双方が時として ― 恐らく，一時的に ― 増えた出費を賄うため外で働くことが必要になります。そういうとき，夫は，それでも妻のために時間が取れなくなることはないと伝えて妻を安心させてあげ

---

26 物質的な事柄に関係する問題や態度は，どのように家庭を分裂させることがありますか。

27 金銭的な圧力を経験している家庭にとって，どんな原則が助けになりますか。

られます。夫は子供たちと一緒に，普通は妻が一人でするような仕事の一部を骨身惜しまず手伝うことができます。—フィリピ 2:1-4。

28 しかし，この事物の体制ではお金は必要だとはいえ，お金が幸福をもたらすのではないことを心に留めておきましょう。お金は決して命を与えてくれません。（伝道の書 7:12）実際，物質的な事柄に重きを置きすぎると，霊的かつ道徳的な破滅を招きかねません。（テモテ第一 6:9-12）生活に必要な物を得るための努力を神が祝福してくださるという確信を保ち，神の王国と神の義を第一に求めるほうがどれほど勝っているかしれません。（マタイ 6:25-33。ヘブライ 13:5）あなたの家庭は何らかの事情で分裂しているかもしれませんが，いつも霊的な関心事を第一にし，何よりも神との平和を求めることにより，一番重要な面で真に一致した家族になれることが分かるでしょう。

28 どんな諭しに従うなら，家族は一致を目指して励むよう助けられますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
家族の者たちが家庭内の平和を保つのに
どのように役立ちますか

クリスチャンは識別力を培う。—箴言 16:21；24:3。

宗教が同じかどうかにかかわりなく，夫婦は結婚生活で愛や敬意を示す。—エフェソス 5:23，25。

クリスチャンは決して故意に神の律法を破らない。—使徒 5:29。

クリスチャンは平和を作る人である。—ローマ 12:18。

すぐに腹を立ててはならない。—伝道の書 7:9。

第 12 章

家庭に害を及ぼす問題も克服できます

古い車を洗ってワックスをかけたばかりです。道行く人には，車はぴかぴかで，新車同様に見えます。ところが，見えないところではさびによる車体の腐食が進んでいます。一部の家庭もこれに似ています。外からはすべて順調に見えますが，恐れや心痛が笑顔の陰に隠れています。閉ざされたドアの向こうでは家庭の平和が破滅的な要素にむしばまれているのです。こうした影響を及ぼし得る二つの問題があります。それは，アルコール依存症と暴力です。

アルコール依存症がもたらす害

2 聖書は，節度を保ってアルコールを飲むことを非としていませんが，酩酊（めいてい）ははっきりと非としています。（箴言 23:20, 21。コリント第一 6:9, 10。テモテ第一 5:23。テトス 2:2, 3）しかし，アルコール依存症は酩酊を超えています。アルコール依存症とは慢性的にアルコール飲料に心を奪われ，飲む量をコントロールできない状態のことです。アルコール依存者は大人の場合もありますが，悲しむべきことに，若者の場合もあります。

3 聖書はずっと以前に，アルコールの誤用が家庭の平和を乱しかねないことを示唆していました。（申命記 21:18-21）家族全体が，アルコール依存症の破滅的な影響を被ります。妻はアルコール依存者である夫の飲酒をやめさせるために，または

---

1 一部の家庭にはどんな隠れた問題がありますか。

2 （イ）聖書はアルコールを飲むことをどう見ていますか。（ロ）アルコール依存症とは何ですか。

3, 4 アルコール依存症の人が配偶者や子供たちに与える影響について説明してください。

夫の予測のつかない行動に対処するために多大の時間を奪われるようになるかもしれません。* お酒を隠したり捨てたり，夫のお金を隠したり，家族や命に対する夫の愛，さらには神に対する夫の愛に訴えたりして頑張りますが，それでもアルコール依存者は飲酒をやめません。夫の飲酒を制御しようと何度努力しても失敗するので，妻は挫折感を味わい，自分は無力だと感じます。恐れ，怒り，罪悪感，神経過敏，不安，自尊心の欠如などに悩まされるようになるかもしれません。

4 子供たちもアルコール依存症の親の影響を免れることはありません。身体的な暴行を加えられる子供もいれば，性的ないたずらをされる子供もいます。親のアルコール依存症を自分のせいにする子供さえいることでしょう。アルコール依存者の気まぐれな振る舞いのために，子供が人を信用できなくなってしまうこともよくあります。家での出来事を気軽に話せないため，子供は自分の感情を抑えつけるようになるかもしれず，そのために体に悪い影響が出ることも珍しくありません。（箴言 17:22）そういう子供は自信や自尊心を持たないまま大人になってゆくかもしれません。

家族は何ができるか

5 多くの権威者によれば，アルコール依存症は治療不能ということですが，権威者の大半は，絶対禁酒をすればある程度の回復は可能であるという点で意見の一致を見ています。（マタイ 5:29と比較してください。）しかし，アルコール依存者に援助を受け入れてもらうのは，口で言うほど簡単ではありません。本人は普通，自分は問題を抱えていないと考えているか

* 本書はアルコール依存者を男性として扱っていますが，この章の中で述べられている原則は女性がアルコール依存者の場合にも等しく当てはまります。

5 アルコール依存症をどのように扱うことができますか。それが難しいのはなぜですか。

らです。とはいえ，家族がアルコール依存症から受けている影響に対処する行動を取るなら，アルコール依存者は自分が問題を抱えていることに気づくようになるかもしれません。アルコール依存者とその家族を助ける点で経験の豊かなある医師は次のように語りました。「一番大切なのは，ただ家族ができる限り健全に日々の生活を送ることだと思います。アルコール依存者は自分と家族のほかの者たちとの大きな違いをいよいよ思い知らされるのです」。

6 家族の中にアルコール依存者がいるなら，あなたができる限り健全な生活を送る上で，霊感を受けた聖書の助言が助けになります。（イザヤ 48:17。テモテ第二 3:16，17）家族がアルコール依存症にうまく対処する上で助けになってきた幾つかの原則を考慮してみましょう。

7 すべてを自分のせいにするのをやめる。聖書は，「人はおのおの自分の荷を負う」，また，「わたしたちは各々，神に対して自分の言い開きをすることになる」と述べています。（ガラテア 6:5。ローマ 14:12）アルコール依存者は，こうなったのは家族のせいだと言わんばかりの態度を取るかもしれません。例えば，「もっと優しくしてくれたら，酒なんか飲むことはないんだ」と言うかもしれません。もし家族の者たちが同意する素振りを見せれば，本人は気を良くして飲み続けるでしょう。しかし，たとえ環境や他の人たちの犠牲者であったとしても，アルコール依存者を含め，わたしたちすべてには自分の行ないに対する責任があるのです。—フィリピ 2:12と比較してください。

8 飲酒が引き起こす結果からアルコール依存者を必ず守る義務があると考えてはならない。慣る人について聖書の述べる，

---

6 アルコール依存者を抱える家族に対する助言を与えるものとして，最も優れているのは何ですか。

7 家族の中にアルコール依存者がいる場合，その責任はだれにありますか。

8 自分の問題の引き起こす結果を直視できるよう，どんな方法でアルコール依存者を助けることができますか。

「たとえその人を救い出しても，あなたはまた何度もそうすることになる」という格言は，アルコール依存症の人にも同じように当てはまるでしょう。（箴言 19:19）アルコール依存者に，自分が飲んだ後にどんなことになったかを実感させてください。自分が汚したものを後始末させたり，飲酒によって事件を起こした翌朝，自分で雇い主に電話をかけさせたりするのです。

9 他の人の援助を受け入れる。箴言 17章17節は，「真の友はどんな時にも愛しつづけるものであり，苦難のときのために生まれた兄弟である」と述べています。ご家族の中にアルコール依存者がいるなら，苦難が生じます。助けが必要です。遠慮せずに，「真の友」の援助に頼ってください。（箴言 18:24）状況を理解してくれる人や，同じような問題に直面したことのある人と話し合えば，すべきこととすべきでないことに関する実際的な提案が得られるでしょう。しかし，平衡を保ってください。信頼できる人，「内密の話」を明かさない人と話し合うことです。—箴言 11:13。

10 クリスチャンの長老たちへの信頼を学ぶ。クリスチャン会衆内の長老たちは大いに力になってくれます。これら円熟した男子は，神の言葉に精通しており，その原則を適用する点で経験を積んでいます。長老たちは，「風からの隠れ場，雨あらしからの隠れ場所，水のない地方における水の流れ，やせた地における重い大岩の陰のように」なることができます。（イザヤ 32:2）クリスチャンの長老たちは，会衆全体を有害な影響から守るだけではなく，問題を抱える個々の人を慰め，元気づけ，個人的な関心を払います。長老たちの援助を十分に活用してください。

11 何にもまして，エホバから力を得る。聖書には，次のよう

9, 10　アルコール依存者を抱える家族が援助を受け入れるべきなのはなぜですか。特にだれの援助を求めるべきですか。

11, 12　アルコール依存者を抱える家族に，最大の助けを与えてくださるのはどなたですか。その援助はどのように与えられますか。

家庭内の問題を
解決する上で，
クリスチャンの
長老たちは
大いに力になる

な心温まる保証の言葉があります。「エホバは心の打ち砕かれた者たちの近くにおられ，霊の打ちひしがれた者たちを救ってくださる」。（詩編 34:18）アルコール依存者と一緒に家族として暮らすことから来る圧力のために，心が打ち砕かれ，霊が打ちひしがれているように感じるなら，『エホバが近くにおられる』ことを確信してください。エホバは，あなたの家族がどんなに難しい状況にあるかをご存じなのです。―ペテロ第一 5:6，7。

12 み言葉の中でエホバが述べておられることを信じるなら，思い煩いに対処するよう助けられます。（詩編 130:3，4。マタイ 6:25-34。ヨハネ第一 3:19，20）神の言葉を学び，その原則に従って生活するなら，神の聖霊の助けを受けられるようになります。聖霊は，一日一日を乗り越えてゆくための『普通を超えた力』を与えてくれるのです。―コリント第二 4:7。*

* 国によっては，アルコール依存者とその家族の援助を専門に扱う治療センター，病院，回復プログラムなどがあります。そういった助けを求めるかどうかは各自が決めることであり，ものみの塔協会は特定の治療法を推奨することはしません。しかし，助けを求めるに当たり，各人は聖書の原則を曲げるような活動に関与しないよう注意を払わなければなりません。

13 アルコールの誤用は，多くの家庭に害を及ぼすもう一つの問題につながることがあります。それは，家庭内暴力です。

家庭内暴力がもたらす害

14 人類史に残る最初の暴力行為は，カインとアベルという二人の兄弟が関係する家庭内暴力でした。（創世記 4:8）以来人間は，あらゆる形の家庭内暴力に悩まされてきました。妻を殴打する夫もいれば，夫を襲う妻もいます。幼い子供を惨たらしく殴る親，成長してから老齢の親を虐待する子供もいます。

15 家庭内暴力がもたらす害は，体の傷よりもはるかに広範に及びます。夫に殴打されている一人の妻はこう述べました。「ひどい罪悪感や恥ずかしさに対処しなければなりません。朝は大抵，ベッドを離れたくありません。あれはただの悪い夢だったと思いたいのです」。家庭内暴力を目にする，あるいは経験する子供は，成長して家庭を持ったとき，自分自身も暴力を振るうかもしれません。

16 家庭内暴力は，身体的虐待にとどまりません。言葉による攻撃の場合もしばしばあります。箴言 12章18節は，「剣で突き刺すかのように無思慮に話す者がいる」と述べています。家庭内暴力を特色づける，この「突き刺す」ことには，悪口を言ったり，怒鳴ったり，絶えず批判したり，侮辱するような言葉を吐いたり，身体的暴行を加えると言って脅したりすることなどが含まれます。感情に加えられる暴力の傷は目に見えないため，多くの場合，他の人は気づきません。

17 特に嘆かわしいのは，子供の感情に加えられる虐待です。つまり，子供の能力や知性や人としての価値などについて，絶えず批判したりけなしたりすることです。言葉によるそうし

---

13 多くの家庭に害を及ぼす，二つ目の問題は何ですか。
14 家庭内暴力はいつ始まりましたか。現在ではどんな状況が見られますか。
15 家庭内暴力は，家族にどんな感情的影響を及ぼしますか。
16, 17 感情的虐待とは何ですか。それは家族にどんな影響を及ぼしますか。

た虐待は，子供の気力を失わせる可能性があります。確かに，どんな子供にも懲らしめが必要です。しかし，聖書は父親に，「あなた方の子供をいらいらさせて気落ちさせることのないようにしなさい」と諭(さと)しています。―コロサイ 3:21。

家庭内暴力を未然に防ぐ方法

18 家庭内暴力は，心と思いに端を発します。つまり，わたしたちの行動の仕方は，わたしたちの考え方から始まるのです。(ヤコブ 1:14，15) 暴力行為をなくすには，虐待を加える人が考え方を変えなければなりません。(ローマ 12:2) それは可能でしょうか。可能です。神の言葉には人を変化させる力があります。「強固に守り固めた」破壊的な考え方でさえ，根こぎにすることができるのです。(コリント第二 10:4。ヘブライ 4:12) 聖書の正確な知識により，人々は，新しい人格を着けていると言われるほどの完全な変化を遂げられます。―エフェソス 4:22-24。コロサイ 3:8-10。

19 配偶者に対する見方。神の言葉は，「夫は自分の体のように妻を愛すべきです。妻を愛する人は自分自身を愛しているのです」と述べています。(エフェソス 5:28) 聖書はさらに，夫が妻に『弱い器として誉れを』配するべきであるとも述べています。(ペテロ第一 3:7) 妻のほうは，「夫を愛し」，夫に「深い敬意」を持つよう諭(さと)されています。(テトス 2:4。エフェソス 5:33) 神を恐れる夫なら，妻を身体的に，また言葉によって攻撃しておきながら，自分は本当に妻に誉れを配している，と正直には言えないはずです。また，夫に対して金切り声を上げたり，皮肉を言ったり，絶えず小言を言ったりしている妻はだれも，本当に夫を愛し，敬っているとは言えません。

---

18 家庭内暴力はどこに端を発していますか。聖書は，家庭内暴力をなくすためのどんな方法を示していますか。

19 クリスチャンは，配偶者をどのようにみなし，どのように扱うべきですか。

20 子供に対する正しい見方。子供は，親の愛や注意を当然受けるべきですし，またそれを必要としています。神の言葉は，子供たちを「エホバからの相続物」，また「報い」と呼んでいます。（詩編 127:3）親は，エホバのみ前でその相続物の世話をする責任を負っています。聖書は，「みどりごの時のこと」や，少年時代の「愚かさ」について述べています。（コリント第一 13:11。箴言 22:15）親は，子供たちの愚かさに出くわすとしても，面食らってはなりません。子供たちは，まだ大人ではないのです。親は，子供の年齢や，生い立ちや，能力に見合った事柄以上のものを求めるべきではありません。—創世記 33:12-14をご覧ください。

21 年老いた親に対する見方。レビ記 19章32節は，「あなたは白髪（しらが）の前では立ち上がるべきである。また，老人の身を思いや（ら）ねばならない」と述べています。このように神の律法は，お年寄りに対する敬意や深い尊敬の念を培わせました。こうして敬意を払うことは，年老いた親が過度に要求的に思えたり，病気で動作や思考が鈍くなったりしているような場合，試みになるかもしれません。それでも子供は，「親……に当然の報礼をしてゆく」よう諭されています。（テモテ第一 5:4）これは，親の尊厳を認めつつ敬意をもって扱うこと，場合によっては経済的に養うことも意味するでしょう。年老いた親を身体的に，またその他の方法で虐待することは，聖書がわたしたちに命じている行ないと全く相反します。

22 自制心を培う。箴言 29章11節は，「愚鈍な者は自分の霊をさらけ出し，賢い者は最後までこれを穏やかに保つ」と述べています。自分の霊をどのように抑えることができますか。

---

20 親は子供たちに関してだれの前に責任を負っていますか。親が子供に現実離れした期待をかけるべきでないのはなぜですか。

21 年老いた親およびその扱いについての敬虔な見方とはどんなものですか。

22 家庭内暴力を克服するかぎとなるのはどんな特質ですか。その特質をどのように働かせることができますか。

いざこざが生じたなら，内心でいらいらを募らせるのではなく，すぐに解決するようにしましょう。（エフェソス 4:26, 27）自分で自制心を失っているように感じるなら，その場を立ち去ることです。自制心を持てるよう，神の聖霊を祈り求めてください。（ガラテア 5:22, 23）散歩に出かけたり，何かの運動をしたりすることは，感情を抑える助けになるかもしれません。（箴言 17:14, 27）「怒ることに遅（く）」あるよう努めてください。—箴言 14:29。

別居するか，一緒にいるか

23 聖書は，神が非としておられる業として，「敵意，闘争，……激発的な怒り」を挙げ，「そのような事柄を習わしにする者が神の王国を受け継ぐことはありません」と述べています。（ガラテア 5:19-21）ですから，クリスチャンであると唱えながら，恐らく配偶者や子供に対する身体的虐待を含む，暴力を伴う激発的な怒りに繰り返し屈し，悔い改めない人は，だれであれクリスチャン会衆から排斥される可能性があります。（ヨハネ第二 9，10と比較してください。）こうして会衆は，虐待する者のいない状態に保たれます。—コリント第一 5:6, 7。ガラテア 5:9。

24 クリスチャンが現在，虐待を加える配偶者に殴打されており，しかもその配偶者は一向に変わる様子がない場合はどうですか。虐待を加える配偶者と一緒にいることを何らかの理由で選んだ人もいれば，自分の身体的，精神的，霊的健康が — もしかしたら命さえも — 危険にさらされると考えて，そのもとを去ることにした人もいます。家庭内暴力の被害者がこうし

---

23 クリスチャン会衆の成員が，恐らく家族に対する身体的虐待を含む，暴力を伴う激発的な怒りに繰り返し屈し，悔い改めないなら，どうなる可能性がありますか。

24 （イ）配偶者に虐待されている人は，どんな道を選ぶかもしれませんか。（ロ）配偶者に虐待されている人を気遣う友人や長老たちは，どんな援助を差し伸べるかもしれませんか。しかし，どんなことをすべきではありませんか。

愛や敬意を示し合うクリスチャンの夫婦は，いざこざをすぐに解決するようにする

た状況下でどんな道を選ぶかは，エホバのみ前で各自が決めることです。（コリント第一 7:10, 11）友人や親族，それにクリスチャンの長老たちは，善意から助けや助言を与えたいと思うかもしれませんが，特定の行動を取るよう被害者に圧力をかけるようなことはすべきではありません。それは，本人が自分で決めることです。—ローマ 14:4。ガラテア 6:5。

害を及ぼす問題はなくなる

25 エホバはアダムとエバを結婚によって結びつけられたとき，アルコール依存症や暴力といった有害な問題によって家庭

25 エホバは家庭についてどんなことを意図しておられますか。

がむしばまれることなど，決して意図されませんでした。（エフェソス 3:14, 15）家庭は，愛や平和のみなぎる場所，家族一人一人の精神的，感情的，霊的な必要が顧みられる場所となるはずでした。しかし，罪が入り込んできたため，家庭生活はたちまち悪化してしまいました。—伝道の書 8:9と比較してください。

26 幸いなことに，エホバは家庭についてのご自分の意図を断念されることはありませんでした。エホバは平和な新しい世を招来することを約束しておられます。そこでは，人々は「だれにもおののかされることなく，実際に安らかに住む」のです。（エゼキエル 34:28）その時，アルコール依存症，家庭内暴力その他，今日の家庭に害を及ぼしている問題はすべて過去のものになります。人々は恐れや心痛を隠すためではなく，「豊かな平和にまさに無上の喜び」を見いだすゆえにほほえむのです。—詩編 37:11。

26 エホバのご要求に従って生きるよう努める人には，どんな将来が待っていますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
家族が深刻な害をもたらす問題を避けるのに
どのように役立ちますか

エホバはアルコールの誤用を非としておられる。
—箴言 23:20, 21。

各人には自分の行ないに対する責任がある。
—ローマ 14:12。

自制心がないなら，神に受け入れられる仕方で
仕えることはできない。—箴言 29:11。

真のクリスチャンは年老いた親を敬う。—レビ記 19:32。

第 13 章

結婚が破局の瀬戸際にあるとき

それは1988年のことです。ルチアという名のイタリア人女性は，ひどく落胆していました。* 10年間の結婚生活が終わりを迎えようとしていたのです。夫とは何度も和解しようとしましたが，うまくゆきませんでした。それで，性格の不一致を理由に別居し，二人の娘を独りで育てることになりました。ルチアは当時を振り返って，「私たちの結婚を救えるものなど絶対にないと思っていました」と語っています。

2 あなたも結婚生活で問題を抱えておられるなら，ルチアの気持ちがお分かりになるでしょう。結婚生活が順調にゆかないため，自分たちの結婚は今でもまだ救えるのだろうかと考えておられるかもしれません。もしそうなら，こう自問するのが有益であることに気づかれるでしょう。自分は，神が聖書を通して与えておられる，実りある結婚生活のための的確な助言すべてに従ってきただろうか。—詩編 119:105。

3 夫婦間の緊張が高じると，結婚を解消するのが一番手っ取り早い方法に思えるかもしれません。しかし，多くの国で家族の分裂が衝撃的な増加を見せてきた一方，最近の調査によれば，離婚した男女で，別れたことを後悔している人はかなりの割合を占めています。離婚した人たちの場合，かなりの人が，結婚生活を続ける人よりも心身両面の健康に関係した多くの問題に悩まされます。両親の離婚を経験した子供たちが味わう困惑や悲しみは，多くの場合何年も続きます。分裂した家族

* 名前は変えてあります。

1, 2　結婚生活が緊迫した状態にあるなら，どのように自問すべきですか。
3　離婚が増えてきたとはいえ，多くの離婚した人やその家族が示すどんな反応について報告されていますか。

問題は速やかに扱ってください。あなたが怒り立ったまま日が沈むことのないようにしてください

の親や友人たちもつらい思いをします。では，結婚の創始者であられる神は，こうした状況をどうご覧になるのでしょうか。

4 これまでの章の中で指摘されていたように，神は，結婚のきずながいつまでも続くものとなるよう意図されました。（創世記 2:24）では，破綻をきたす結婚がこれほど多いのはなぜでしょうか。一夜にしてそうなるのではないでしょう。大抵は，危険を知らせる兆候が見られるものです。結婚生活での小さな問題が，克服し難く思えるほどにどんどん大きくなることもあります。しかし，聖書の助けを借りてこうした問題を速やかに扱うなら，多くの結婚は破綻をきたさずにすむでしょう。

現実をしっかり見据える

5 時として問題を引き起こす要素となるのは，夫婦の片方あ

---

4 結婚生活での問題をどのように扱うべきですか。

5 どんな結婚生活でも，どのような現実の状況に立ち向かわなければなりませんか。

るいは双方が抱くことのある，現実離れした期待です。恋愛小説，大衆誌，テレビ番組，映画などが，現実の生活とはかけ離れた希望や夢を抱かせることがあります。こうした夢が実現しないと，だまされたとか満たされないと感じるだけでなく，恨みを抱くことさえあります。しかし，どうすれば二人の不完全な人間が結婚生活に幸福を見いだせるのでしょうか。良い関係を築き上げるには，努力が必要です。

6 聖書は現実的な本です。結婚に伴う喜びを認めてはいますが，結婚する人は「自分の肉身に患難を招く」とも警告しています。（コリント第一 7:28）すでに触れたように，夫婦はどちらも不完全で，罪を犯す傾向を持っています。精神的，感情的な造りも，育てられ方もそれぞれ異なります。お金のこと，子供のこと，お互いの家族のことで意見が食い違うこともあります。一緒に何かをする時間が少ないことや，性に関する問題が衝突の原因になる場合もあります。* そういう事柄を取り扱うには時間がかかります。しかし，元気を出してください。大抵の夫婦は，そうした問題に取り組むことができ，互いに納得のゆく解決策を見いだしているのです。

食い違いについて話し合う

7 多くの人は，感情が傷つけられたことや誤解，個人の失敗などについて終始冷静な態度で話し合うのは難しいと感じています。配偶者は，単刀直入に「自分は誤解されていると思う」と言うかわりに，感情的になって，問題を大げさに言うか

---

* これらの面のあるものは，すでにこれまでの章で扱われました。

---

6 （イ）聖書は結婚に関してどんな平衡の取れた見方を教えていますか。（ロ）結婚生活における意見の食い違いが生じる理由としては，どんなものがありますか。

7，8 夫婦の間で感情が傷つけられたり，誤解が生じたりするなら，どんな聖書的な方法でそれらを扱えますか。

もしれません。「君は自分のことしか考えていないんだ」とか，「私のこと，愛していないのね」と言う人が多いことでしょう。口論になるのが嫌で，配偶者は何も答えないかもしれません。

8 それよりも，聖書の次の助言に注意を払うほうが勝っています。「憤っても，罪を犯してはなりません。あなた方が怒り立ったまま日が沈むことのないようにしなさい」。（エフェソス 4:26）ある幸福な一夫婦は，結婚60周年を迎えたときに夫婦円満の秘訣を尋ねられました。夫は，「どんなにささいな問題でも，意見の食い違いを解決するまでは床に就かないようにしました」と語りました。

9 夫と妻の意見が食い違うなら，双方が「聞くことに速く，語ることに遅く，憤ることに遅くある」必要があります。（ヤコブ 1:19）話をよく聴けば，夫婦の双方が謝る必要のあることが分かるかもしれません。（ヤコブ 5:16）心から，「不愉快にさせてしまってごめんなさい」と言うには，謙遜さと勇気が求められます。しかし，意見の食い違いをこのように扱うことは，夫婦が自分たちの問題を解決する上でも，二人が温かで親密な関係を培い，一緒にいることをもっと楽しいと感じるようになる上でも，非常に効果的です。

結婚の分を与える

10 使徒パウロがコリント人に手紙を書いたとき，彼は，『淫行がはびこっていたため』結婚を勧めました。（コリント第一 7:2）現代の世は，古代のコリントと同様に，あるいはそれ以上に悪くなっています。世の人々が公然と口にする不道徳

---

9 （イ）聖書では，コミュニケーションに不可欠な要素は何であるとされていますか。（ロ）たとえ勇気や謙遜さが求められるとしても，夫婦はしばしば何をする必要がありますか。

10 パウロがコリントのクリスチャンに勧めたどんな保護策は，今日のクリスチャンにも当てはまるかもしれませんか。

な話題，慎みのない服装，雑誌，本，テレビ，映画が大々的に取り上げる肉欲をそそるストーリーなどすべてが一緒になって，不義の性欲をかき立てています。使徒パウロは似たような環境の中で生活していたコリント人に対して，「情欲に燃えるよりは結婚するほうが良い」と述べました。一コリント第一 7:9。

11 ですから，聖書は結婚したクリスチャンに，「夫は妻に対してその当然受けるべきものを与えなさい。また妻も夫に対して同じようにしなさい」と命じています。（コリント第一 7:3）要求することではなく，与えることが強調されている点に注目してください。結婚における肉体的に親密な関係は，夫婦双方がお互いのためを考えるときに初めて，本当に満足のゆくものになります。例えば，聖書は夫たちに，「知識にしたがって」妻を扱うよう命じています。（ペテロ第一 3:7）このことは，結婚の分を与えたり受けたりすることに特に当てはまります。思いやり深く扱われないなら，妻は結婚生活のこの面を楽しむのが難しいと感じるかもしれません。

12 時として，夫婦が配偶者に結婚の分を与えるのを控えなければならないこともあるでしょう。このことは妻の場合，毎月の決まった時期や，非常に疲れているときなどに当てはまるかもしれません。（レビ記 18:19と比較してください。）夫の場合は，仕事上の重大な問題を扱っていて，精根尽き果てているときなどに当てはまるでしょう。そのように，結婚の分を与えることを一時的に差し控えるという問題を扱うときは，二人が状況について率直に話し合い，『相互の同意』に達するのが最善です。（コリント第一 7:5）そうすれば，夫婦のいずれも，性急に間違った結論を出すことはないでしょう。しかし，妻が

11, 12 （イ）夫と妻は互いに何を負っていますか。どんな態度でそれを与えるべきですか。（ロ）結婚の分を一時的に差し控えなければならない場合，その状況をどのように扱うべきですか。

意識的に結婚の分を夫に与えなかったり，夫が結婚の分を与える際，故意に愛情深い方法を取らなかったりするなら，配偶者は誘惑に陥りやすくなるかもしれません。そういう状況下では，結婚生活の問題が生じる可能性があります。

13 すべてのクリスチャンと同様，結婚している神の僕(しもべ)も，不自然で汚れた欲望を生じさせかねないポルノを避けなければなりません。（コロサイ 3:5）また，異性のだれと接するときでも，自分の考えや行動に注意しなければなりません。イエスはこう警告なさいました。「女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな，すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです」。（マタイ 5:28）夫婦が性に関する聖書の助言を当てはめるなら，誘惑に負けて姦淫を犯すような事態は避けられるはずです。そして引き続き，結婚における喜ばしい親密な関係を楽しむことができます。そのような結婚生活において，性は結婚の創始者であられるエホバからの健全な賜物(たまもの)として大切にされるのです。—箴言 5:15-19。

離婚の聖書的な根拠

14 幸い，クリスチャンの結婚生活では，どんな問題が生じても大抵は解決できます。しかし，そのようにはゆかない時もあります。人間は不完全であり，サタンの支配下にある罪深い世で生活しているため，破局の瀬戸際にある結婚も確かにあります。（ヨハネ第一 5:19）クリスチャンは，どのようにそうした厳しい状況に対処すべきでしょうか。

15 本書の2章で触れたように，再婚が可能な離婚の唯一の聖

---

13 クリスチャンは自分の考えを清く保つため，どんな努力を払うことができますか。

14 時々，どんな悲しむべき状況が生じますか。なぜですか。

15 （イ）再婚が可能な離婚の唯一の聖書的な根拠は何ですか。（ロ）ある人たちが，不貞を働いた配偶者と離婚しないことにしたのはなぜですか。

書的な根拠となるのは，淫行です。*（マタイ 19:9）配偶者が不貞を働いたという確かな証拠があるなら，難しい決定を迫られることになります。結婚関係を続けますか。それとも離婚しますか。規則はありません。あるクリスチャンたちの場合，本心から悔い改めた配偶者を完全に許しました。そして破局を免れた結婚生活の状況は好転しました。子供のためを思って，離婚しないことにした人もいます。

16 一方，罪深い行為によって妊娠したり，性感染症にかかったりした人がいるかもしれません。また，もしかすると，性的な虐待を加える親から子供を守る必要があるかもしれません。決定を下す前に考慮すべきことがたくさんあるのは明らかです。しかし，配偶者の不倫を知った上で，その後また配偶者と性関係を持つことは，配偶者の罪を許したこと，そして結婚関係を続ける願いのあることを示します。聖書的な再婚の可能性を伴う離婚の根拠はもはや存在しなくなります。だれも，おせっかいを焼いてあなたの決定を左右しようとすべきではありませんし，下された決定を批判すべきでもありません。あなたは，自分の下した決定がどんな結果になろうと，それを受け入れなければなりません。「人はおのおの自分の荷を負うのです」―ガラテア 6:5。

別居の根拠

17 配偶者が淫行を犯していない場合でも，その配偶者との別

*「淫行」と訳されている聖書の用語には，姦淫，同性愛，獣姦，そのほか性器の使用が関係する意識的な不義の行為が含まれています。

16 （イ）どんなことが要因となって，ある人たちは過ちを犯した配偶者との離婚を決意しましたか。（ロ）夫婦のうち潔白なほうの側が離婚することにしても，しないことにしても，だれもその決定を批判すべきでないのはなぜですか。

17 淫行が犯されたのではない場合，聖書は別居や離婚について，どんな制約を課していますか。

居，あるいは，ことによると離婚が正当とされる状況があるでしょうか。確かにあります。しかし，その場合，クリスチャンには再婚する目的で別の異性との交際を求める自由はありません。（マタイ 5:32）聖書はそうした別居を許しているものの，離れて行く人に，「結婚しないでいるか，さもなければ……和解」すべきことを条件として求めています。（コリント第一 7:11）別居が当を得ているように思われる極端な状況としては，どんなものがあるでしょうか。

18 例えば，夫の徹底した怠慢や悪い習慣のために，家族は窮乏するかもしれません。* 夫が家族の収入をギャンブルで使い果たしたり，麻薬やアルコールにふけるために用いたりすることもあるでしょう。聖書は，「自分の家の者に必要な物を備えない人がいるなら，その人は信仰を否認していることになり，信仰のない人より悪いのです」と述べています。（テモテ第一 5:8）そういう生き方を変えようとせず，妻が稼いだお金を自分の悪習の資金にするようなことまでするなら，妻は法的に正式な別居をして，自分と子供たちの幸福を守る道を選ぶことができます。

19 夫婦の一方が，配偶者の健康や，時には命さえ危険にさらすほど何度も殴ったりするような，極端に暴力的な場合にも，そうした法的な措置を考慮できます。さらに，配偶者が絶えず何かの方法で神の命令を強引に破らせようとする場合，脅されている側は，とりわけ霊的な生活が危険にさらされるほど事態が深刻化しているなら，やはり別居を考慮できます。危険にさらされているほうの人は，法的に正式な別居をする

* これには，夫が，病気や就職口がないことなど，自分ではどうにもならない事情のために，誠意はあっても家族を扶養できないというような状況は含まれません。

18，19 再婚の可能性はなくても，夫婦の一方は，どんな極端な状況にある場合，法的に正式な別居や離婚の正当性を慎重に考慮することができますか。

ことが，「自分たちの支配者として人間より神に従（う）」ための唯一の手段であると判断するかもしれません。―使徒5:29。

20 結婚生活における極端な虐待に関してはどんな場合でも，だれであれ，潔白な側の人に圧力をかけ，相手と別居するか否かを決めさせるべきではありません。円熟した友人や長老たちは，援助や聖書に基づいた助言を与えることはできますが，その人たちも，夫婦の間で起きていることの一部始終を知ることはできません。それが分かるのは，エホバだけです。もちろん，クリスチャンである妻が，結婚生活から逃げ出すために見え透いた口実を使うとすれば，神の定められた結婚の取り決めを尊んでいないことになります。しかし，極端に危険な状況がいつまでも続くなら，妻が別居を選んだとしても，だれもその人を批判すべきではありません。夫の立場にあるクリスチャンが別居を求める場合についても全く同じことが言えるでしょう。「わたしたちはみな，神の裁きの座の前に立つことになるのです」―ローマ 14:10。

一度破綻した結婚がどのように救われたか

21 前述のルチアは，夫と別居してから3か月後にエホバの証人に会い，証人たちと聖書を研究するようになりました。ルチアはこう説明しています。「たいへん驚いたことに，聖書は私の抱える問題に実際的な解決策を与えてくれました。研究してからたった1週間で，すぐに夫と仲直りしたくなりました。今の私は，エホバは危機にある結婚を救う方法をご存じだと言うことができます。エホバの教えのおかげで，夫婦はどのよう

---

20 （イ）家族が分裂するような場合，円熟した友人や長老たちには何ができますか。何をするべきではありませんか。（ロ）既婚者は，聖書が別居や離婚について述べていることを，何の口実にするべきではありませんか。

21 結婚に関する聖書の助言が実際に役立つことは，どんな経験に示されていますか。

にお互いに敬意を抱けるようになるかが分かるからです。エホバの証人は家庭を分裂させると言う人もいますが，実際はそうではありません。私の場合は全くその逆でした」。ルチアは聖書の原則を生活に当てはめることを学んだのです。

22 ルチアの経験は例外的なものではありません。結婚は重荷ではなく，祝福になるはずです。その目的でエホバは，これまでに記された，結婚に関する助言の最も優れた資料を備えてくださいました。それは，ご自分の貴重なみ言葉です。聖書は「経験のない者を賢く」することができます。（詩編 19:7-11）聖書は，破局の瀬戸際にあった多くの結婚を救い，深刻な問題のあった他の多くの結婚生活を向上させてきました。すべてのご夫婦が，エホバ神の与えておられる結婚に関する助言に全幅の信頼を寄せることができますように。その助言は，実際に役立つのです。

22 すべての夫婦は何に信頼を寄せるべきですか。

ここに挙げた聖書の原則は……
結婚の破綻（たん）を避けるのにどのように役立ちますか

結婚は喜びを生じさせることも，
患難を生じさせることもある。—箴言 5:18, 19。
コリント第一 7:28。

意見の食い違いをすぐに扱うべきである。
—エフェソス 4:26。

話し合うとき，聴くことは話すことと同じほど重要。
—ヤコブ 1:19。

結婚の分は，利他的な思いやり深い態度で
与えなければならない。—コリント第一 7:3-5。

第 14 章

二人で年を重ねてゆく

年を取るにつれ，人間にはさまざまな変化が生じます。体が弱くなれば，活力も衰えます。鏡を見るたびに，しわが増えたり，髪がだんだん白くなったり，時には薄くなったりしているのが分かります。忘れっぽくなることもあります。子供たちが結婚すると新たな親戚ができ，孫ができれば，またその輪が広がることになります。退職したため，生活のリズムが変わる人もいます。

2 実際，年を取ることは試練となることがあります。（伝道の書 12:1-8）それでも，聖書時代の神の僕たちのことを考えてみてください。最後には亡くなったものの，彼らは知恵と理解力を得，そのために老年期に大いに満ち足りた日々を送りました。（創世記 25:8；35:29。ヨブ 12:12；42:17）神の僕たちはどうして幸福のうちに年を重ねることができたのでしょうか。それは，今日では聖書に記録されている原則に調和して生活したからにほかなりません。—詩編 119:105。テモテ第二 3:16，17。

3 使徒パウロはテトスにあてた手紙の中で，老年期にさしかかっている人たちに健全な導きを与え，こう書きました。「年取った男子は習慣に節度を守り，まじめで，健全な思いを持ち，信仰と愛と忍耐の点で健全であるべきです。同じように，年取った婦人も恭しく振る舞い，人を中傷したり大酒の奴隷となったりせず，良いことを教える者であるべきです」。（テトス 2:2，3）この言葉に注意を払うことは，年を取るという難しい問題に取り組む助けになります。

1，2 （イ）老年期が近づくにつれ，どんな変化が生じますか。（ロ）聖書時代の敬虔な人々は，どのようにして老年期に満足を見いだしましたか。
3 パウロは年長の男女にどんな助言を与えましたか。

子供の独り立ちに順応する

4 役割が変わるときは順応性が求められます。成人した子供が家を離れて結婚するときはまさにそうです。そのときに初めて，自分たちが老年期にさしかかっていることを実感する親は少なくありません。子供が一人前になったことをうれしく思う反面，親はしばしば，子供の独り立ちに備えて十分のことをしてやれただろうかと心配になるものです。また，子供たちが家にいないことを寂しく思うかもしれません。

5 当然のことですが，親は子供が家を離れてからも，ずっと子供の幸せを気にかけています。一人の母親は，「子供たちからちょくちょく連絡があって，元気でいることさえ分かれば，それでいいのです」と言いました。ある父親はこう語っています。「娘が家を離れたときは，たいへんつらい思いをしました。それまでは何をするにも一緒でしたから，家族に大きな穴が開いたようでした」。こうした親たちは，子供が抜けた後の状況にどのように対処してきたのでしょうか。多くの場合，他の人に関心を払うように努め，他の人を援助することによって対処してきました。

6 子供が結婚すると，親の役割は変わります。創世記 2章24節は，「男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き，ふたりは一体となるのである」と述べています。頭の権やふさわしい秩序に関して神の定められた原則を認めるなら，親は物事の正しい釣り合いを保ちやすくなります。一コリント第一 11:3; 14:33, 40。

7 ある夫婦は，二人の娘が嫁いで引っ越してからというもの，生活に空しさを感じていました。初めのうち夫は，娘婿た

4, 5 子供が家を離れると，多くの親はどんな反応を示しますか。ある人たちはどのように新たな状況に順応していますか。

6 どうすれば家族関係の正しい釣り合いを保ちやすくなりますか。

7 ある父親は，娘たちが結婚して家を出たとき，どんなりっぱな態度を培いましたか。

ちを恨んでいました。しかし，頭の権に関する原則をよく思い返し，娘の家庭のどちらも今は娘婿に責任があることをはっきりと理解しました。ですから，娘にアドバイスを求められたときも，まず夫がどう考えているのかを娘に尋ね，それから，必ずできるだけのことをして協力しました。今では，娘婿たちは義理の父親を友とみなし，その助言を喜んで受け入れています。

8 結婚したばかりの子供たちが，聖書に反することはしないものの，親として最善と思える事柄を行なわない場合はどうですか。結婚した子供を持つある夫婦は，「私たちはいつも，子供たちがエホバの物の見方を理解できるよう助けています。でも，子供の下した決定に同意できないときも，その決定を受け入れ，子供を援助し，励まします」と説明しています。

9 アジアのある国々には，息子が独立したことを受け入れるのは特に難しいと感じる母親がいます。しかし，そうした母親も，キリスト教の定める秩序や頭の権を念頭に置くなら，息子の嫁との摩擦を最小限に抑えられることに気づきます。あるクリスチャンの婦人は，息子たちが独立して家を出てゆくことに対して，「本当に感謝が深まるばかり」だと感じています。そして，子供たちが新しい住まいでの生活を上手に切り盛りできる様子を見て，たいへん喜んでいます。また，子供が独立することにより，この夫婦が年を重ねるにつれて抱えることになる心身両面の負担は軽くなりました。

結婚のきずなを再び強める

10 中年になったときの反応は人によってさまざまです。若作りにする男性もいます。多くの女性は，更年期がもたらす変化を気に病みます。嘆かわしいことに，中年層の中には，若い

8, 9 ある親は，成長した子供の独り立ちにどのように順応してきましたか。
10, 11 中年の時期の幾つかのわなを避けるのに，聖書のどんな助言が役立ちますか。

年を重ねてゆくほどに，愛を確かめ合う

異性と悪ふざけをして配偶者の怒りや嫉妬心をあおり立てる人もいます。しかし，敬虔な年長の男子は，「健全な思いをもち」，間違った欲望を抑えます。（ペテロ第一 4:7）円熟した婦人たちも同様に，夫に対する愛やエホバを喜ばせたいという願いから，安定した結婚生活を維持することに努めます。

11 レムエル王は霊感のもとに，「命の日の限り，悪ではなく，善をもって」夫に報いる「有能な妻」に対する賛辞を記録しました。クリスチャンである夫は，妻が中年の時期に経験するどんな感情の乱れにも対処しようと努力する姿勢を必ず高く評価します。夫は愛に動かされて『妻を称賛する』のです。箴言 31:10，12，28。

12 子育てに明け暮れていた間は，夫も妻も子供の必要を満たすために，自分のしたいことを喜んで後回しにしてきたかもしれません。子供が巣立った後は，もう一度，二人の結婚生活

12 年月がたつにつれて，夫婦はどのようにさらに仲むつまじくなれますか。

に目を向ける時です。ある夫は，「娘たちが家にいなくなったとき，私は妻との交際をまた一から始めました」と述べています。別の夫はこう語っています。「私たちは互いの健康に気を配り，運動が必要だと互いに声をかけ合っています」。寂しい思いをしないようこの夫婦は会衆の他の成員を親切にもてなしています。確かに，他の人に関心を示すことは祝福をもたらします。それだけでなく，エホバを喜ばせることにもなります。—フィリピ 2:4。ヘブライ 13:2，16。

13 夫婦間の溝ができるのを許してはなりません。二人で心置きなく話し合ってください。（箴言 17:27）一人の夫は，「互いにいたわり合い，気遣い合って，理解を深めています」と述べています。この人の妻もそれに同意して，こう言っています。「互いに年を重ねるにつれて，楽しく一緒にお茶を飲んだり，話したり，協力したりするようになりました」。率直で包み隠しのない態度は，結婚のきずなを強めるのに役立ちます。結婚の破壊者サタンの攻撃をはねのける力が結婚のきずなに与えられるのです。

お孫さんと楽しい時を過ごしてください

14 孫は，お年寄りの「冠」です。（箴言 17:6）孫と一緒に過ごす時間は，本当に楽しいものとなり得ます。活気に満ちたさわやかな時となり得るのです。聖書は祖母の立場にあったロイスを褒めています。ロイスは娘のユニケと共に，幼い孫のテモテに自分の信仰を伝えました。この若者は，母親も祖母も聖書の真理を高く評価しているという確信のうちに成長しました。—テモテ第二 1:5；3:14，15。

---

13 夫婦が共に年を重ねてゆくとき，率直さや包み隠しのない態度はどんな役割を果たしますか。

14 テモテの祖母は，テモテがクリスチャンとして成長する上でどんな役割を果たしたと思われますか。

15 それで，祖父母には非常に貴重な貢献のできる特別の分野があります。祖父母の立場にある皆さんは，すでに，エホバの目的に関するご自分の知識を子供たちに伝えてきました。今度は，さらにもう一つの世代に対して同じようにすることができるのです。多くの幼い子供たちは，おじいちゃんやおばあちゃんが話してくれる聖書の物語を，胸を躍らせながら聞くものです。もちろん，子供に聖書の真理を教え込むという父親の責任を横取りしてはなりません。（申命記 6:7）むしろ，その責任を補うのです。次の詩編作者の祈りをあなたの祈りとすることができますように。「神よ，老齢と白髪に至るまでもわたしを捨てないでください。後の世代にあなたのみ腕について，来たるべき者たちすべてにあなたの力強さについてわたしが語るまで」。―詩編 71:18；78:5，6。

16 悲しいことに，幼い孫を甘やかしすぎて，成人した子供たちとの関係を悪化させてしまう祖父母もいます。しかし，あなたが心から親切にすれば，孫たちは，親にはあまり話したくないことでも，あなたには気軽に打ち明けられると思うかもしれません。時々年若い子供は，自分に甘い祖父母が親に反して自分の味方になってくれたらいい，と思います。では，どうすればよいのでしょうか。知恵を働かせ，孫には，何でも親に話すよう勧めてください。そうすればエホバに喜ばれる，ということを説明できます。（エフェソス 6:1-3）必要なら，ご自分のほうから親に話をして，年若い子供たちが親に近づけるようにしてあげられるかもしれません。長年の経験を通して学んできたことを，ざっくばらんに孫に話しましょう。あなたの正直さや率直さはお孫さんの益になるのです。

---

15 孫に関して，祖父母はどんな貴重な貢献ができますか。しかし，どんなことは避けるべきですか。

16 どうすれば祖父母は家庭内の緊張を引き起こさずにすみますか。

老化に順応する

17 歳月を経るにしたがって，人は以前していたことや，やりたいと思っていることが全部はできなくなることに気づきます。どうしたらこの老化の過程を甘受できるのでしょうか。気持ちは30歳かもしれませんが，鏡を見ると現実はそうでないことがあらわになります。でも，がっかりなさらないでください。詩編作者はエホバに，「老齢の時にわたしを見放さないでください。わたしの力がまさに衰えてゆくときに，わたしを捨てないでください」と懇願しました。詩編作者の決意に倣うよう決心なさってください。「わたしは，絶えず待ち望み，あなたのすべての賛美を増し加えます」と詩編作者は述べました。―詩編 71:9，14。

18 退職後にエホバへの賛美を増し加えることができるよう，前もって準備しておく人は少なくありません。すでに退職した一人の父親は，こう説明しています。「娘が学校を卒業したら自分は何をしようか，前もって考えていました。そして，全時間宣教を始める決意をし，もっと十分に，思う存分エホバに仕えることができるよう，事業を人手に渡しました。私は神の導きを祈り求めました」。そろそろ定年を迎える方は，わたしたちの偉大な創造者が宣言された事柄から慰めを得るようになさってください。「人の老齢に至るまでもわたしは同じ者であり，人の白髪（しらが）に至るまでわたしが負いつづける」―イザヤ 46:4。

19 退職という状況に順応するのは容易ではないかもしれません。使徒パウロは年取った男子に，「習慣に節度を守（る）」よう助言しました。そうするには，安楽な生活を求める傾向

---

17 老年期にさしかかっているクリスチャンは，詩編作者のどんな決意に倣うべきですか。

18 円熟したクリスチャンは，退職の機会をどのように善用できますか。

19 老年期にさしかかっている人には，どんな助言が与えられていますか。

に屈することなく，生活全般にわたって自制心を働かせることが求められます。一定の生活パターンや自己鍛錬の必要性は，退職前よりも退職後のほうが大きいかもしれません。それで，「あなた方の労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから，……主の業においてなすべき事を常にいっぱいに持ち」，忙しくしていてください。（コリント第一 15:58）他の人を助ける活動の輪を広げましょう。（コリント第二 6:13）多くのクリスチャンは，年齢相応のペースで熱心に良いたよりを宣べ伝えることにより，それを実行しています。年を重ねても，「信仰と愛と忍耐の点で健全で」あってください。—テトス 2:2。

配偶者の死に対処する

20 悲しいことですが，現在の事物の体制では，夫婦がいつかは死に別れるというのは紛れもない現実です。配偶者に先立たれたクリスチャンは，愛する人が今は眠っていることを知っていますし，愛する人にもう一度会えることを確信しています。（ヨハネ 11:11, 25）それでも，配偶者との死別は悲痛なものです。後に残された人は，どのようにその死に対処できるでしょうか。*

21 聖書中のある登場人物が行なったことを心に留めておくと助けになるでしょう。アンナは結婚してわずか7年でやもめになってしまいました。聖書に出てくる彼女は84歳です。アンナが夫を失って嘆き悲しんだことに疑いの余地はありません。アンナはどのように対処したのでしょうか。神殿で夜昼

* この問題に関する詳細については，ものみの塔聖書冊子協会発行の「愛する家族を亡くしたとき」というブロシュアーをご覧ください。

20, 21 （イ）現在の事物の体制では，夫婦がいつかは別れざるを得ないどんな状況がありますか。（ロ）アンナは，配偶者に先立たれた人に対するどんな優れた模範となっていますか。

エホバ神に神聖な奉仕をささげたのです。（ルカ 2:36-38）祈りのこもったアンナの奉仕の生活は，確かに，やもめとしての悲しみや寂しさをいやすための優れた手段でした。

22 10年前に夫を亡くした72歳になる婦人は，「私にとって一番大変だったのは，話しかける相手がいなくなったことです。主人は良い聞き役でした。会衆のことや，自分たちが参加したクリスチャン宣教のことを二人でよく話したものです」と説明しています。夫を亡くした別の婦人はこう言っています。「時も悲しみをいやしてくれますが，人の悲しみをいやしてくれるのは，自分の時間を使って行なう事柄である，と言うほうがより正確であることに気づきました。今のほうが他の人を助けるのに有利な立場にあるのです」。妻を亡くした67歳の男性もそれに同意して，「配偶者に先立たれた悲しみに対処するための優れた方法は，他の人を慰めるためにできるだけのことをすることです」と述べています。

老年期に神に高く評価される

23 死が最愛の配偶者を奪うとしても，エホバはいつも忠実で，いつも信頼できる方であられます。昔のダビデ王は，こう歌いました。「わたしは一つのことをエホバに願い求めた ― わたしはそれを待ち望む。すなわち，エホバの快さを見るため，その神殿を感謝の思いを抱いて見つめるために，命の日の限りエホバの家に住むことを」―詩編 27:4。

24 使徒パウロは，「本当にやもめであるやもめを敬いなさい」と強く勧めています。（テモテ第一 5:3）この指示に続く助言は，近親者のいないりっぱなやもめたちには，会衆からの物質的な援助が必要だったかもしれないことを示唆してい

---

22 夫や妻を亡くしたある人たちは，どのように寂しさに対処してきましたか。

23, 24 聖書は年老いた人，とりわけ夫や妻を亡くした人にどんな大きな慰めを与えていますか。

ます。とはいえ，「敬いなさい」という指示の主旨には，そうしたやもめたちを高く評価するという考えが含まれています。夫や妻を亡くした敬虔な人たちは，エホバが自分たちを高く評価し，支えてくださると知って，どれほど慰められることでしょう。—ヤコブ 1:27。

25 神の霊感を受けたみ言葉は，「老いた者の光輝はその白髪である」と明言しています。白髪は「義の道に見いだされるとき，美の冠」なのです。（箴言 16:31; 20:29）ですから，結婚しているとしても，再び独り身になったとしても，引き続きエホバへの奉仕を生活の中でいつも第一にしてください。そうするなら，現在も神のみ前で良い名を持ち，同時に，老齢に伴う苦痛のもはやない世界でのとこしえの命の見込みを持つことになるのです。—詩編 37:3-5。イザヤ 65:20。

25 年配の人たちには，今でもどんな目標がありますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
年を重ねてゆく夫婦にどのように助けとなりますか

孫はお年寄りの「冠」。—箴言 17:6。

老齢になると，エホバに仕える機会が
増し加えられることもある。—詩編 71:9, 14。

年長の人々は『習慣に節度を守る』よう
勧められている。—テトス 2:2。

配偶者に先立たれた人は，
深い悲しみを経験したとしても，聖書に慰めを
見いだせる。—ヨハネ 11:11, 25。

エホバは忠実な年長の人々を高く評価される。
—箴言 16:31。

第 15 章

老年の親を敬う

古代の賢人は，「あなたを誕生させた父に聴き従い，ただ年老いたからといって，あなたの母をさげすんではならない」と助言しました。（箴言 23:22）『さげすんだりなんか絶対にしない』と言われるかもしれません。わたしたちのほとんどは母親，あるいは父親をさげすむどころか，親に深い愛情を感じています。わたしたちは親に多くのものを負っていることを認めています。まず，親から命を授かりました。命の源であられるのはエホバですが，親がいなければわたしたちは決して存在していなかったでしょう。親に何かを贈ろうと思っても，命ほど貴重なものは贈れません。それに，幼い時から大人になるまで，親が自分を犠牲にし，心を砕き，種々の費用を賄い，愛ある関心を向けて子供を助けてきたことについて考えてみてください。ですから，神の言葉に次のような助言があるのは至極もっともなことです。「あなたの父と母を敬いなさい……それはあなたにとって物事が良く運び，あなたが地上で生き永らえるためである」―エフェソス 6:2，3。

感情的な必要を認める

2 使徒パウロはクリスチャンにあてて，「[子供や孫]にまず，自分の家族の中で敬虔な専心を実践すべきこと，そして親や祖父母に当然の報礼をしてゆくべきことを学ばせなさい。これは神のみ前で受け入れられることなのです」と書きました。（テモテ第一 5:4）成人した子供は，自分に対する親や祖

1 わたしたちは親に何を負っていますか。ですから，親に対してどんな感情を抱き，どのように振る舞うべきですか。

2 成人した子供は，どのように親に「当然の報礼」をすることができますか。

父母の長年にわたる愛情と努力と世話に感謝を示すことにより，「当然の報礼」をします。子供が感謝を表わせる一つの方法は，年配の人もほかの人たちと同じように愛情や安心感を必要としていること，いやむしろ，切実に必要としている場合が多いという事実を認めることです。わたしたちすべてと同様，年配の人も，大切にされていると感じる必要があります。自分には存在価値があると実感する必要があるのです。

3 ですから，親や祖父母を愛しているということを本人に知らせることにより，彼らを敬うことができます。（コリント第一 16:14）親と同居していないなら，子供からの連絡が親にとって大きな意味を持つことを心に留めておくべきです。明るい内容の手紙1通，電話1本，また，ちょっと顔を見せるだけでも親を大いに喜ばせることができるのです。日本に住む，みよという人は，82歳の時にこう書きました。「娘[旅行する奉仕者の妻]は，『お母さん，私たちと一緒に“旅行”してちょうだい』と言って，訪問のスケジュールと週ごとの滞在先の電話番号を送ってきます。私は地図を広げて，『ああ，あの子たちは今，ここにいるんだわ』と言えるわけです。こんな子供を持つことができた祝福をいつもエホバに感謝しています」。

物質的な必要の面で援助する

4 親を敬うことには，親の物質的な必要を顧みることも含まれるのでしょうか。確かに，含まれる場合が少なくありません。イエスの時代のユダヤ人の宗教指導者たちは，ある人が自分の金銭や財産を「神に献納された供え物」であると公言するなら，それらの財産を使って親の世話をするその人の責任は免除される，という伝統的な考え方を擁護していました。（マ

3 親や祖父母をどのように敬うことができますか。
4 ユダヤ人の宗教上の伝統は，老年の親に対する冷淡な態度を，どのように勧めていましたか。

タイ 15:3-6）何と冷淡なのでしょう。実のところ，それら宗教指導者たちは，親を敬うことを勧めるどころか，侮べつをもって親を扱い，親の必要を無視する自己本位なやり方を勧めていました。わたしたちは決してそのようなことをしたくありません。―申命記 27:16。

5 今日多くの国々では，政府の支援する社会福祉計画によって，衣食住など，お年寄りの物質的な必要物が幾らか支給されます。それに加えて，お年寄り自身も，老後に備えて幾らかの蓄えができたかもしれません。しかし，そうした蓄えが底を突くか十分でなくなるなら，子供たちは，親の必要を賄うためにできることを行なって，親を敬います。事実，年取った親の世話をすることは，敬虔な専心，すなわち，家族の取り決めの創始者であられるエホバ神に対する専心を裏づける証拠なのです。

愛と自己犠牲

6 成人した子供の中には，愛や自己犠牲を示して，体の弱くなった親の必要にこたえてきた人が少なくありません。親を自分の家へ連れて来る人や，親の近くに引っ越す人もいれば，親元へ移り住んだ人もいます。多くの場合，そうした方法は親子双方にとって祝福となってきました。

7 しかし，そのように引っ越してもうまくゆかないことがあります。なぜでしょうか。もしかしたら，決定を急ぎ過ぎた，あるいは感情だけに基づいて決定したせいかもしれません。聖書には，「明敏な者は自分の歩みを考慮する」という賢明な忠告があります。（箴言 14:15）例えば，仮に老年の母親が独り暮らしで苦労していて，あなたとしては母親が同居してくれ

---

5 政府からの支給を受けられる国があるとしても，親を敬うことに金銭面での援助が含まれる場合があるのはなぜですか。

6 親の必要を顧みるために，ある人たちは住まいに関してどんな方法を取ってきましたか。

7 老年の親に関して決定を下す際，急がないほうがよいのはなぜですか。

れば母親のためになるように思えるとしましょう。明敏に自分の歩みを考慮する人なら，次の点を考慮するでしょう。母親が実際に必要としているのは何だろうか。納得のゆく代案を提供してくれる民間もしくは国の社会福祉事業があるだろうか。母親は引っ越したいと思っているだろうか。もしそうなら，母親の生活はどんな影響を受けるだろうか。母親は友人たちと別れなければならないだろうか。そのことは，母親の感情面にどう影響するだろうか。自分はこうしたことについて母親と話し合っただろうか。母親が引っ越して来るなら，自分自身，配偶者，子供にどんな影響が及ぶだろうか。母親に世話が必要なら，だれがその世話をするのだろうか。その責任を分担することは可能だろうか。この件について直接関係する人たち全員と話し合っただろうか。

8 親の世話をする責任は家族内の子供全員にありますから，家族会議を開いて，全員が決定に関与できるようにするのは賢明でしょう。クリスチャン会衆の長老たちや，似たような状況に直面したことのある友人たちに話すのも助けになるでしょう。聖書は，「内密の話し合いのないところには計画のざ折があり，助言者の多いところには達成がある」と忠告しています。一箴言 15:22。

感情移入をし，思いやり深くある

9 老年の親を敬うには，感情移入と思いやりが必要です。老化現象が進むにつれ，老齢の人は歩く，食べる，物を覚えるといったことがだんだん難しくなってゆくのを感じているかもしれません。老齢の人には助けが必要でしょう。子供たち

---

8 老年の親を援助する方法を決めるに当たり，どんな人たちに相談することができますか。

9, 10 （イ）年を取ってはいても，老年の人にはどんな配慮を払うべきですか。（ロ）親のためにいかなる手段を講じるにしても，成人した子供はいつも親にどんな態度を示すべきですか。

は，親を保護するつもりで親に指図しようとするものです。しかし，老年の人は大人です。これまでの人生で蓄えられた知恵や豊かな経験があり，これまでずっと自分のことは自分で行ない，自分で決定を下してきたのです。その個性や自尊心は，親また大人としての役割を中心に築かれていることでしょう。人生の舵取りを子供に託さなければならないと感じる親は，落胆や怒りを覚えるかもしれません。中には自主性を無視するように思える行動に憤り，抵抗する人もいます。

10 そういう問題を解決するのはなかなか難しいことですが，老年の親にできるだけ自分のことは自分で行ない，自分で決定してもらうようにするのは親切なことです。親に話さないうちに，親にとって何が最善かを決めてしまうのは賢明ではありません。老年の親は多くのものを失ってきたかもしれません。まだ残っているものを奪い去らないようにしてください。子供が親の生活の舵取りを控えれば控えるほど，親との関係が改善されてゆくことが分かるでしょう。親も子も，いっそう幸福になります。たとえ，あることに関しては親のためを思って強く言わなければならないとしても，親を敬うためには，親の尊厳を認め，親を尊重することが必要です。親はそうするに値するのです。神の言葉はこう助言しています。「あなたは白髪の前では立ち上がるべきである。また，老人の身を思いや（ら）ねばならない」―レビ記 19:32。

正しい態度を保つ

11 成人した子供が老齢の親を敬う際に直面する問題には，以前の親子関係がからんでいるということもあります。もしかしたら，父親は冷淡で愛情がなく，母親は威張り散らす厳しい人だったかもしれません。子供は，親が自分の理想とは異なっ

11-13 親との関係が昔は良くなかったとしても，成人した子供は老齢になった親の世話をするという課題にどのように取り組むことができますか。

ていたため，いまだに苛立ち，憤り，心の痛手を感じているかもしれません。そういう感情は克服できるのでしょうか。*

12 フィンランドで育ったバッセはこう語っています。「私の継父は以前，ナチ・ドイツの親衛隊員でした。すぐにかっとなって，危害を加える人でした。私の目の前で何度も母を殴りました。ある時，私に腹を立てた継父は自分のベルトを振り回し，バックルで私の顔をたたきました。あまりに激しくたたかれたので，私はベッドの向こうに転がり落ちてしまいました」。

13 とはいえ，この父親には別の面もありました。バッセは次のように言葉を加えています。「反面，継父は非常に勤勉で，家族の物質的な必要を顧みる点で骨惜しみしませんでした。父親らしい愛情を示してもらったことは一度もありませんでしたが，継父には心の傷があることを私は知っていました。継父は幼いころ，自分の母親に家を追い出されてしまったのです。継父は敵がい心を持ったまま成長し，若くして戦争に行きました。私はある程度理解できましたから，継父を責めませんでした。自分が大人になったとき，継父が亡くなるまで，できるだけのことをして援助したいと思いました。容易ではありませんでしたが，できるだけのことはしました。最後まで，良い息子であるよう努めました。父も，良い息子として認めてくれたと思います」。

14 他の事柄と同様，家族のさまざまな状況にも聖書の次の原則が当てはまります。「優しい同情心，親切，へりくだった思い，温和，そして辛抱強さを身に着けなさい。だれかに対して不満の理由がある場合でも，引き続き互いに忍び，互いに惜し

---

* ここで取り上げているのは，親が自分の得ている権力や信頼を，犯罪に相当すると思えるほど甚だしく誤用したという状況のことではありません。

---

14 どんな聖句は，老年の親の世話をするときに生じる状況を含め，すべての状況に当てはまりますか。

親に話さないうちに，
親のために何かを決めてしまうのは賢明ではない

みなく許し合いなさい。エホバが惜しみなく許してくださったように，あなた方もそのようにしなさい」―コロサイ 3:12, 13。

世話をする人にも世話が必要

15 体の弱くなった親の世話をするのは大変な務めです。いろいろな仕事をし，大きな責任を担い，多くの時間を費やすことが要求されます。しかし，一番大変なのは大抵，感情的な問題です。親が健康を損ね，物事を忘れ，自分で自分のことができなくなるのを見るのは，つらく悲しいものです。プエルトリコ出身のサンディーはこう語っています。「母は家族の中心

15 親の世話をするのがつらく悲しいときがあるのはなぜですか。

的存在でした。ですから，母の世話をするときは，たいへん心が痛みました。母は初めびっこを引くようになり，それからは杖，歩行器，車椅子が次々に必要になりました。その後，容態がどんどん悪くなって，ついに亡くなりました。母は骨のガンにかかっていたため，夜昼つきっきりの看病が必要でした。私たちは母をお風呂に入れ，母に食事をさせ，本を読んで聞かせました。本当に大変でした。特に感情面の問題がありました。私は母がもう長くないと知って泣きました。母を深く愛していたからです」。

16 あなたも似たような状況にあるとしたら，どのように対応できるでしょうか。聖書を読んでエホバの言葉に耳を傾け，祈りを通してエホバに話しかけることは大きな助けになります。（フィリピ 4:6，7）実際的な方法で，栄養のバランスの取れた食事を必ず取り，十分な睡眠を取るよう心がけましょう。そうすれば，心身共に，より良いコンディションで愛する親の世話に当たることができます。たまには，毎日の決まった仕事を離れて骨休めをする計画を立てられるかもしれません。休暇を取るのは無理だとしても，気晴らしのための時間を幾らか予定に入れるのは賢明なことです。自分の時間を持つために，病身の親の付き添いをだれかに頼めるかもしれません。

17 親の世話をしている大人が，自分自身に無理な要求をすることもよくあります。しかし，できないことがあるからといって，自分を責めてはなりません。事情のいかんによっては，愛する親の世話を老人ホームのような施設に託す必要があるかもしれません。親の世話をしているなら，自分自身に課する要求を無理のないものにしてください。親の必要だけでなく，お子さんや配偶者や自分自身の必要についても平衡を取らなければなりません。

16，17 親の世話をしている人が平衡の取れた見方を保つ上で，どんなアドバイスは助けになるかもしれませんか。

普通を超えた力

18 エホバはご自分のみ言葉聖書を通して，年老いた親の世話に当たる人の大きな助けとなる導きを，愛のうちに与えておられます。しかし，エホバが備えられる助けはそれだけにとどまりません。詩編作者は霊感のもとに，「エホバは，ご自分を呼び求めるすべての者……の近くにおられます。……助けを求めるその叫びを聞き，彼らを救ってくださいます」と記しました。エホバは，ご自分の忠実な者たちを最も困難な状況からでさえ救い，保護してくださるのです。—詩編 145:18，19。

19 フィリピンに住むマーナがこのことを知ったのは，脳卒中で体の自由がきかなくなった母親を介護していたときです。マーナはこう書いています。「愛する親が，どこが痛むのかも言えずに苦しんでいるのを見ることほど，気の滅入ることはありません。ちょうど，母が少しずつ溺れてゆくのを，何もできずにただ見ているようなものです。私は何度もひざをかがめては，自分がどんなに疲れているかをエホバにお話ししたものです。ダビデが自分の涙を皮袋に入れてくださるよう，そして自分を覚えていてくださるようエホバに懇願したように，私も叫び求めました。[詩編 56:8] すると，エホバは約束どおり，私に必要な力を与えてくださいました。『エホバはわたしの支えとなってくださった』のです」。—詩編 18:18。

20 年老いてゆく親の世話は，「ハッピーエンドにならない物語」であると言われてきました。世話をする人が最善を尽くしたとしても，老齢の親は亡くなってしまうかもしれません。マーナの母親もそうでした。しかし，エホバを信頼する人は，物語が死で終わるわけではないことを知っています。使徒

18，19 エホバは支えとなることについて，どんな約束をされましたか。エホバがその約束を守られることはどんな経験に示されていますか。

20 たとえ自分が面倒を見ていた親が亡くなったとしても，聖書のどんな約束によって楽観的な見方を保てますか。

パウロは，「わたしは神に対して希望を持っております……義者と不義者との復活があるということです」と述べました。（使徒 24:15）老年の親を亡くした人は，復活の希望に加えて，神の造られる，『もはや死のない』喜ばしい新しい世についての約束から慰めを得ています。—啓示 21:4。

21 神の僕（しもべ）は，親が年老いたとしても，親に深い敬意を抱きます。（箴言 23:22-24）神の僕は親を敬います。そうするときに僕たちは，「あなたの父と母は歓（よろこ）び，あなたを産んだ母は喜びに満ちる」という，霊感を受けた格言どおりのことを経験します。（箴言 23:25）そして何よりも，老年の親を敬う人は，エホバ神をも喜ばせ，敬うことになるのです。

21 老年の親を敬うことは，どんな良い結果になりますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
老年の親を敬うのにどのように役立ちますか

親や祖父母には当然の報礼をすべきである。
—テモテ第一 5:4。

すべての事を愛をもって行なわなければならない。
—コリント第一 16:14。

重要な決定は決して急いで下してはならない。
—箴言 14:15。

たとえ病気で衰えつつあるとしても，
老年の親には敬意を払わなければならない。
—レビ記 19:32。

やがて年老いて死んでゆくという状況は
いつまでも続くわけではない。—啓示 21:4。

第 16 章

ご家族の永続する将来を確かなものにしてください

エホバがアダムとエバを結婚によって結びつけられたとき，アダムは，記録に残る最古のヘブライ語の詩を詠んでその喜びを表現しました。（創世記 2:22，23）とはいえ創造者は，単に人間という子供たちに楽しみをもたらす以上のことを考えておられました。夫婦や家族がご自分の意志を行なうことを望んでおられたのです。創造者は最初の夫婦にこう告げられました。「子を生んで多くなり，地に満ちて，それを従わせよ。そして，海の魚と天の飛ぶ生き物と地の上を動くあらゆる生き物を服従させよ」。（創世記 1:28）何と壮大で，報いの多い仕事でしょう。アダムとエバが完全な従順を示してエホバのご意志を行なっていたなら，二人も，二人の将来の子供たちも，どんなにか幸福だったことでしょう。

2 今日でも，一緒に力を合わせて神のご意志を行なうとき，家族は最高の幸せを味わいます。使徒パウロは，「敬虔な専心はすべての事に益があ（りま）す。それは，今の命と来たるべき命との約束を保つのです」と記しました。（テモテ第一 4:8）敬虔な専心を抱いて生活し，聖書に収められているエホバの導きに従う家族は，「今の命」に幸福を見いだします。（詩編 1:1-3；119:105。テモテ第二 3:16）たとえ聖書の原則を当てはめる人が家族に一人しかいないとしても，一人もいない場合より状況は良くなります。

3 この本ではこれまで，幸せな家庭を築くのに役立つ聖書の

---

1 エホバは家族制度に関して，どんな目的を持っておられましたか。

2，3 今日，家族はどうすれば最高の幸せをつかむことができますか。

数々の原則を考慮してきました。そのうちの幾つかは，この本に何回も出てくることに多分お気づきでしょう。なぜでしょうか。それらの原則には，家庭生活におけるさまざまな場面ですべての人に益をもたらす強力な真理が示されているからです。これらの聖書の原則を懸命に当てはめようとする家族は，敬虔な専心が確かに「今の命……の約束を保つ」ことを悟ります。ここで，これらの重要な原則のうちの四つを振り返ってみましょう。

自制の価値

4 ソロモン王は，「自分の霊を抑制しえない者は，破られた，城壁のない都市のようだ」と言いました。（箴言 25:28；29:11）『自分の霊を抑制する』，すなわち自制心を働かせることは，幸福な結婚生活を望む人には不可欠です。激しい怒りや不道徳な欲情といった破壊的な感情に身をまかせるなら，害を引き起こすことになるでしょう。元どおりにするには ― 元どおりにできるとすればの話ですが ― 何年もかかります。

5 もちろん，アダムの子孫の中には，不完全な肉を完全に制御できる人は一人もいません。（ローマ 7:21，22）それでも，自制は霊の実の一つです。（ガラテア 5:22，23）ですから，この特質を祈り求め，聖書の適切な助言を当てはめ，自制を示している人と交わり，そうでない人を避けるなら，神の霊がわたしたちのうちに自制を生み出させます。（詩編 119:100，101，130。箴言 13:20。ペテロ第一 4:7）そういう歩みをするなら，たとえ誘惑に遭っても「淫行から逃げ去（る）」よう助けられます。（コリント第一 6:18）わたしたちは暴力を退け，アルコール依存症にならないように，あるいはそれを断ち切るようにします。また，挑発されても，難しい状況に面し

4 結婚生活に自制が不可欠なのはなぜですか。
5 不完全な人間がどのように自制を培えますか。そうすることにはどんな益がありますか。

ても，以前より冷静な対応ができるようになります。子供たちを含め，すべての人が，この肝要な霊の実を培うようになりますように。—詩編 119:1，2。

頭の権に対する正しい見方

6 二番目の重要な原則は，頭の権を認めることです。パウロは，物事には適正な秩序があることを描写して，こう述べました。「あなた方に次のことを知って欲しいと思います。すべての男の頭はキリストであり，女の頭は男であり，キリストの頭は神です」。（コリント第一 11:3）これは，男性は家族の中で率先し，妻は夫を忠実に支え，子供たちは親に従順であることを意味しています。（エフェソス 5:22-25，28-33；6:1-4）しかし，頭の権は正しく行使されて初めて，幸福をもたらすという点に注目してください。敬虔な専心を抱いて生活する夫は，頭の権が独裁権ではないことを知っています。自分たちの頭であるイエスに見倣うのです。イエスは，「すべてのものの頭」になられるはずの方でしたが，『仕えてもらうためではなく，むしろ仕えるために来られました』。（エフェソス 1:22。マタイ 20:28）同様にクリスチャンの男子は，自分の利益を図るためではなく，妻や子供の益を顧みるために頭の権を行使します。—コリント第一 13:4，5。

7 妻の役割について言えば，敬虔な専心を抱いて生活する妻は，夫と張り合ったり，夫を操ろうとしたりはしません。喜んで夫を支え，夫に協力します。聖書は時々，妻のことを夫に「所有されている」者と表現し，夫が妻の頭であることを明らかにしています。（創世記 20:3）妻は結婚することによ

---

6 （イ）頭の権に関して，神の定められたどんな取り決めがありますか。（ロ）頭の権を行使して家族に幸福をもたらすようにするためには，男性はどんなことを忘れてはなりませんか。

7 妻が家庭内で神の定められた役割を果たすのに，聖書のどんな原則が役立ちますか。

り，「夫の律法」のもとに入ります。（ローマ 7:2）同時に聖書によれば，妻は「助け手」であり，「補うもの」でもあります。（創世記 2:20）妻は夫にはない特質や能力を発揮して夫に必要な支えを与えます。（箴言 31:10-31）聖書はまた，妻は「伴侶」，つまり配偶者と並んで物事を行なう者であるとも言っています。（マラキ 2:14）これらの聖書の原則は，夫婦がお互いの立場をよく理解し，ふさわしい敬意と品位をもってお互いを扱うのに役立ちます。

『聞くことに速くありなさい』

8 この本の中では，話し合いやコミュニケーションの必要性が何度も強調されています。なぜでしょうか。人々が話し合い，本当に耳を傾け合うとき，状況は改善されてゆくからです。コミュニケーションとは一方通行ではないことも再三強調されました。弟子ヤコブは，そのことを次のように言い表わしています。「すべての人は，聞くことに速く，語ることに遅く，憤ることに遅くあるべきです」―ヤコブ 1:19。

9 自分がどのように話すかに注意するのも大切なことです。思慮の足りない言葉や，好戦的あるいは過度に批判的な言葉を使ったのでは，上手なコミュニケーションはできません。（箴言 15:1; 21:9; 29:11, 20）たとえ，言っていることは正しいとしても，言い方が冷淡だったり，尊大だったり，無神経だったりするなら，益よりも害を与えやすいものです。わたしたちの話し方は品の良い，「塩で味つけされたもの」であるべきです。（コロサイ 4:6）わたしたちの言葉は，「銀の彫り物の中の金のりんご」のようであるべきです。（箴言 25:11）滑らかなコミュニケーションの技術を身に着ける家族は，幸福への大きな第一歩を踏み出したことになります。

8, 9 家族全員がコミュニケーションの技術を改善するのに役立つ，幾つかの原則について説明してください。

愛が果たす肝要な役割

10 この本全体を通じて，「愛」という語が何度も出てきます。おもにどんな愛について述べられていたか覚えておられますか。確かに，恋愛感情（ギリシャ語，エロース）は結婚生活で重要な役割を果たしますし，実りある結婚生活では夫婦の間に深い愛情や友情（ギリシャ語，フィリア）が育まれます。しかし，それらよりさらに重要なのは，ギリシャ語のアガペーによって表わされる愛です。わたしたちが培う，エホバ，イエス，そして隣人への愛とは，この愛のことです。（マタイ 22:37-39）それは，エホバが人類に示しておられる愛です。（ヨハネ 3:16）この同じ愛を配偶者や子供たちに示せるというのは，何とすばらしいことでしょう。—ヨハネ第一 4:19。

11 結婚生活において，この高潔な愛は確かに「結合の完全なきずな」です。（コロサイ 3:14）この愛により，夫婦は固く結びつけられ，お互いにとって，また子供たちにとって最善のことをしたいと思うようになります。家族が難しい状況に立たされるとき，愛は家族が一致して問題を解決する助けになります。夫婦が年を重ねてゆくとき，愛は二人が支え合い，引き続き尊重し合う助けになります。「愛は……自分の利を求めず，……すべての事に耐え，すべての事を信じ，すべての事を希望し，すべての事を忍耐します。愛は決して絶えません」—コリント第一 13:4-8。

12 結婚の結びつきは，単に夫婦間の愛だけでなく，おもにエホバへの愛によってしっかりと固められるとき，とりわけ強力になります。（伝道の書 4:9-12）なぜでしょうか。使徒ヨハネはこう記しました。「そのおきてを守り行なうこと，これがすなわち神への愛……です」。（ヨハネ第一 5:3）したがって

---

10 結婚生活で肝要なのはどんな愛ですか。
11 愛はどのように結婚生活に良い影響をもたらしますか。
12 夫婦の抱く神への愛が夫婦の関係を強めるのはなぜですか。

独身の賜物

だれもが結婚するわけではありません。また，すべての夫婦が子供を持つことを選ぶわけでもありません。イエスは独身でした。そして，「天の王国のゆえ」に独身であれば，それは賜物（たまもの）であると言われました。（マタイ 19:11，12）使徒パウロも結婚せずにいることを選びました。パウロは独身も結婚も「賜物」であると言いました。（コリント第一 7:7，8，25-28）ですから，本書ではおもに結婚や子育てに関することを考慮してきましたが，独身を保つことや，結婚しても子供を持たずにいることも，祝福や報いをもたらし得ることを忘れるべきではありません。

夫婦は，子供を深く愛しているからというだけではなく，エホバのご命令であるゆえに，敬虔（けん）な専心のうちに子供をしつけるべきです。（申命記 6:6，7）愛し合っているからというだけではなく，おもに，「淫行の者や姦淫を行なう者を裁かれる」エホバを愛するがゆえに，不道徳を避けるべきなのです。（ヘブライ 13:4）たとえ夫婦の一方が結婚生活で深刻な問題を引き起こすとしても，もう一方はエホバへの愛に動かされて，聖書の原則に従い続けます。エホバへの愛によってしっかりと固められた愛を互いに対して抱いている家族は，本当に幸せです。

神のご意志を行なう家族

13 クリスチャンの生活全体は，神のご意志を行なうことを中心にしています。（詩編 143:10）それこそ，敬虔（けん）な専心の真に意味するところです。神のご意志を行なうなら，家族は本当に重要な事柄に目を留め続けることができます。（フィリピ 1:

13 神のご意志を行なう決意は，人が本当に重要な事柄に目を留め続ける上でどのように助けになりますか。

9, 10）例えば，イエスはこう警告なさいました。「わたしは分裂を生じさせるため，男をその父に，娘をその母に，若妻をそのしゅうとめに敵対させるために来た（の）です。実際，人の敵は自分の家の者たちでしょう」。（マタイ 10:35, 36）その警告どおり，イエスの追随者の多くが家族からの迫害を経験してきました。何と悲しく，痛ましい状況でしょう。しかし，家族のきずなは，エホバ神とイエス・キリストに対する愛をしのぐものであってはなりません。（マタイ 10:37-39）家族の反対があっても忍耐するなら，反対者たちは，敬虔な専心の及ぼす良い影響を見て変化するかもしれません。（コリント第一 7:12-16。ペテロ第一 3:1, 2）たとえそうならなくても，反対のために神に仕えるのをやめるとすれば，永続的な益は得られません。

14 神のご意志を行なうことは，親が正しい決定をする助けになります。例えば，ある地域社会では，親が子供を投資の対象とみなす傾向があり，老後の面倒は子供が見るものとされています。成人した子供が年老いた親の世話をするのは正しく，ふさわしいことであるとはいえ，子供を投資の対象とする考え方に影響されて，子供に物質主義的な生活をさせようとしてはなりません。親が，霊的な事柄よりも物質的な所有物を重視するよう子供を育てるのは，子供の益になることではありません。—テモテ第一 6:9。

15 このことに関する優れた模範は，パウロの年若い友テモテの母親，ユニケです。（テモテ第二 1:5）ユニケは未信者と結婚していましたが，テモテの祖母ロイスと共に，敬虔な専心を追い求めるようテモテをりっぱに育てました。（テモテ第二 3:14, 15）ユニケは，テモテが十分な年齢に達したとき，息子が家を離れ，パウロの宣教旅行の同行者として王国を宣べ伝え

---

14 神のご意志を行ないたいという願いは，親が子供の最善を図る上でどのように役立ちますか。

15 テモテの母親ユニケは，神のご意志を行なった親として，どのような優れた模範を残していますか。

る業に取りかかるのを許しました。（使徒 16:1-5）息子が秀でた宣教者になったとき，ユニケは心を躍らせたに違いありません。成人テモテの示した敬虔な専心は，幼いころに受けたしつけの成果を物語っています。ユニケは息子がそばにいないことを寂しく思ったかもしれませんが，テモテの忠実な宣教についての報告を聞いて満足感や喜びを味わったに違いありません。—フィリピ 2:19，20。

家族，そしてあなたの将来

16 イエスは敬虔な家庭で育てられ，成人してからも，息子として自分の母親にふさわしい気遣いを示しました。（ルカ 2:51，52。ヨハネ 19:26）とはいえ，イエスがおもに志しておられたのは神のご意志を果たすことであり，それには，人間が永遠の命を享受できるようにするための道を備えることも含まれていました。イエスは，罪を負った人類のためにご自分の完全な人間の命を贖いとしてささげることにより，それを実行されました。—マルコ 10:45。ヨハネ 5:28，29。

17 イエスの死後，エホバはイエスを天的な命によみがえらせて偉大な権威を与え，最終的には，イエスを天の王国の王として即位させました。（マタイ 28:18。ローマ 14:9。啓示 11:15）イエスの犠牲は，ある人たちが選ばれ，その王国でイエスと共に支配することを可能にしました。また，その犠牲により，そのほかの心の正しい人たちが，楽園の状態に戻された地上で完全な命を享受する道も開かれました。（啓示 5:9，10；14:1，4；21:3-5；22:1-4）現在，わたしたちに与えられている最大の特権の一つは，この栄光ある良いたよりを隣人に伝えることです。—マタイ 24:14。

---

16 イエスは息子として，どんなふさわしい気遣いを示しましたか。しかし，イエスがおもに志しておられたのはどんなことでしたか。

17 イエスの忠実な歩みにより，神のご意志を行なう人々にどんな輝かしい見込みが開かれましたか。

18 使徒パウロが示したように，敬虔な専心を抱いて生活すれば，「来たるべき」命の祝福を受け継ぐという約束を保つことになります。間違いなく，これこそ幸福を見いだすための，まさに最善の道です。次のことを忘れてはなりません。「世は過ぎ去りつつあり，その欲望も同じです。しかし，神のご意志を行なう者は永久にとどま（る）」のです。（ヨハネ第一 2:17）ですから，子供であっても親であっても，夫であっても妻であっても，独身の大人であれば子供がいてもいなくても，一生懸命に神のご意志を行なってください。圧力を受けても，困難極まる問題に直面しても，自分が生ける神の僕（しもべ）であることを決して忘れてはなりません。そうすることによって，あなたの行動がエホバを喜ばせるものとなりますように。（箴言 27:11）そしてあなたの振る舞いが，現在の幸福と，来たるべき新しい世における永遠の命をもたらすものとなりますように。

18 家族にも，個々の人にも，どんな諭しや励ましが与えられていますか。

ここに挙げた聖書の原則は……
ご家族が幸福になるのにどのように役立ちますか

自制は培うことができる。—ガラテア 5:22, 23。

頭（かしら）の権に対する正しい見方を保ち，夫も妻も家族の最善の益を図る。—エフェソス 5:22-25, 28-33; 6:4。

コミュニケーションには耳を傾けることが含まれる。—ヤコブ 1:19。

エホバへの愛は夫婦の関係をしっかりと固める。—ヨハネ第一 5:3。

家族にとって一番重要な目標は，神のご意志を行なうこと。—詩編 143:10。テモテ第一 4:8。

さらに情報を得たいと思われますか。

www.jw.org/ja からエホバの証人に連絡することができます。